

4. 植物調査の概要

4.1 調査結果の概要

(1) 確認種数

令和 5 年度に植物相調査を実施した 13 ダムに、ダム湖環境基図作成調査（陸域調査含む）を実施した 21 ダム（内 6 ダムは両方実施）を合わせた全 28 ダム^注において 200 科 2,314 種の植物が確認されました。これは、日本の植物として「植物目録（環境庁, 1987）」に記載されている 8,118 種のうち、約 28%に相当します。確認種の内訳は、シダ植物 30 科 293 種、裸子植物 6 科 23 種、基部被子植物（単子葉・真正双子葉以外の被子植物）8 科 44 種、単子葉植物 30 科 526 種、真正双子葉植物 126 科 1,428 種となっています。また、植物相調査を実施した 13 ダムでは 199 科 2,161 種、ダム湖環境基図作成調査（陸域調査含む）のみを実施した 15 ダムでは 155 科 922 種が確認されました。確認種数の多いダムは、釜房ダムの 128 科 889 種、蓮ダムの 136 科 802 種となっています。

（注）とりまとめダムについて

平成 18 年度の河川水辺の国勢調査の調査体系の変更に伴い、植物調査では植物相調査、ダム湖環境基図作成調査では、陸域調査（植生図作成調査、群落組成調査、植生断面調査）及び水域調査が実施されました。個別の種に関する分析では、植物調査の結果を用いています。

令和 5 年度は、植物相調査のみ実施したダムが 7 ダム、植物相調査とダム湖環境基図作成調査（陸域調査含む）の両方を実施したダムが 6 ダム、ダム湖環境基図作成調査（陸域調査を含む）のみ実施したダムが 15 ダムあります。植物調査は、両方を実施した 6 ダムを含む 13 ダムを対象として整理しています。両方を実施した 6 ダムは、植物相調査とダム湖環境基図作成調査の結果を合わせて整理しています。

(2) 重要種

今回とりまとめを行った 28 ダムにおいて、52 科 110 種の重要種^注が確認されました。なお、ダム湖環境基図作成調査（陸域調査含む）のみを実施した 15 ダムでは 6 科 10 種の重要種が確認されました。

植物調査では、確認された重要種のうち、レッドリストのランクごとの内訳をみると、絶滅危惧ⅠA 類（CR）がタカツルラン、ホウキガヤツリ、絶滅危惧ⅠB 類（EN）がヨウラクヒバ、アラガタサンキライ、ナメラサギソウ、ゴショイチゴ、絶滅危惧Ⅱ類（VU）がオオイシカグマ、サカワサイシン、ユキモチソウ、オキナグサ等 71 種、準絶滅危惧（NT）がツルカタヒバ、アカハダクスノキ、シラン、ナガミノツルケマン等 38 種が確認されました。

（注）重要種について

本資料においては、次の文献のいずれかに該当する種や亜種を重要種としました。

- ・「文化財保護法」の特別天然記念物および天然記念物
- ・「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物および緊急指定種
- ・「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト 2020：令和 2 年 3 月 27 日報道発表資料）

絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）：絶滅の危機に瀕している種

絶滅危惧ⅠA 類（CR）：ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの

絶滅危惧ⅠB 類（EN）：ⅠA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの

絶滅危惧Ⅱ類（VU）：絶滅の危険が増大している種

準絶滅危惧（NT）：現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
情報不足（DD）：評価するだけの情報が不足している種

絶滅のおそれのある地域個体群（LP）：地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

(3) 国外外来種等

1) 国外外来種の確認状況

今回とりまとめを行った 28 ダムにおいて、85 科 340 種（植物相調査を実施した 13 ダムでは 82 科 331 種、ダム湖環境基図作成調査（陸域調査含む）のみを実施した 15 ダムでは 28 科 73 種）の国外外来種^{注1)}が確認されました。多くのダムで確認された国外外来種として、総合（重点）のセイタカアワダチソウ、イタチハギ、セイヨウタンポポ、総合（その他）のヒメジョオン、アメリカセンダングサ、オオオナモミ、産業のオニウシノケグサ、ハリエンジュ等が 8～21 ダムで確認されました。

2) 特定外来生物等の確認状況

外来生物法で特定外来生物^{注2)}に指定されている種として、ウリ科のアレチウリ、オオバコ科のオオカワヂシャ、キク科のツルヒヨドリ、オオハンゴンソウの 4 種が確認されました。このうち、植物相調査を実施した 13 ダムでは、4 種全てが確認されました。

また、生態系被害防止外来種リスト^{注3)}に挙げられている種は 98 種（植物相調査を実施した 13 ダムでは 94 種、ダム湖環境基図作成調査（陸域調査含む）のみを実施した 15 ダムでは 30 種）が確認されました。

(注) 国外外来種の選定基準について

- 注 1) 外来種とは、本来その生物が生息していない地域に貿易や人の移動等を介して意図的・非意図的に導入された種をいいます。外来種のうち、日本国外から持ち込まれた種を「国外外来種」といい、日本国内の種であっても本来その生物が生息していない地域に、他の場所から持ち込まれた種は「国内外来種」といいます。本資料における国外外来種とは、おおむね明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物すべてを指し、侵入以後に国内に定着した種であるか否かの判断は、選定の際に考慮していません。また、国外外来種の選定は、I-9～11 ページに掲載した文献および I-12～13 ページに掲載した学識者による意見をもとに行っています。
- 注 2) 特定外来生物とは、『特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（最終改正及び施行令和 5 年 4 月）』により、輸入や飼養等が規制される生物(生きているものに限られ、個体だけではなく、卵、種子、器官等も含まれる)です。おおむね明治以降に国外から導入された国外外来種のうち、生態系、人の生命・身体及び農林水産業へ被害を及ぼすもの、または及ぼすおそれがある生物が指定されています（指定された外来生物と在来種が交雑した生物も含む）
- 注 3) 生態系被害防止外来種リスト（我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト）とは、我が国の生物多様性を保全するため、さまざまな主体の参画のもとで外来種対策の一層の進展を図ることを目的とし、環境省及び農林水産省が「生態系、人の生命・身体、農林水産業に被害を及ぼす又はそのおそれがある生物」を生態的特性及び社会的状況も踏まえて選定した外来種リストです。リスト中には特定外来生物法で指定された生物も含まれています。また、魚類、植物、哺乳類、両生類、爬虫類、陸上昆虫類においては、国内外来種も一部選定されています。

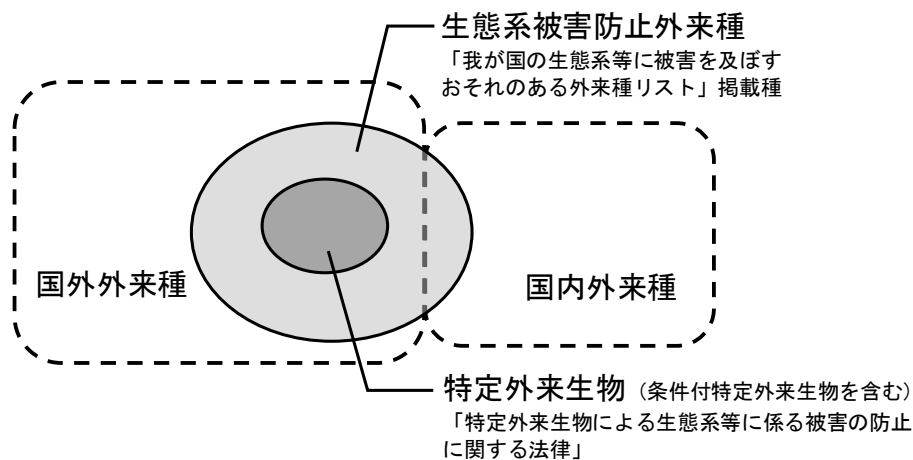


図 (参考) 国外外来種、生態系被害防止外来種、特定外来生物の関係

植物確認種数一覧（令和５年度）

調査 内容	地方	ダム名	シダ植物門	種子植物門								合計
				裸子植物亜門	被子植物亜門							
					基部被子植物		単子葉類		真正双子葉類			
植物相 調 査	東北	釜房ダム	15科 65種	3科 9種	6科 10種	23科 215種	87科 600種	128科 889種				
	中部	蓮ダム	21科 117種	4科 10種	6科 19種	21科 173種	90科 502種	136科 802種				
	四国	早明浦ダム	21科 110種	3科 8種	6科 21種	20科 136種	85科 447種	129科 701種				
	四国	池田ダム	17科 87種	3科 6種	5科 16種	22科 179種	86科 462種	128科 734種				
	四国	富郷ダム	21科 110種	4科 8種	6科 21種	19科 130種	88科 418種	132科 666種				
	四国	柳瀬ダム	18科 70種	4科 9種	6科 20種	17科 81種	75科 287種	114科 447種				
	四国	新宮ダム	21科 97種	5科 9種	6科 18種	19科 147種	80科 412種	125科 665種				
	沖縄	辺野喜ダム※	23科 78種	3科 4種	6科 15種	14科 83種	78科 269種	118科 434種				
	沖縄	普久川ダム※	24科 83種	3科 4種	5科 12種	13科 71種	68科 221種	108科 379種				
	沖縄	安波ダム※	23科 78種	3科 3種	5科 13種	14科 99種	77科 278種	117科 458種				
	沖縄	新川ダム※	22科 71種	3科 3種	5科 13種	16科 111種	80科 297種	121科 482種				
	沖縄	福地ダム※	23科 88種	4科 5種	5科 15種	17科 123種	88科 321種	132科 537種				
	沖縄	漢那ダム※	21科 39種	1科 1種	3科 6種	16科 79種	70科 229種	108科 348種				
		(合計13ダム)	30科 282種	6科 17種	7科 40種	30科 499種	126科 1323種	199科 2161種				
ダム湖環境基図作成調査 （陸域調査含む）のみ	東北	四十四田ダム	5科 9種	0科 0種	3科 4種	8科 44種	53科 131種	66科 184種				
	東北	御所ダム	7科 19種	2科 2種	1科 1種	12科 47種	54科 145種	75科 213種				
	東北	田瀬ダム	8科 11種	2科 2種	5科 7種	9科 43種	55科 177種	74科 233種				
	東北	湯田ダム	12科 28種	2科 2種	4科 7種	10科 33種	55科 157種	79科 220種				
	東北	鳴子ダム	6科 11種	3科 3種	1科 1種	8科 26種	41科 101種	58科 141種				
	東北	胆沢ダム	11科 19種	3科 3種	3科 6種	10科 45種	55科 193種	79科 260種				
	北陸	大町ダム	7科 10種	3科 6種	2科 2種	7科 30種	44科 121種	61科 167種				
	北陸	三国川ダム	7科 16種	2科 2種	2科 5種	7科 29種	39科 122種	55科 169種				
	北陸	手取川ダム	13科 20種	3科 4種	3科 5種	9科 19種	52科 130種	77科 173種				
	中部	長島ダム	8科 15種	2科 4種	1科 2種	4科 13種	30科 72種	44科 104種				
	中国	八田原ダム	10科 15種	2科 4種	1科 1種	9科 28種	42科 105種	63科 152種				
	四国	中筋川ダム	8科 13種	0科 0種	2科 5種	5科 13種	35科 56種	48科 82種				
	四国	横瀬川ダム	8科 26種	2科 3種	2科 6種	5科 11種	36科 69種	51科 109種				
	沖縄	羽地ダム	15科 19種	1科 1種	5科 9種	10科 23種	33科 57種	59科 100種				
	沖縄	金武ダム	0科 0種	0科 0種	0科 0種	1科 1種	4科 6種	5科 7種				
		(合計15ダム)	24科 105種	4科 14種	8科 29種	23科 178種	96科 596種	155科 922種				
植物相+基図調査の合計（全28ダム）			30科 293種	6科 23種	8科 44種	30科 526種	126科 1428種	200科 2314種				

（注）※植物相調査とダム湖環境基図作成調査の両方を実施したダム。植物相調査とダム湖環境基図作成調査の結果を合わせて整理。

※ジュンサイ科、スイレン科、マツブサ科、センリョウ科、ドクダミ科、コショウ科、ウマノスズクサ科、モクレン科、バンレイシ科、クスノキ科の植物は、基部被子植物として整理。

植物重要種一覧（令和5年度）＜1＞

No.	科和名	種和名	学名	選定基準			確認ダム数	
				①	②	③	植物	基図
1	ヒカゲノカズラ科	ヨウラクヒバ	<i>Phlegmariurus phlegmaria</i>			EN	1	0
2	ヒカゲノカズラ科	ヒモラン	<i>Phlegmariurus sieboldii</i>			EN	1	0
3	イワヒバ科	ツルカタヒバ	<i>Selaginella flagellifera</i>			NT	6	0
4	マツバラ科	マツバラ	<i>Psilotum nudum</i>			NT	6	0
5	ホングウシダ科	エダウチクジャク	<i>Lindsaea heterophylla</i>			NT	1	0
6	コバノイシカグマ科	オオイシカグマ	<i>Microlepia speluncae</i>			VU	1	0
7	イノモトソウ科	タキミシダ	<i>Antrophyum obovatum</i>			EN	1	0
8	イノモトソウ科	カワリバアマクサシダ	<i>Pteris perplexa</i>			VU	2	0
9	チャセンシダ科	シマオオタニワタリ	<i>Asplenium nidus</i>			NT	3	0
10	チャセンシダ科	オクタマシダ	<i>Asplenium pseudowilfordii</i>			VU	1	0
11	チャセンシダ科	ラハオシダ	<i>Hymenasplenium excisum</i>			EN	1	0
12	ヒメシダ科	ヒメミゾシダ	<i>Thelypteris gymnocarpa</i> ssp. <i>amabilis</i>			NT	4	0
13	メシダ科	イブダケキノボリシダ	<i>Diplazium crassiusculum</i>			NT	2	0
14	ウラボシ科	ヒメウラボシ	<i>Oreogrammitis dorsipila</i>			EN	1	0
15	ウマノスズクサ科	サカワサイシン	<i>Asarum sakawanum</i> var. <i>sakawanum</i>			VU	1	0
16	クスノキ科	アカハダクスノキ	<i>Beilschmiedia erythrophloia</i>			NT	1	0
17	クスノキ科	ニッケイ	<i>Cinnamomum sieboldii</i>			NT	6	0
18	サトイモ科	ユキモチソウ	<i>Arisaema sikokianum</i>			VU	4	0
19	ホンゴウソウ科	ホンゴウソウ	<i>Sciaphila nana</i>			VU	1	0
20	シュロソウ科	コショウジョウバカマ	<i>Heloniopsis kawanoi</i>			VU	1	0
21	シュロソウ科	オオシロショウジョウバカマ	<i>Heloniopsis leucantha</i>			VU	4	0
22	サルトリイバラ科	アラガタサンキライ	<i>Smilax bracteata</i> var. <i>verruculosa</i>			EN	5	0
23	ユリ科	ジョウロウホトトギス	<i>Tricyrtis macrantha</i>			VU	1	0
24	ラン科	シラン	<i>Bletilla striata</i>			NT	6	0
25	ラン科	マメヅタラン	<i>Bulbophyllum drymoglossum</i>			NT	3	0
26	ラン科	ムギラン	<i>Bulbophyllum inconspicuum</i>			NT	2	1
27	ラン科	エビネ	<i>Calanthe discolor</i>			NT	2	0
28	ラン科	レンギョウエビネ	<i>Calanthe lyroglossa</i>			VU	5	0
29	ラン科	オナガエビネ	<i>Calanthe masuca</i>			VU	3	0
30	ラン科	キンセイラン	<i>Calanthe nipponica</i>			VU	1	0
31	ラン科	ナツエビネ	<i>Calanthe puberula</i>			VU	2	1
32	ラン科	ツルラン	<i>Calanthe triplicata</i>			VU	5	1
33	ラン科	キンラン	<i>Cephalanthera falcata</i>			VU	2	0
34	ラン科	トクサラン	<i>Cephalantheropsis obcordata</i>			NT	4	0
35	ラン科	ナギラン	<i>Cymbidium nagifolium</i>			VU	1	0
36	ラン科	オキナワセッコク	<i>Dendrobium okinawense</i>		第一	EN	4	0
37	ラン科	ユウレイラン	<i>Didymoplexis pallens</i>			NT	2	0
38	ラン科	タカツラン	<i>Erythrorchis altissima</i>			CR	1	0
39	ラン科	タカサゴヤガラ	<i>Eulophia taiwanensis</i>		国内	CR	1	0
40	ラン科	カシノキラン	<i>Gastrochilus japonicus</i>			VU	4	0
41	ラン科	トサカメオトラン	<i>Geodorum densiflorum</i>			EN	4	0
42	ラン科	ダイサギソウ	<i>Habenaria dentata</i>			EN	3	0
43	ラン科	ナメラサギソウ	<i>Habenaria pantlingiana</i>			EN	4	1
44	ラン科	ムカゴソウ	<i>Herminium lanceum</i>			EN	3	0
45	ラン科	ヤクシマヒメアリドオシラン	<i>Kuhlhasseltia yakushimensis</i>			NT	1	0
46	ラン科	ボウラン	<i>Luisia teres</i>			NT	1	0
47	ラン科	オオバヨウラクラン	<i>Oberonia makinoi</i>			CR	1	0
48	ラン科	カクチョウラン	<i>Phaius tankervilleae</i>			VU	6	0
49	ラン科	イヌマムカゴ	<i>Platanthera inumae</i>			EN	1	0
50	ラン科	クニガミトンボソウ	<i>Platanthera sonoharae</i>		国内	CR	4	0

植物重要種一覧（令和5年度）＜2＞

No.	科和名	種和名	学名	選定基準			確認ダム数	
				①	②	③	植物	基図
51	ラン科	コウトウシラン	<i>Spathoglottis plicata</i>			VU	1	0
52	ラン科	アオジクキヌラン	<i>Zeuxine affinis</i>			EN	4	0
53	ラン科	イシガキヌラン	<i>Zeuxine flava</i>			VU	1	0
54	アヤメ科	ヒメシャガ	<i>Iris gracilipes</i>			NT	1	0
55	アヤメ科	カキツバタ	<i>Iris laevigata</i>			NT	1	0
56	ガマ科	ミクリ	<i>Sparganium erectum</i>			NT	0	1
57	カヤツリグサ科	オキナワヒメナキリ	<i>Carex tamakii</i>			NT	5	0
58	カヤツリグサ科	ホウキガヤツリ	<i>Cyperus distans</i>			CR	2	0
59	カヤツリグサ科	コツブヌマハリイ	<i>Eleocharis parvinox</i>			VU	1	0
60	カヤツリグサ科	ヤリテンツキ	<i>Fimbristylis ovata</i>			NT	2	0
61	イネ科	ケナシハイチゴザサ	<i>Isachne lutchuensis</i>			CR	2	0
62	ケシ科	ナガミノツルケマン	<i>Corydalis raddeana</i>			NT	0	1
63	キンボウゲ科	アズマレイジンソウ	<i>Aconitum pterocaulae</i> var. <i>pterocaulae</i>			NT	1	0
64	キンボウゲ科	オキナグサ	<i>Pulsatilla cernua</i>			VU	1	0
65	ツゲ科	オキナワツゲ	<i>Buxus liukuensis</i>			VU	1	0
66	ツゲ科	タイワンアサマツゲ	<i>Buxus microphylla</i> var. <i>sinica</i>			CR	1	0
67	タコノアシ科	タコノアシ	<i>Penthorum chinense</i>			NT	3	0
68	アリノトウグサ科	タチモ	<i>Myriophyllum ussuriense</i>			NT	0	1
69	マメ科	イヌハギ	<i>Lespedeza tomentosa</i>			VU	1	0
70	クロウメモドキ科	ヤエヤマネコノチ	<i>Rhammella franguloides</i> var. <i>inaequilatera</i>			VU	2	0
71	イラクサ科	タイワントリアシ	<i>Boehmeria formosana</i>			VU	1	0
72	イラクサ科	トキホコリ	<i>Elatostema densiflorum</i>			VU	1	0
73	イラクサ科	クニガミサンショウソ	<i>Elatostema suzukii</i>			NT	6	0
74	バラ科	シマカナメモチ	<i>Photinia wrightiana</i>			NT	4	0
75	バラ科	ゴショイチゴ	<i>Rubus chingii</i>			EN	1	0
76	バラ科	サナギイチゴ	<i>Rubus pungens</i>			VU	0	1
77	バラ科	タイワンウラジロイチゴ	<i>Rubus swinhoei</i>			EN	5	0
78	ニシキギ科	ハリツルマサキ	<i>Gymnosporia diversifolia</i>			NT	2	0
79	コミカンソウ科	アカハダコバンノキ	<i>Margaritaria indica</i>			CR	1	0
80	ヤナギ科	エゾノタカネヤナギ	<i>Salix nakamuraana</i> ssp. <i>yezoalpina</i>			EN	1	0
81	ミソハギ科	シマサルスベリ	<i>Lagerstroemia subcostata</i> var. <i>subcostata</i>			NT	1	0
82	ノボタン科	コバノミヤマノボタン	<i>Bredia okinawensis</i>			VU	5	0
83	ムクロジ科	クスノハカエデ	<i>Acer itoanum</i>			VU	1	0
84	タデ科	ノダイオウ	<i>Rumex longifolius</i>			VU	1	0
85	アジサイ科	リュウキュウコンテリギ	<i>Hortensia liukuensis</i>			VU	5	0
86	サカキ科	マメヒサカキ	<i>Eurya emarginata</i> var. <i>minutissima</i>			VU	5	0
87	サカキ科	クニガミヒサカキ	<i>Eurya zigzag</i>			CR	3	0
88	カキノキ科	ヤエヤマコクタン	<i>Diospyros egbertwalkerii</i>			NT	2	0
89	サクラソウ科	サクラソウ	<i>Primula sieboldii</i>			NT	1	0
90	ハイノキ科	ミヤマシロバイ	<i>Symplocos sonoharae</i>			VU	4	0
91	イワウメ科	シマイワウチワ	<i>Shortia rotundifolia</i>			NT	3	0
92	ツツジ科	ケラマツツジ	<i>Rhododendron scabrum</i>			VU	6	0
93	アカネ科	ニコゲルリミノキ	<i>Lasianthus hispidulus</i>			NT	2	0
94	モクセイ科	ヤナギバモクセイ	<i>Osmanthus insularis</i> var. <i>okinawensis</i>			EN	2	0
95	オオバコ科	ハマクワガタ	<i>Veronica javanica</i>			VU	1	0
96	オオバコ科	カワヂシャ	<i>Veronica undulata</i>			NT	4	0
97	シソ科	オキナワヤブムラサキ	<i>Callicarpa oshimensis</i> var. <i>okinawensis</i>			VU	2	0
98	シソ科	コナミキ	<i>Scutellaria guillemii</i>			VU	1	0
99	タヌキモ科	イヌタヌキモ	<i>Utricularia australis</i>			NT	1	1
100	タヌキモ科	ミカワタヌキモ	<i>Utricularia exoleta</i>			VU	1	0
101	タヌキモ科	ヒメタヌキモ	<i>Utricularia minor</i>			NT	0	1
102	キク科	ナガバハグマ	<i>Ainsliaea oblonga</i>			VU	4	0
103	キク科	アワコガネギク	<i>Chrysanthemum seticuspe</i> f. <i>boreale</i>			NT	1	0
104	キク科	イズハハコ	<i>Eschenbachia japonica</i>			VU	2	0
105	キク科	リュウキュウツツブキ	<i>Farfugium japonicum</i> var. <i>luchuense</i>			NT	4	0
106	キク科	ヤナギニガナ	<i>Ixeridium laevigatum</i>			VU	2	0
107	キク科	コスギニガナ	<i>Ixeridium yakuinsulare</i>			VU	2	0
108	キク科	ウサギソウ	<i>Ixeris chinensis</i> ssp. <i>chinensis</i>			DD	1	0
109	キク科	コケタンボポ	<i>Solenogyne mikadoi</i>			VU	1	0
110	セリ科	イヌトウキ	<i>Angelica shikokiana</i>			VU	2	0
52科110種							49科105種	6科10種

①文化財保護法

②絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律〔種の保存法〕(平成5年)

③環境省「レッドリスト2020」掲載種

CR：絶滅危惧ⅠA類 - ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの

EN：絶滅危惧ⅠB類 - ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの

VU：絶滅危惧Ⅱ類 - 絶滅の危険が増大している種

NT：準絶滅危惧 - 現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種

DD：情報不足 - 評価するだけの情報が不足している種

LP：絶滅のおそれのある地域個体群 - 地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

植物国外外来種一覧（令和5年度）＜1＞

No.	科和名	種和名	学名	外来種	植物											基図											植物 基図 確認 ダム 数	植物 基図 確認 ダム 数					
					東北 釜房 ダム	中部 蓮 ダム	四国			沖縄				植物 確認 ダム 数	東北			北陸			中部	中国	四国	沖縄	基図 確認 ダム 数								
							早 明 浦 ダム	池 田 ダム	富 郷 ダム	柳 瀬 ダム	新 宮 ダム ※	辺 野 喜 ダム ※	普 久 川 ダム ※	安 波 川 ダム ※	新 川 ダム ※	福 地 ダム ※	漢 那 ダム ※	御 所 ダム	田 瀬 ダム	湯 田 ダム	鳴 子 ダム	胆 沢 ダム	大 町 ダム	三 国 川 ダム	手 取 川 ダム	長 島 ダム	八 田 原 ダム	中 筋 川 ダム	横 瀬 川 ダム	羽 地 ダム	金 武 ダム		
1	イノモトソウ科	ギンシダ	<i>Pityrogramma calomelanos</i>													●	1														0	1	
2	イチョウ科	イチョウ	<i>Ginkgo biloba</i>		●					●	●						3				●										1	4	
3	ヒノキ科	コウヨウザン	<i>Cunninghamia lanceolata</i>							●							1														0	1	
4	ヒノキ科	ヌマスギ	<i>Taxodium distichum</i>		●		●										2														0	2	
5	スイレン科	スイレン	<i>Nymphaea cvs.</i>	重点													0			●											1	1	
6	サトイモ科	コンニャク	<i>Amorphophallus konjac</i>								●						1														0	1	
7	サトイモ科	ミズイモ	<i>Colocasia esculenta var. aquatilis</i>													●	1														0	1	
8	サトイモ科	サトイモ	<i>Colocasia esculenta var. esculenta</i>			●											1														0	1	
9	サトイモ科	アオミツバカズラ	<i>Syngonium podophyllum</i>									●	●		●		3														0	3	
10	トチカガミ科	オオカナダモ	<i>Egeria densa</i>	重点													0										●				1	1	
11	トチカガミ科	コカナダモ	<i>Elodea nuttallii</i>	重点				●									1														0	1	
12	ヤマノイモ科	ナガイモ	<i>Dioscorea polystachya</i>		●	●	●	●								●	5															0	5
13	ユリ科	シンテッポウユリ	<i>Lilium x formolongo</i>	その他	●	●	●	●		●							5															0	5
14	アヤメ科	ヒメヒオウギズイセン	<i>Crococsmia x crocosmiiflora</i>	その他	●	●	●	●	●	●							6															0	6
15	アヤメ科	トウショウブ	<i>Gladiolus x gandavensis</i>													●	1															0	1
16	アヤメ科	キショウブ	<i>Iris pseudacorus</i>	重点	●	●	●	●			●						5															0	5
17	アヤメ科	ルリニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium angustifolium</i>		●						●						2															0	2
18	アヤメ科	キバナニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium exile</i>												●	●	2															0	2
19	アヤメ科	ニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium rosulatum</i>			●	●	●			●	●	●	●	●	●	10															0	10
20	アヤメ科	オオニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium sp.</i>		●	●	●	●									4															0	4
21	ヒガンバナ科	ニラ	<i>Allium tuberosum</i>		●	●	●	●									3															0	3
22	ヒガンバナ科	ヒガンバナ	<i>Lycoris radiata</i>		●	●	●	●	●	●	●						6															0	6
23	ヒガンバナ科	タマスダレ	<i>Zephyranthes candida</i>			●											1															0	1
24	ヒガンバナ科	サフランモドキ	<i>Zephyranthes carinata</i>				●										1															0	1
25	クサスギカズラ科	ハラン	<i>Aspidistra elatior</i>							●							1															0	1
26	クサスギカズラ科	センネンボク	<i>Cordyline cvs.</i>										●				1															0	1
27	クサスギカズラ科	ムスカリ	<i>Muscari neglectum</i>		●												1															0	1
28	クサスギカズラ科	アツバチトセラン	<i>Sansevieria trifasciata</i>	定着予防												●	1															0	1
29	ツユクサ科	ノハカタカラクサ	<i>Tradescantia fluminensis</i>	重点		●					●						2															0	2
30	ツユクサ科	ミドリハカタカラクサ	<i>Tradescantia fluminensis 'Viridis'</i>				●										1															0	1
31	ツユクサ科	ムラサキツユクサ	<i>Tradescantia ohienensis</i>				●										1															0	1
32	ショウガ科	ハナシュクシヤ	<i>Hedychium coronarium</i>	その他								●			●		2															0	2
33	ショウガ科	ミョウガ	<i>Zingiber mioga</i>		●	●	●	●	●	●	●						7				●											1	8
34	カヤツリグサ科	シュロガヤツリ	<i>Cyperus alternifolius</i>	重点							●					●	2												●			1	3
35	カヤツリグサ科	メリケンガヤツリ	<i>Cyperus eragrostis</i>	重点				●			●					●	3															0	3
36	イネ科	コスカグサ	<i>Agrostis gigantea</i>	産業	●					●							2	●				●										2	4
37	イネ科	ヌカススキ	<i>Aira caryophyllea</i>			●		●	●								3															0	3
38	イネ科	ハナヌカススキ	<i>Aira elegantissima</i>					●									1															0	1
39	イネ科	メリケンカルカヤ	<i>Andropogon virginicus</i>	その他	●	●	●	●		●							6										●					1	7
40	イネ科	ハルガヤ	<i>Anthoxanthum odoratum</i>	その他	●			●	●								3															0	3
41	イネ科	カラスムギ	<i>Avena fatua</i>					●									1															0	1
42	イネ科	ツルメヒシバ	<i>Axonopus compressus</i>												●		1															0	1
43	イネ科	ホソバツルメヒシバ	<i>Axonopus fissifolius</i>											●			1															0	1
44	イネ科	ホウライチク	<i>Bambusa multiplex</i>											●		●	2															0	2
45	イネ科	モンツキガヤ	<i>Bothriochloa bladhii</i>	重点							●		●	●	●	●	5															0	5
46	イネ科	コバンソウ	<i>Briza maxima</i>				●	●									2															0	2
47	イネ科	ヒメコバンソウ	<i>Briza minor</i>			●	●			●					●	●	5															0	5
48	イネ科	ヤクナガイヌムギ	<i>Bromus carinatus</i>		●												1															0	1
49	イネ科	イヌムギ	<i>Bromus catharticus</i>		●		●	●									3															0	3
50	イネ科	ヒメヒゲシバ	<i>Chloris divaricata var. cynodontoides</i>										●	●	●	●	4															0	4

植物国外外来種一覧（令和5年度）＜2＞

No.	科和名	種和名	学名	外来種	植物												基図										植物 基図 確認 ダム 数							
					東北 金房 ダム	中部 蓮 ダム	四国			沖縄					植物 確認 ダム 数	東北		北陸		中部	中国	四国	沖縄	基図 確認 ダム 数										
							早 明 浦 ダム	富 郷 ダム	柳 瀬 ダム	新 宮 ダム	辺 野 喜 ダム ※	普 久 川 ダム ※	安 波 ダム ※	新 川 ダム ※	福 地 ダム ※	漢 那 ダム ※	四十 四 田 ダム	御 所 ダム	田 瀬 ダム	湯 田 ダム	鳴 子 ダム	胆 沢 ダム	大 町 ダム	三 国 川 ダム	手 取 川 ダム	長 島 ダム	八 田 原 ダム	中 筋 川 ダム	横 瀬 川 ダム	羽 地 ダム	金 武 ダム			
51	イネ科	アフリカヒゲシバ	<i>Chloris gayana</i>											●		●	2															0	2	
52	イネ科	ジュズダマ	<i>Coix lacryma-jobi</i>			●		●									2															0	2	
53	イネ科	カモガヤ	<i>Dactylis glomerata</i>	産業	●	●	●	●	●								5	●	●	●		●										4	9	
54	イネ科	ヒメオニササガヤ	<i>Dichanthium annulatum</i>								●	●	●	●	●	●	5															0	5	
55	イネ科	オニササガヤ	<i>Dichanthium aristatum</i>									●					1															0	1	
56	イネ科	ワセビエ	<i>Echinochloa colona</i>								●					●	2															0	2	
57	イネ科	シナダレスズメガヤ	<i>Eragrostis curvula</i>	重点	●	●	●	●	●							●	5					●					●					2	7	
58	イネ科	コスズメガヤ	<i>Eragrostis minor</i>		●	●		●									3						●									0	3	
59	イネ科	ムラサキノキビ	<i>Eriochloa procerata</i>												●		1															0	1	
60	イネ科	オオウシノケグサ	<i>Festuca rubra</i>				●										1					●										1	2	
61	イネ科	シラゲガヤ	<i>Holcus lanatus</i>		●												1															0	1	
62	イネ科	ネズミムギ	<i>Lolium multiflorum</i>	産業	●			●									2															0	2	
63	イネ科	ホソムギ	<i>Lolium perenne</i>	産業	●												1															0	1	
64	イネ科	ルビーガヤ	<i>Melinis repens</i>												●		1															0	1	
65	イネ科	ニコゲスカキビ	<i>Panicum acuminatum</i>												●		1															0	1	
66	イネ科	オオクサキビ	<i>Panicum dichotomiflorum</i>	その他	●	●	●			●	●						5	●			●		●	●	●	●						6	11	
67	イネ科	ギネアキビ	<i>Panicum maximum</i>	産業												●	1															0	1	
68	イネ科	オガサワラスズメノヒエ	<i>Paspalum conjugatum</i>								●	●	●	●	●	●	6															0	6	
69	イネ科	シマスズメノヒエ	<i>Paspalum dilatatum</i>	その他		●	●	●								●	4															0	4	
70	イネ科	キシウスズメノヒエ	<i>Paspalum distichum</i>	その他			●										1															0	1	
71	イネ科	アメリカスズメノヒエ	<i>Paspalum notatum</i>	産業							●	●	●	●	●	●	5															0	5	
72	イネ科	タチスズメノヒエ	<i>Paspalum urvillei</i>	その他			●	●		●	●	●	●	●	●	●	9															0	9	
73	イネ科	ナビアグラス	<i>Pennisetum purpureum</i>	産業							●				●		2															0	2	
74	イネ科	オオアワガエリ	<i>Phleum pratense</i>	産業	●												1															0	1	
75	イネ科	モウソウチク	<i>Phyllostachys edulis</i>	産業			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	6				●						●					2	8	
76	イネ科	クロチク	<i>Phyllostachys nigra var. nigra</i>			●											1									●						0	1	
77	イネ科	マダケ	<i>Phyllostachys reticulata</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	7				●					●						2	9	
78	イネ科	ナガハグサ	<i>Poa pratensis</i>		●	●	●	●	●	●							4															0	4	
79	イネ科	オオスズメノカタビラ	<i>Poa trivialis</i>		●	●	●	●	●	●							7															0	7	
80	イネ科	ヤダケ	<i>Pseudosasa japonica</i>			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	6			●								●				2	8	
81	イネ科	ムラサキタカオススキ	<i>Saccharum formosanum var. pollinioides</i>	その他							●	●	●	●	●	●	6											●				0	6	
82	イネ科	オニウシノケグサ	<i>Schedonorus phoenix</i>	産業	●	●	●	●	●	●				●			8	●	●			●					●					4	12	
83	イネ科	セイバンモロコシ	<i>Sorghum propinquum</i>	その他				●						●			2															0	2	
84	イネ科	クサビガヤ	<i>Sphenopholis obtusata</i>								●			●	●	●	5															0	5	
85	イネ科	イヌシバ	<i>Stenotaphrum secundatum</i>								●			●	●	●	5															0	5	
86	イネ科	スリナムグラス	<i>Urochloa eminii</i>								●						1															0	1	
87	イネ科	バラグラス	<i>Urochloa mutica</i>								●			●		●	4													●		1	5	
88	イネ科	ベチベルソウ	<i>Vetiveria zizanioides</i>												●		1															0	1	
89	イネ科	ナギナタガヤ	<i>Vulpia myuros var. myuros</i>	産業	●	●		●		●	●						5															0	5	
90	ケシ科	ナガミヒナゲシ	<i>Papaver dubium</i>			●		●	●		●						4															0	4	
91	メギ科	ヒイラギナンテン	<i>Berberis japonica</i>	その他				●		●							2															0	2	
92	メギ科	ホソバヒイラギナンテン	<i>Mahonia fortunei</i>					●									1															0	1	
93	キンボウゲ科	シュウメイギク	<i>Anemone hupehensis var. japonica</i>		●												1															0	1	
94	キンボウゲ科	トゲミノキツネノボタン	<i>Ranunculus muricatus</i>					●									1															0	1	
95	フウ科	フウ	<i>Liquidambar formosana</i>			●											1															0	1	
96	ベンケイソウ科	トウロウソウ	<i>Kalanchoe pinnata</i>	重点								●				●	2															0	2	
97	ベンケイソウ科	オウシュウマンネングサ	<i>Sedum acre</i>			●											1															0	1	
98	ベンケイソウ科	オカタイトゴメ	<i>Sedum japonicum ssp. oryzifolium var. pumilum</i>					●									1															0	1	
99	ベンケイソウ科	オノマンネングサ	<i>Sedum lineare</i>			●		●									4															0	4	
100	ベンケイソウ科	メキシコマンネングサ	<i>Sedum mexicanum</i>			●	●			●							2																0	4

植物国外外来種一覧（令和5年度）＜3＞

No.	科和名	種和名	学名	外来種	植物											基図														植物 基図 確認 ダム 数			
					東北 釜房 ダム	中部 蓮 ダム	四国 池田 ダム	富 郷 ダム	柳 瀬 ダム	新 宮 ダム	辺 野 喜 ダム ※	普 久 川 ダム ※	安 波 川 ダム ※	新 川 ダム ※	福 地 ダム ※	漢 那 ダム ※	植物 確認 ダム 数	東北 御 所 ダム	田 瀬 ダム	湯 田 ダム	鳴 子 ダム	胆 沢 ダム	大 町 ダム	三 国 川 ダム	手 取 川 ダム	中部 長 島 ダム	中国 八 田 原 ダム	四国 中 筋 川 ダム	横 瀬 川 ダム		沖 縄 金 武 ダム	基 図 確認 ダム 数	
101	ベンケイソウ科	ツルマンネングサ	<i>Sedum sarmentosum</i>		●	●			●								4		●				●								2	6	
102	ブドウ科	ヨーロッパブドウ	<i>Vitis vinifera</i>		●												1														0	1	
103	マメ科	ソウシジュ	<i>Acacia confusa</i>	重点									●	●		●	4												●		1	5	
104	マメ科	イタチハギ	<i>Amorpha fruticosa</i>	重点	●	●	●	●	●		●						8	●	●	●	●	●	●	●	●						8	16	
105	マメ科	ゲンゲ	<i>Astragalus sinicus</i>				●		●								2															0	2
106	マメ科	ハイクサネム	<i>Desmanthus illinoensis</i>								●	●	●	●	●		5															0	5
107	マメ科	タチクサネム	<i>Desmanthus pernambucanus</i>											●			1															0	1
108	マメ科	アレチヌスビトハギ	<i>Desmodium paniculatum</i>	その他	●	●	●	●		●							5															0	5
109	マメ科	モルッカネム	<i>Falcataria moluccana</i>									●					1															0	1
110	マメ科	トウコマツナギ	<i>Indigofera bungeana</i> var. <i>bungeana</i>			●	●	●	●	●							6								●							1	7
111	マメ科	ギンゴウカン	<i>Leucaena leucocephala</i>	重点								●	●	●	●	●	6													●		1	7
112	マメ科	コメツブウマゴヤシ	<i>Medicago lupulina</i>									●	●	●	●	●	5															0	5
113	マメ科	シナガワハギ	<i>Melilotus officinalis</i> ssp. <i>suaveolens</i>									●	●	●	●	●	4															0	4
114	マメ科	オジギソウ	<i>Mimosa pudica</i>												●	●	2															0	2
115	マメ科	オカミズオジギソウ	<i>Neptunia triquetra</i>													●	1															0	1
116	マメ科	ハリエンジュ	<i>Robinia pseudoacacia</i>	産業	●			●									2	●	●		●	●	●	●	●	●						8	10
117	マメ科	モクセンナ	<i>Senna surattensis</i>													●	1															0	1
118	マメ科	クスダマツメクサ	<i>Trifolium campestre</i>			●											1															0	1
119	マメ科	コメツブツメクサ	<i>Trifolium dubium</i>		●	●	●	●	●	●							6															0	6
120	マメ科	ベニバナツメクサ	<i>Trifolium incarnatum</i>			●											1															0	1
121	マメ科	ムラサキツメクサ	<i>Trifolium pratense</i>		●	●	●	●	●								4	●	●		●	●	●			●						6	10
122	マメ科	シロツメクサ	<i>Trifolium repens</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12	●	●	●		●	●	●								5	17
123	ヒメハギ科	コバナヒメハギ	<i>Polygala paniculata</i>								●	●	●	●	●	●	6												●			1	7
124	クワ科	カジノキ	<i>Broussonetia papyrifera</i>				●	●			●					●	5															0	5
125	クワ科	マグワ	<i>Morus alba</i>				●	●	●	●	●						5															1	6
126	イラクサ科	コゴメミズ	<i>Pilea microphylla</i>	重点								●	●	●	●	●	6															0	6
127	バラ科	ソメイヨシノ	<i>Cerasus x vedoensis</i>		●	●	●										3															0	3
128	バラ科	ビワ	<i>Eriobotrya japonica</i>	産業		●	●	●	●	●	●						6															0	6
129	バラ科	ウメ	<i>Prunus mume</i>		●			●									2															0	2
130	バラ科	タチバナモドキ	<i>Pyracantha angustifolia</i>	その他						●							1															0	1
131	バラ科	トキワサンザシ	<i>Pyracantha coccinea</i>	その他				●									1															0	1
132	バラ科	セイヨウヤブイチゴ	<i>Rubus armeniacus</i>		●												1															0	1
133	モクマオウ科	カニンガムモクマオウ	<i>Casuarina cunninghamiana</i>												●		1															0	1
134	モクマオウ科	トクサバモクマオウ	<i>Casuarina equisetifolia</i>	重点											●	●	2												●			1	3
135	カバノキ科	タイワンハンノキ	<i>Alnus japonica</i> var. <i>formosana</i>								●	●	●	●	●	●	5															0	5
136	ウリ科	アレチウリ	<i>Sicyos angulatus</i>	特定／緊急	●					●							2	●	●		●	●										4	6
137	シュウカイドウ科	シキザキベゴニア	<i>Begonia cucullata</i>												●		1															0	1
138	シュウカイドウ科	シュウカイドウ	<i>Begonia grandis</i>				●										1															0	1
139	カタバミ科	ムラサキカタバミ	<i>Oxalis corymbosa</i>		●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	10															0	10
140	カタバミ科	オッタチカタバミ	<i>Oxalis dillenii</i>		●	●	●	●	●	●							7															0	7
141	トウダイグサ科	シマニシキソウ	<i>Euphorbia hirta</i>				●					●	●	●	●	●	7															0	7
142	トウダイグサ科	セイタカオオニシキソウ	<i>Euphorbia hyssopifolia</i>								●	●	●	●	●	●	3															0	3
143	トウダイグサ科	コニシキソウ	<i>Euphorbia maculata</i>		●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	9	●														1	10
144	トウダイグサ科	コバノニシキソウ	<i>Euphorbia makinoi</i>									●			●		2															0	2
145	トウダイグサ科	オオニシキソウ	<i>Euphorbia nutans</i>		●	●	●	●	●	●							6								●	●						2	8
146	トウダイグサ科	ハイニシキソウ	<i>Euphorbia prostrata</i>								●	●	●	●	●	●	6															0	6
147	トウダイグサ科	ナンキンハゼ	<i>Triadica sebifera</i>	その他			●						●	●	●	●	4															0	4
148	トウダイグサ科	アブラギリ	<i>Vernicia cordata</i>				●	●									2										●					1	3
149	コミカンソウ科	ナガエコミカンソウ	<i>Phyllanthus tenellus</i>								●	●	●		●	●	5															0	5
150	トケイソウ科	ミスミトケイソウ	<i>Passiflora suberosa</i>													●	1															0	1

植物国外外来種一覧（令和5年度）＜4＞

No.	科和名	種和名	学名	外来種	植物											基図											植物+ 基図 確認 ダム数	植物+ 基図 確認 ダム数	
					東北	中部	四国			沖縄					植物 確認 ダム 数	東北			北陸		中国	四国	沖縄	基図 確認 ダム 数					
					金 房 ダム	蓮 ダム	早 明 浦 ダム	池 田 ダム	富 郷 ダム	柳 瀬 ダム	辺 野 喜 ダム ※	普 久 川 ダム ※	安 波 ダム ※	新 川 ダム ※		福 地 ダム ※	漢 那 ダム ※	四 十 四 田 ダム	御 所 ダム	湯 田 ダム	鳴 子 ダム	胆 沢 ダム	三 国 川 ダム		手 取 川 ダム	中 部 長 島 ダム			八 田 原 ダム
151	ヤナギ科	セイヨウハコヤナギ	<i>Populus nigra var. italica</i>		●												1											0	1
152	ヤナギ科	シダレヤナギ	<i>Salix babylonica</i>		●			●										2										0	2
153	スミレ科	サンシキスミレ	<i>Viola tricolor</i>			●												1										0	1
154	フウロソウ科	アメリカフウロ	<i>Geranium carolinianum</i>		●	●	●	●		●								6										0	6
155	ミソハギ科	ネバリミソハギ	<i>Cuphea carthagenensis</i>							●			●	●	●	●		4										0	4
156	アカバナ科	ヒレタゴボウ	<i>Ludwigia decurrens</i>			●		●		●								3						●				1	4
157	アカバナ科	メマツヨイグサ	<i>Oenothera biennis</i>		●	●	●	●		●								6	●		●	●			●			4	10
158	アカバナ科	オオバナコマツヨイグサ	<i>Oenothera grandis</i>					●										1										0	1
159	アカバナ科	コマツヨイグサ	<i>Oenothera laciniata</i>	重点		●	●	●			●	●	●	●	●	●		8										0	8
160	アカバナ科	ユウゲショウ	<i>Oenothera rosea</i>		●	●	●	●			●	●	●	●	●	●		10										0	10
161	フトモモ科	テリハバンジロウ	<i>Psidium cattleianum</i>	重点													●	1										0	1
162	フトモモ科	バンジロウ	<i>Psidium guajava</i>											●				1										0	1
163	フトモモ科	フトモモ	<i>Syzygium jambos</i>	その他													●	2										0	2
164	ウルシ科	ウルシ	<i>Toxicodendron vernicifluum</i>		●													1										0	1
165	ムクロジ科	トネリコバナカエデ	<i>Acer negundo</i>		●													1										0	1
166	ミカン科	ユズ	<i>Citrus Junos</i>			●												1										0	1
167	ニガキ科	ニワウルシ	<i>Ailanthus altissima</i>	重点	●	●												3				●		●				2	5
168	センダン科	センダン	<i>Melia azedarach</i>				●	●	●		●	●	●	●	●	●		8								●		1	9
169	アオイ科	リュウキュウトロロアオイ	<i>Hibiscus abelmoschus</i>														●	1										0	1
170	アオイ科	アメリカフヨウ	<i>Hibiscus moscheutos</i>		●													1										0	1
171	アオイ科	フヨウ	<i>Hibiscus mutabilis</i>	その他				●										1										0	1
172	アオイ科	ムクゲ	<i>Hibiscus syriacus</i>		●			●										2										0	2
173	アオイ科	エノキアオイ	<i>Malvastrum coromandelianum</i>														●	1										0	1
174	アオイ科	アメリカキンゴジカ	<i>Sida spinosa</i>											●				1										0	1
175	ジンチョウゲ科	ミツマタ	<i>Edgeworthia chrysantha</i>		●		●		●	●	●							5										0	5
176	フウチョウソウ科	セイヨウフウチョウソウ	<i>Tarenaya hassleriana</i>			●												1										0	1
177	アブラナ科	カラシナ	<i>Brassica juncea</i>	その他				●										1										0	1
178	アブラナ科	セイヨウアブラナ	<i>Brassica napus</i>				●	●		●								3										0	3
179	アブラナ科	ミチタネツケバナ	<i>Cardamine hirsuta</i>		●													1										0	1
180	アブラナ科	カラクサナズナ	<i>Lepidium didymum</i>														●	1										0	1
181	アブラナ科	マメグンバイナズナ	<i>Lepidium virginicum</i>		●			●										2										0	2
182	アブラナ科	オランダガラシ	<i>Nasturtium officinale</i>	重点	●	●	●	●										4										0	4
183	アブラナ科	ショカツサイ	<i>Orychophragmus violaceus var. violaceus</i>			●	●											2										0	2
184	タデ科	ジャクチリソバ	<i>Fagopyrum dibotrys</i>	その他			●											1										0	1
185	タデ科	ソバカズラ	<i>Fallopia convolvulus</i>															0				●						1	1
186	タデ科	ツルドクダミ	<i>Fallopia multiflora</i>	その他	●													1										0	1
187	タデ科	ヒメツルソバ	<i>Persicaria capitata</i>	その他			●	●										2										0	2
188	タデ科	ハイミチヤナギ	<i>Polygonum aviculare ssp. depressum</i>		●													1										0	1
189	タデ科	ヒメスイバ	<i>Rumex acetosella ssp. pyrenaicus</i>	その他														0			●							1	1
190	タデ科	アレチギシギシ	<i>Rumex conglomeratus</i>				●	●										2										0	2
191	タデ科	ナガバギシギシ	<i>Rumex crispus</i>	その他	●	●	●	●		●								5										0	5
192	タデ科	エゾノギシギシ	<i>Rumex obtusifolius</i>	その他	●	●	●	●		●								4	●	●	●	●		●				5	9
193	ナデシコ科	オランダミミナグサ	<i>Cerastium glomeratum</i>		●	●	●	●	●	●	●							7										0	7
194	ナデシコ科	ムシトリナデシコ	<i>Silene armeria</i>	その他	●	●	●	●										4										0	4
195	ナデシコ科	シロバナマンデマ	<i>Silene gallica var. gallica</i>	その他				●										1										0	1
196	ナデシコ科	コハコベ	<i>Stellaria media</i>		●	●	●	●	●	●	●							7										0	7
197	ヒユ科	ホソバツルノゲイトウ	<i>Alternanthera denticulata</i>				●		●		●							3										0	3
198	ヒユ科	ツルノゲイトウ	<i>Alternanthera sessilis</i>				●				●			●				3										0	3
199	ヒユ科	イヌビユ	<i>Amaranthus blitum</i>					●										1										0	1
200	ヒユ科	ホソアオゲイトウ	<i>Amaranthus hybridus</i>					●										1										0	1

植物国外外来種一覧（令和 5 年度）＜5＞

No.	科和名	種和名	学名	外来種	植物													基図										植物+ 基図確認 ダム数		
					東北 金房 ダム	中部 蓮ダム	四国				沖縄					植物 確認 ダム数	東北			北陸		中部 長島 ダム	中国 八田 原ダム	四国 中筋 川ダム	沖縄 横瀬 川ダム	金武 ダム	基図 確認 ダム 数			
201	ヒユ科	アオゲイトウ	<i>Amaranthus retroflexus</i>		●										1													0	1	
202	ヒユ科	ホナガイヌビユ	<i>Amaranthus viridis</i>					●					●	●	3														0	3
203	ヒユ科	ノゲイトウ	<i>Celosia argentea</i>									●			1														0	1
204	ヒユ科	ケイトウ	<i>Celosia cristata</i>			●									1														0	1
205	ヒユ科	アリタソウ	<i>Dysphania ambrosioides</i>		●		●	●	●	●		●			5														0	5
206	ヤマゴボウ科	ヨウシュヤマゴボウ	<i>Phytolacca americana</i>		●	●	●	●	●	●					6	●			●				●					3	9	
207	オシロイバナ科	イカダカズラ	<i>Bougainvillea spectabilis</i>										●		1													0	1	
208	オシロイバナ科	オシロイバナ	<i>Mirabilis jalapa</i>							●					1														0	1
209	ザクロソウ科	クルマバザクロソウ	<i>Mollugo verticillata</i>					●							1														0	1
210	ツルムラサキ科	ツルムラサキ	<i>Basella alba</i>	その他										●	1														0	1
211	ハゼラン科	ハゼラン	<i>Talinum paniculatum</i>			●		●							3														0	3
212	スベリヒユ科	ヒメマツバボタン	<i>Portulaca pilosa</i>	重点				●							1														0	1
213	ミズキ科	ハナミズキ	<i>Cornus florida</i>												0			●											1	1
214	アジサイ科	アジサイ	<i>Hortensia macrophylla</i> f. <i>macrophylla</i>		●										1														0	1
215	カキノキ科	カキノキ	<i>Diospyros kaki</i> var. <i>kaki</i>		●	●	●	●	●	●	●				7			●							●	●		3	10	
216	カキノキ科	マメガキ	<i>Diospyros lotus</i>		●										1														1	2
217	サクラソウ科	コバンコナスビ	<i>Lysimachia nummularia</i>		●										1														0	1
218	ツバキ科	チャノキ	<i>Camellia sinensis</i> var. <i>sinensis</i>			●	●	●	●	●	●				6										●	●			2	8
219	マタタビ科	キウイフルーツ	<i>Actinidia deliciosa</i>	産業	●			●							2														0	2
220	アカネ科	メリケンムグラ	<i>Diodia virginiana</i>				●								3									●					1	4
221	アカネ科	シラホシムグラ	<i>Galium aparine</i>		●			●							2														0	2
222	アカネ科	オオフトバムグラ	<i>Hexasepalum teres</i>	その他											0										●				1	1
223	アカネ科	タマザキフタバムグラ	<i>Oldenlandia corymbosa</i>										●		1														0	1
224	アカネ科	ナガバハリフタバ	<i>Spermacoce remota</i>									●	●	●	6														0	6
225	リンドウ科	アメリカホウライセンブリ	<i>Zeltnera muhlenbergii</i>								●	●	●	●	6														0	6
226	キョウチクトウ科	キョウチクトウ	<i>Nerium oleander</i> var. <i>indicum</i>										●		1														0	1
227	キョウチクトウ科	ツルニチニチソウ	<i>Vinca major</i>	重点			●	●							2														0	2
228	ヒルガオ科	アメリカネナシカズラ	<i>Cuscuta campestris</i>	その他	●	●		●					●	●	5	●		●											2	7
229	ヒルガオ科	モミジヒルガオ	<i>Ipomoea cairica</i>	重点								●	●	●	5														0	5
230	ヒルガオ科	マルバルコウ	<i>Ipomoea coccinea</i>					●							1														0	1
231	ヒルガオ科	マメアサガオ	<i>Ipomoea lacunosa</i>		●			●							2														0	2
232	ヒルガオ科	アサガオ	<i>Ipomoea nil</i>			●									1														0	1
233	ヒルガオ科	ホシアサガオ	<i>Ipomoea triloba</i>	その他				●					●	●	3														0	3
234	ヒルガオ科	ノアサガオ（園芸品種）	<i>Ipomoea cvs.</i>	重点				●							1														0	1
235	ナス科	キダチチョウセンアサガオ	<i>Brugmansia suaveolens</i>	その他			●	●							2														0	2
236	ナス科	ヤコウカ	<i>Cestrum nocturnum</i>											●	1														0	1
237	ナス科	ホオズキ	<i>Physalis alkekengi</i> var. <i>franchetii</i>		●	●		●							3														0	3
238	ナス科	ヒロハフウリンホオズキ	<i>Physalis angulata</i>			●		●					●		3														0	3
239	ナス科	テリミノイヌホオズキ	<i>Solanum americanum</i>		●			●		●	●	●	●		7														0	7
240	ナス科	ワルナスビ	<i>Solanum carolinense</i>			●		●							2														0	2
241	ナス科	オオイヌホオズキ	<i>Solanum nigrescens</i>				●	●	●						3														0	3
242	ナス科	アメリカイヌホオズキ	<i>Solanum ptychanthum</i>		●	●		●							3														0	3
243	ナス科	スズメナスビ	<i>Solanum torvum</i>										●		1														0	1
244	ナス科	カンザシイヌホオズキ	<i>Solanum sp.</i>					●							1														0	1
245	ムラサキ科	ヒレハリソウ	<i>Symphytum officinale</i>												0		●												1	1
246	モクセイ科	レンギョウ	<i>Forsythia suspensa</i>		●										1														0	1
247	オオバコ科	ジギタリス	<i>Digitalis purpurea</i>			●									1														0	1
248	オオバコ科	キバナオトメアゼナ	<i>Mecardonia procumbens</i>							●		●	●	●	4														0	4
249	オオバコ科	マツバウンラン	<i>Nuttallanthus canadensis</i>			●		●	●	●	●				5														0	5
250	オオバコ科	ヘラオオバコ	<i>Plantago lanceolata</i>		●			●							2														0	2

植物国外外来種一覧（令和 5 年度）＜6＞

No.	科和名	種和名	学名	外来種	植物												基図												植物+ 基図確認 ダム数						
					東北 釜房 ダム	中部 蓮 ダム	早明 浦 ダム	池田 ダム	富郷 ダム	柳瀬 ダム	新宮 ダム	辺野喜 ダム※	普久川 ダム※	安波 ダム※	新川 ダム※	福地 ダム※	漢那 ダム※	植物 確認 ダム 数	東北				北陸		中部 長島 ダム	中国 八田原 ダム	四国 中筋川 ダム	沖縄 横瀬川 ダム		羽地 ダム	金武 ダム	基図 確認 ダム 数			
																			四十四田 ダム	御所 ダム	湯田 ダム	鳴子 ダム	胆沢 ダム	大町 ダム									三国 川 ダム	手取 川 ダム	
251	オオバコ科	ツボミオオバコ	<i>Plantago virginica</i>			●	●	●				●	●	●	●	9																0	9		
252	オオバコ科	オオカワヂシャ	<i>Veronica anagallis-aquatica</i>	特定／緊急	●			●								3																0	3		
253	オオバコ科	タチイヌノフグリ	<i>Veronica arvensis</i>		●	●	●	●	●	●	●					8																0	8		
254	オオバコ科	フラサバソウ	<i>Veronica hederifolia</i>					●	●							2																0	2		
255	オオバコ科	オオイヌノフグリ	<i>Veronica persica</i>			●	●	●	●	●	●					6				●												1	7		
256	オオバコ科	コテングクワガタ	<i>Veronica serpyllifolia ssp. serpyllifolia</i>			●										1																0	1		
257	ゴマノハグサ科	フサフジウツギ	<i>Buddleia davidii</i>	重点	●											1																0	1		
258	アゼナ科	ソバガラウリクサ	<i>Legazpia polygonoides</i>													●	1															0	1		
259	アゼナ科	ヒメアメリカアゼナ	<i>Lindernia anagallidea</i>		●												1																0	1	
260	アゼナ科	タケトアゼナ	<i>Lindernia dubia ssp. dubia</i>		●												1		●								●					2	3		
261	アゼナ科	アメリカアゼナ	<i>Lindernia dubia ssp. major</i>		●	●					●						3		●		●			●			●						4	7	
262	アゼナ科	ハナウリクサ	<i>Torenia fournieri</i>					●									1																0	1	
263	シソ科	ヒメオドリコソウ	<i>Lamium purpureum</i>		●	●			●								3																0	3	
264	シソ科	オランダハッカ	<i>Mentha spicata</i>			●											1																0	1	
265	シソ科	マルバハッカ	<i>Mentha suaveolens</i>			●											1																0	1	
266	シソ科	シソ	<i>Perilla frutescens var. crispa</i>		●						●						2																0	2	
267	シソ科	エゴマ	<i>Perilla frutescens var. frutescens</i>			●											1																	0	1
268	シソ科	ハナトラノオ	<i>Physostegia virginiana</i>					●									1																0	1	
269	キリ科	キリ	<i>Paulownia tomentosa</i>		●	●			●		●						5																0	5	
270	ハマウツボ科	ヒサウチソウ	<i>Bellardia trixago</i>					●									1																0	1	
271	タヌキモ科	オオバナイトタヌキモ	<i>Utricularia gibba</i>	重点				●									1																0	1	
272	キツネノマゴ科	ミズフジ	<i>Hygrophila cf. difformis</i>														●	1															0	1	
273	キツネノマゴ科	ヤナギバルイラソウ	<i>Ruellia simplex</i>	その他									●	●	●	●	●	6															0	6	
274	キツネノマゴ科	ケブカルイラソウ	<i>Ruellia squarrosa</i>												●		●	2															0	2	
275	キツネノマゴ科	ベンガルヤハズカズラ	<i>Thunbergia grandiflora</i>	定着予防												●		1															0	1	
276	ノウゼンカズラ科	ノウゼンカズラ	<i>Campsis grandiflora</i>			●												1															0	1	
277	ノウゼンカズラ科	キササゲ	<i>Catalpa ovata</i>						●									1															0	1	
278	クマツツラ科	シンナガボソウ	<i>Bouchea agristis</i>													●		1															0	1	
279	クマツツラ科	シチヘンゲ	<i>Lantana camara ssp. aculeata</i>	重点				●								●	●	3															0	3	
280	クマツツラ科	フトボナガボソウ	<i>Stachytarpheta jamaicensis</i>	その他													●	1															0	1	
281	クマツツラ科	ヤナギハナガサ	<i>Verbena bonariensis</i>	その他		●	●											2															0	2	
282	クマツツラ科	アレチハナガサ	<i>Verbena brasiliensis</i>	その他		●	●	●	●		●						●	6															0	6	
283	クマツツラ科	ダキバアレチハナガサ	<i>Verbena incompacta</i>	その他			●				●							2															0	2	
284	クマツツラ科	ハマクマツツラ	<i>Verbena litoralis</i>	その他				●				●	●	●	●	●	●	7															0	7	
285	キキョウ科	ホシアザミ	<i>Hippobroma longiflora</i>													●		1															0	1	
286	キキョウ科	ヒナキキョウソウ	<i>Triodanis biflora</i>			●		●										2															0	2	
287	キキョウ科	キキョウソウ	<i>Triodanis perfoliata</i>			●	●		●		●							4															0	4	
288	キク科	カッコウアザミ	<i>Ageratum conyzoides</i>	その他									●		●	●	●	5															0	5	
289	キク科	ムラサキカッコウアザミ	<i>Ageratum houstonianum</i>	その他											●			1															0	1	
290	キク科	ブタクサ	<i>Ambrosia artemisiifolia</i>		●													1							●	●	●						3	4	
291	キク科	オオブタクサ	<i>Ambrosia trifida</i>	重点	●	●												1	●			●	●	●									4	5	
292	キク科	クソニンジン	<i>Artemisia annua</i>		●													1															0	1	
293	キク科	センダングサ	<i>Bidens biternata</i>			●		●				●						3															0	3	
294	キク科	アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i>	その他	●	●	●	●	●		●							6	●	●	●	●	●	●	●	●	●						9	15	
295	キク科	コシロノセンダングサ	<i>Bidens pilosa var. minor</i>			●		●								●	3																0	3	
296	キク科	コセンダングサ	<i>Bidens pilosa var. pilosa</i>		●	●	●	●	●		●							6															2	8	
297	キク科	オオバナノセンダングサ	<i>Bidens pilosa var. radiata</i>	その他								●	●	●	●	●	5													●			1	6	
298	キク科	コスモス	<i>Cosmos bipinnatus</i>		●	●		●										3															0	3	
299	キク科	ベニバナボロギク	<i>Crassocephalum crepidioides</i>		●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	11												●				1	12	
300	キク科	アメリカカタカサブロウ	<i>Eclipta alba</i>		●	●	●	●			●							5											●				1	6	

植物国外外来種一覧（令和5年度）＜7＞

No.	科和名	種和名	学名	外来種	植物										基図													植物・基図 確認ダム数					
					東北 釜房 ダム	中部 連 ダム	四国			沖縄				植物 確認 ダム数	東北			北陸			中部 長島 ダム	中国 八田 原ダム	四国 中筋 川ダム	沖縄 横瀬 川ダム	羽地 ダム	金武 ダム	基図 確認 ダム数						
							早 明 浦 ダム	池 郷 ダム	柳 瀬 ダム	新 宮 ダム	辺 野 喜 ダム※	普 久 川 ダム※	安 波 ダム※		新 川 ダム※	福 地 ダム※	漢 那 ダム※	四十 四 田 ダム	御 所 ダム	田 瀬 ダム									湯 田 ダム	胆 沢 ダム	大 町 ダム	三 国 川 ダム	手 取 川 ダム
301	キク科	ウシノタケダグサ	<i>Erechtites hieraciifolius</i> var. <i>cacalioides</i>									●		●	●	3															0	3	
302	キク科	ダンドボロギク	<i>Erechtites hieraciifolius</i> var. <i>hieraciifolius</i>			●	●	●	●	●	●					6	●												●			2	8
303	キク科	タケダグサ	<i>Erechtites valerianifolius</i>												●	1																0	1
304	キク科	ヒメジョオン	<i>Erigeron annuus</i>	その他	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	13	●	●	●	●	●	●	●			●						8	21
305	キク科	コケセンボンギクモドキ	<i>Erigeron bellioides</i>									●	●	●	●	●	6															0	6
306	キク科	アレチノギク	<i>Erigeron bonariensis</i>												●	1																0	1
307	キク科	ヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron canadensis</i>		●	●	●	●	●	●	●				●	10	●				●		●									3	13
308	キク科	ベラベラヨメナ	<i>Erigeron karvinskianus</i>	その他		●	●	●								3																0	3
309	キク科	ハルジオン	<i>Erigeron philadelphicus</i>		●	●	●	●			●		●			6	●	●	●		●	●										5	11
310	キク科	オオアレチノギク	<i>Erigeron sumatrensis</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12						●										1	13
311	キク科	ハキダメギク	<i>Galinsoga quadriradiata</i>		●			●								2																0	2
312	キク科	ホソバノチチコグサモドキ	<i>Gamochaeta calviceps</i>					●			●					2																0	2
313	キク科	ウラジロチチコグサ	<i>Gamochaeta coarctata</i>			●		●		●						3										●						1	4
314	キク科	チチコグサモドキ	<i>Gamochaeta pensylvanica</i>			●		●							●	3																0	3
315	キク科	クイモ	<i>Helianthus tuberosus</i>		●					●						2					●											1	3
316	キク科	ブタナ	<i>Hypochaeris radicata</i>		●	●										2										●						1	3
317	キク科	フランスギク	<i>Leucanthemum vulgare</i>	その他		●										1																0	1
318	キク科	ツルヒヨドリ	<i>Mikania micrantha</i>	特定／緊急								●				2																0	2
319	キク科	ヒマワリカッウ	<i>Praxelis clematidea</i>									●		●		2																0	2
320	キク科	セイタカハハコグサ	<i>Pseudognaphalium luteoalbum</i>				●									1																0	1
321	キク科	キヌガサギク	<i>Rudbeckia hirta</i>	その他	●											1																0	1
322	キク科	オオハンゴンソウ	<i>Rudbeckia laciniata</i>	特定／緊急	●											1			●		●											2	3
323	キク科	ノボロギク	<i>Senecio vulgaris</i>			●										1																0	1
324	キク科	セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>	重点	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12			●		●			●		●	●	●				6	18
325	キク科	オオアワダチソウ	<i>Solidago gigantea</i> ssp. <i>serotina</i>	重点	●											1	●	●	●		●											4	5
326	キク科	オニノゲシ	<i>Sonchus asper</i>		●		●		●	●					●	6																0	6
327	キク科	タイワンハチジョウナ	<i>Sonchus wightianus</i>									●	●	●	●	●	6															0	6
328	キク科	アメリカハマグルマ	<i>Sphagneticola trilobata</i>	緊急								●	●	●	●	●	6															0	6
329	キク科	ヒロハホウキギク	<i>Symphotrichum subulatum</i> var. <i>squamatum</i>		●		●		●			●	●	●	●	7																0	7
330	キク科	ホウキギク	<i>Symphotrichum subulatum</i> var. <i>subulatum</i>												●	1																0	1
331	キク科	フシザキシソウ	<i>Synedrella nodiflora</i>											●		1																0	1
332	キク科	シオザキシソウ	<i>Tagetes minuta</i>													0									●							1	1
333	キク科	セイヨウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i>	重点	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	11	●	●			●											3	14
334	キク科	ニトベギク	<i>Tithonia diversifolia</i>												●	1																0	1
335	キク科	コトブキギク	<i>Tridax procumbens</i>												●	1																0	1
336	キク科	オオオナモミ	<i>Xanthium occidentale</i>	その他	●			●	●	●						4	●	●	●	●		●		●	●							8	12
337	キク科	イガオナモミ	<i>Xanthium orientale</i> ssp. <i>italicum</i>		●											1	●															1	2
338	ウコギ科	ヤドリフカノキ	<i>Schefflera arboricola</i>											●	●	2																0	2
339	セリ科	マツバゼリ	<i>Cyclospermum leptophyllum</i>				●					●	●	●	●	4																0	4
340	セリ科	ノラニンジン	<i>Daucus carota</i> ssp. <i>carota</i>													0			●		10	17	23	12	11	7	5	27	4	3	7	1	1
				種数合計	114	##	94	##	62	33	78	54	34	64	66	89	73	24	15	15	10	17	23	12	11	7	5	27	4	3	7	1	
					82科 331種												28科 73種																

注) ●は確認を示す。

凡例)

○：植栽の場合、外来種に該当

「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（以下「特定外来生物法」）」指定種

特定：「特定外来生物法」における特定外来生物

「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（以下「生態系被害防止外来種リスト」）掲載種」

定着（その他）：定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、導入の予防や水際での監視、野外への逸出・定着の防止、発見した場合の早期防除が必要な、定着を予防する外来種のうち、侵入の情報はありますが、

定着は確認されていない種。

総合（緊急）：国内に定着が確認されており、生態系等への被害のおそれがあるため、総合的に対策が必要な外来種のうち、緊急性が高く、積極的に防除が必要な外来種。

総合（重点）：国内に定着が確認されており、生態系等への被害のおそれがあるため、総合的に対策が必要な外来種のうち、甚大な被害が予想される重点的に対策が必要な外来種。

総合（その他）：国内に定着が確認されており、生態系等への被害のおそれがあるため、総合的に対策が必要な外来種のうち、緊急、重点に該当しない種。

産業：産業又は公益的役割において重要であり、利用において逸出等の防止のための適切な管理に重点を置いた対策が必要な外来種。

4.2 生物多様性

日本の生物多様性の危機の原因の一つとして、「外来種など人為的に持ち込まれたものによる在来種との競合や交雑」があげられています。

植物では、園芸用に輸入された種や飼料穀物に紛れ込んだ種子の自然界への逸出等に伴って、本来は日本に生育しない国外の種が侵入し、自然界へ広がっている例が数多くみられます。外来植物の侵入は、在来植物群集の攪乱を引き起こし、時には花粉症等の健康被害の要因となることが知られています。また、これらの外来植物を食草とする外来の陸上昆虫類等の生息基盤にもなります。ダム湖周辺で確認された場合は、種子が水の流れによって運ばれることもあるため、ダム下流の河川に広く影響を及ぼす可能性があります。

ここでは、生態系の人為的な攪乱状況を明らかにするために、国外外来種のうち特定外来生物^{※1}に指定されている種や、生態系被害防止外来種リスト^{※2}掲載種の確認状況について整理しました。

(注) とりまとめ対象ダムについて

平成 28 年度から令和 4 年度にかけて行われている 5 巡目調査を実施した 106 ダムの結果を用いています。

平成 28 年度に調査を実施した 9 ダム、平成 29 年度に実施した 7 ダム、平成 30 年度に実施した 25 ダム、令和元年度に実施した 24 ダム、令和 2 年度に実施した 3 ダム、令和 3 年度に実施した 16 ダム（内 1 ダムは令和元年度と令和 3 年度の 2 回実施）、令和 4 年度に実施した 10 ダム、令和 5 年度に実施した 13 ダムがあります。

(1) 特定外来生物等の分布状況（生物多様性への攪乱）

・ **特定外来生物に指定されているナガエツルゲイトウ、アレチウリ、オオバナミズキンバイ、オオフサモ、オオカワヂシャ、オオキンケイギク、ツルヒヨドリ、オオハンゴンソウ、ナルトサワギク、ボタンウキクサの 10 種を平成 28 年度～令和 4 年度の 5 巡目調査を実施した 106 ダムで確認**

外来植物の侵入は、在来植物との競合や交雑を引き起こし、時には花粉症等の健康被害の要因となることが知られています。今回とりまとめを行った 106 ダムでは、特定外来生物に指定されている植物 19 種のうち 10 種が確認されました。オオバナミズキンバイは令和元年度の調査で天ヶ瀬ダムにおいて初めて確認されました。ナルトサワギクは平成 29 年度の調査で大渡ダムにおいて初めて確認されました。特定外来生物等が確認されたほとんどのダムでは、前巡目より継続して確認されており、繁殖力の強さがうかがえます。

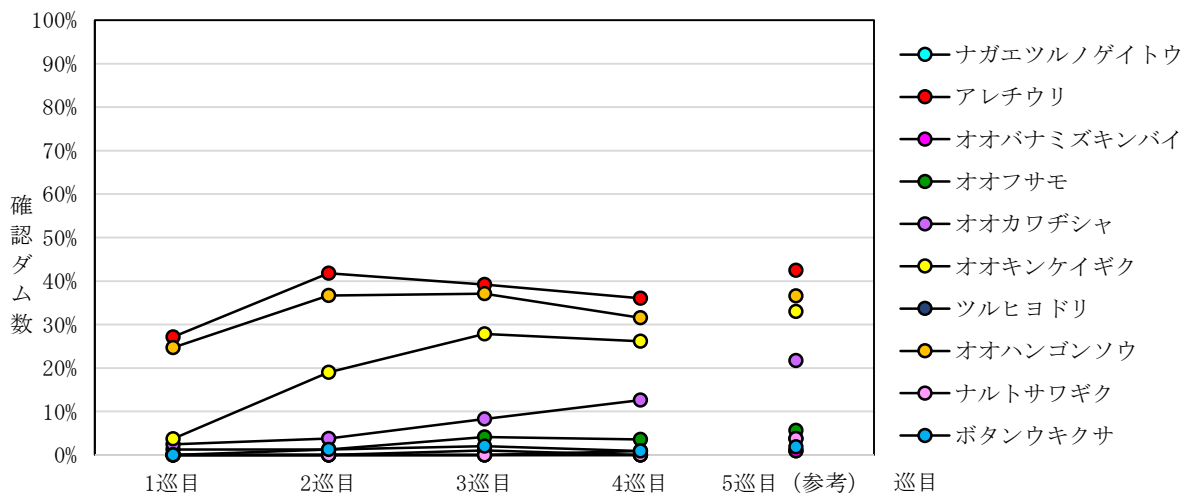
※1 特定外来生物とは、『特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（最終改正及び施行 2014 年 6 月）』により、輸入や飼養等が規制される生物(生きているものに限られ、個体だけではなく、卵、種子、器官等も含まれる)です。おおむね明治以降に国外から導入された国外外来種のうち、生態系、人の生命・身体及び農林水産業へ被害を及ぼすもの、または及ぼすおそれがある生物が指定されています（指定された外来生物と在来種が交雑した生物も含む）。

※2 生態系被害防止外来種リスト（我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト）とは、我が国の生物多様性を保全するため、さまざまな主体の参画のもとで外来種対策の一層の進展を図ることを目的とし、環境省及び農林水産省が「生態系、人の生命・身体、農林水産業に被害を及ぼす又はそのおそれがある生物」を生態的特性及び社会的状況も踏まえて選定した外来種リストです。リスト中には特定外来生物法で指定された生物も含まれています。

参考文献：1) 日本生態学会（2002）外来種ハンドブック, 地人書館
2) (独) 国立環境研究所, 侵入生物データベース

特定外来生物の確認ダム数の巡目比較

種名(19 種)	1 巡目調査 (81 ダム)	2 巡目調査 (79 ダム)	3 巡目調査 (97 ダム)	4 巡目調査 (111 ダム)	5 巡目調査 (106 ダム)	今回 確認
アゾルラ・クリスタタ	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	
ナガエツルノゲイトウ	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	1 ダム [1.0%]	0 ダム [0.0%]	1 ダム [0.9%]	
ナガエモウセンゴケ	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	
アレチウリ	22 ダム [27.2%]	33 ダム [41.8%]	38 ダム [39.2%]	40 ダム [36.0%]	45 ダム [42.5%]	○
オオバナミズキンバイ 等(ルドウィギア・グラ ンディフロラ)	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	1 ダム [0.9%]	
オオフサモ	1 ダム [1.2%]	1 ダム [1.3%]	4 ダム [4.1%]	4 ダム [3.6%]	6 ダム [5.7%]	
ブラジルチドメグサ	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	
オオカワヂシャ	2 ダム [2.5%]	3 ダム [3.8%]	8 ダム [8.2%]	14 ダム [12.6%]	23 ダム [21.7%]	○
オオキンケイギク	3 ダム [3.7%]	15 ダム [19.0%]	27 ダム [27.8%]	29 ダム [26.1%]	35 ダム [33.0%]	○
ミズヒマワリ	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	
ツルヒヨドリ	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	1 ダム [0.9%]	4 ダム [3.8%]	○
オオハンゴンソウ	20 ダム [24.7%]	29 ダム [36.7%]	36 ダム [37.1%]	35 ダム [31.5%]	35 ダム [33.0%]	○
ナルトサワギク	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	4 ダム [3.8%]	
ビーチグラス	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	
スパルティナ属	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	
ボタンウキクサ	0 ダム [0.0%]	1 ダム [1.3%]	2 ダム [2.1%]	1 ダム [0.9%]	2 ダム [1.9%]	○
エフクレタヌキモ(タヌ キモ属)	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	
ウトウリクテリア・インフ ラタ(タヌキモ属)	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	
ウトウリクテリア・プラテ ンシス(タヌキモ属)	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	0 ダム [0.0%]	



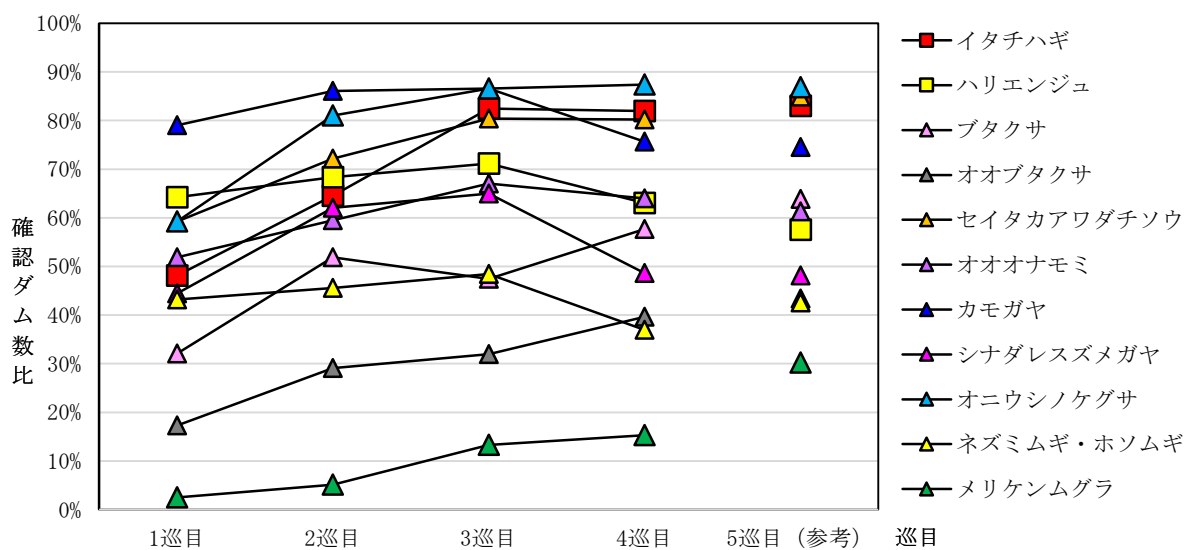
※ 本取りまとめでは、平成 28 年～令和 5 年度の 5 巡目の植物調査が実施された 106 ダムを対象に行った。
 ※ () 内は各巡目において調査を実施しているダムの数を示す。巡目の途中から調査を行っていたり、途中の年度を調査していないダムがあるため、巡目毎の調査ダム数は異なる。
 ※ [] 内は確認ダム数の調査実施ダム数に対する%を示す。
 ※確認ダムがある場合は灰色、5 巡目初確認の場合は青色で塗りつぶした。

このとりまとめでは 5 巡目に植物調査を実施した 106 ダムを対象に整理しました。106 ダムでは、特定外来生物に指定されている植物 19 種のうち、ナガエツルノゲイトウ、アレチウリ、オオバナミズキンバイ、オオフサモ、オオカワヂシャ、オオキンケイギク、ツルヒヨドリ、オオハンゴンソウ、ナルトサワギク、ボタンウキクサの 10 種が確認されました。

オオバナミズキンバイは令和元年度の調査、ナルトサワギクは平成 29 年度の調査で初めて確認されました。

生態系被害防止外来種リスト掲載種の確認ダム数の巡目比較

種名	1 巡目調査 (81 ダム)	2 巡目調査 (79 ダム)	3 巡目調査 (97 ダム)	4 巡目調査 (111 ダム)	5 巡目調査 (106 ダム)	今回 確認
イタチハギ	39 ダム [48.1%]	51 ダム [64.6%]	80 ダム [82.5%]	91 ダム [82.0%]	88 ダム [83.0%]	○
ハリエンジュ	52 ダム [64.2%]	54 ダム [68.4%]	69 ダム [71.1%]	70 ダム [63.1%]	61 ダム [57.5%]	○
オオブタクサ	14 ダム [17.3%]	23 ダム [29.1%]	31 ダム [32.0%]	44 ダム [39.6%]	46 ダム [43.4%]	○
セイタカアワダチソウ	48 ダム [59.3%]	57 ダム [72.2%]	78 ダム [80.4%]	89 ダム [80.2%]	90 ダム [84.9%]	○
オオオナモミ	42 ダム [51.9%]	47 ダム [59.5%]	65 ダム [67.0%]	71 ダム [64.0%]	65 ダム [61.3%]	○
カモガヤ	64 ダム [79.0%]	68 ダム [86.1%]	84 ダム [86.6%]	84 ダム [75.7%]	79 ダム [75.7%]	○
シナダレスズメガヤ	36 ダム [44.4%]	49 ダム [62.0%]	63 ダム [64.9%]	54 ダム [48.6%]	51 ダム [48.1%]	○
オニウシノケグサ	48 ダム [59.3%]	64 ダム [81.0%]	84 ダム [86.6%]	97 ダム [87.4%]	92 ダム [86.8%]	○
ネズミムギ・ホソムギ	35 ダム [43.2%]	36 ダム [45.6%]	47 ダム [48.5%]	41 ダム [36.9%]	43 ダム [42.6%]	○
メリケンムグラ	2 ダム [2.5%]	4 ダム [5.1%]	13 ダム [13.3%]	17 ダム [15.3%]	32 ダム [30.2%]	○



※ 本取りまとめでは、平成 28 年～令和 5 年度の 5 巡目の植物調査が実施された 106 ダムを対象に行った。
 ※ ()内は各巡目において調査を実施しているダムの数を示す。巡目の途中から調査を行っていたり、途中の年度を調査していないダムがあるため、巡目毎の調査ダム数は異なる。
 ※ [] 内は確認ダム数の調査実施ダム数に対する%を示す。

ここでは、これらの特定外来生物のうち、今まで河川水辺の国勢調査で確認されたことがある種と、生態系被害防止外来種リストに挙げられている種でダム湖周辺における代表的な外来植物の 1～5 巡目の確認状況を示しました。代表的な外来植物としては、緑化植物として導入された種や、水位変動によって分布面積が変動する種といった視点より、イタチハギ、ハリエンジュ、オオブタクサ、セイタカアワダチソウ、オオオナモミ、カモガヤ、シナダレスズメガヤ、オニウシノケグサ、ネズミムギ、ホソムギ、メリケンムグラを選定しました。なお、ネズミムギ、ホソムギについては、両種の交雑により区別の難しい個体が多く野生化しており、調査者が異なれば別の種に同定している可能性が考えられるため、両種をあわせて整理することとしました。

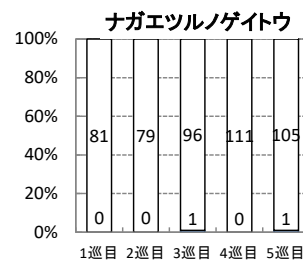
5 巡目調査で確認された種について、全国の確認状況を示します。

■特定外来生物

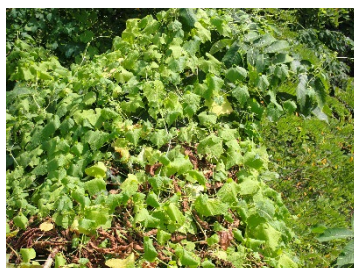
ナガエツルノゲイトウは、5巡目で対象とした106ダムのうち、近畿の天ヶ瀬ダムで確認されました。過去には3巡目調査時に九州の寺内ダムで確認されています。



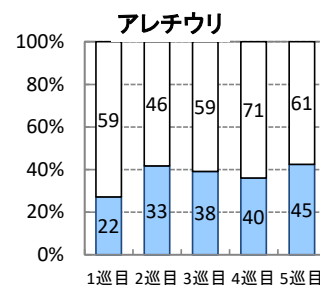
ナガエツルノゲイトウ
(天ヶ瀬ダム・令和元年9月)



アレチウリは、5巡目で対象とした106ダムのうち、東北で11ダム（津軽ダム、四十四田ダム等）、関東で10ダム（相俣ダム、菌原ダム等）、北陸で1ダム（大川ダム）、中部で8ダム（長島ダム、美和ダム等）、近畿で8ダム（天ヶ瀬ダム、比奈知ダム等）、中国で2ダム（尾原ダム、灰塚ダム）、四国で2ダム（大渡ダム）、九州で3ダム（耶馬溪ダム、下笠ダム、松原ダム）の計45ダムで確認されました。本種は定着力が強く、一度分布が確認されるとその後の調査では継続して確認されることが多いことから、現在、未確認のダムでは、本種の侵入を防ぐことが最も重要な対策であると考えられます。



アレチウリ
(津軽ダム・令和3年9月)

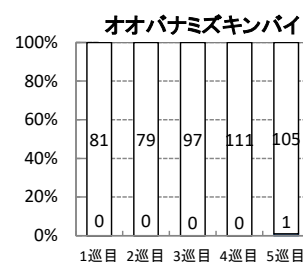


アレチウリ
(丸山ダム・令和3年5月)

オオバナミズキンバイは、5巡目で対象とした106ダムのうち、近畿の天ヶ瀬ダムで確認されました。河川水辺の国勢調査では、令和元年度の調査で初めて確認されました。



オオバナミズキンバイ
(天ヶ瀬ダム・令和元年9月)

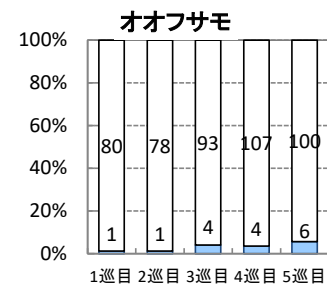


■ 確認ダム □ 未確認ダム
※グラフ中の数値はダム数

オオフサモは、5 巡目で対象とした 106 ダムのうち、関東の渡良瀬遊水地、中国の弥栄ダム、四国の野村ダム、中筋川ダム、九州の巨勢川調整池、沖縄の金武ダムの 6 ダムで確認されました。



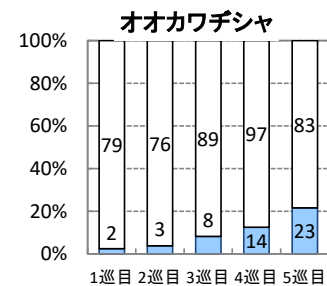
オオフサモ
(野村ダム・令和3年9月)



オオカワヂシャは、5 巡目で対象とした 106 ダムのうち、東北で 2 ダム（田瀬ダム、釜房ダム）、関東で 4 ダム（下久保、渡良瀬遊水地等）、北陸で 1 ダム（大川ダム）、近畿で 9 ダム（天ヶ瀬ダム、日吉ダム等）、中国で 4 ダム（殿ダム、灰塚ダム等）、四国で 3 ダム（石手川ダム、池田ダム等）の計 23 ダムで確認されました。本種が確認されたダムは増加傾向にあり、現在、未確認のダムでは、本種の侵入を防ぐことが最も重要な対策であると考えられます。



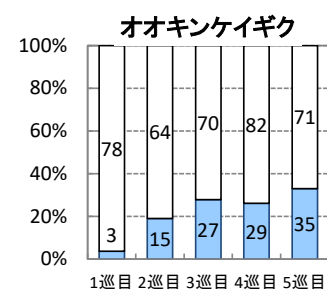
オオカワヂシャ
(灰塚ダム・令和3年5月)



オオキンケイギクは、5 巡目で対象とした 106 ダムのうち、東北で 6 ダム（四十四田ダム、御所ダム等）、関東で 6 ダム（藤原ダム、相俣ダム等）、中部で 6 ダム（長島ダム、美和ダム等）、近畿で 4 ダム（天ヶ瀬ダム、日吉ダム等）、中国で 8 ダム（殿ダム、尾原ダム等）、四国で 2 ダム（石手川ダム、鹿野川ダム）、九州で 3 ダム（松原ダム、寺内ダム等）の計 35 ダムで確認されました。本種が確認されたダムは増加傾向にあり、現在、未確認のダムでは、本種の侵入を防ぐことが最も重要な対策であると考えられます。



オオキンケイギク
(鹿野川ダム・令和3年6月)

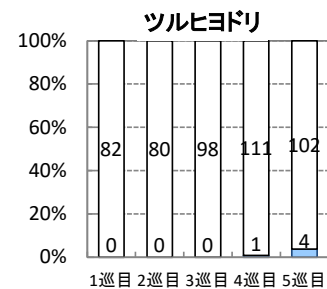


■ 確認ダム □ 未確認ダム
※グラフ中の数値はダム数

ツルヒヨドリは、5 巡目で対象とした 106 ダムのうち、沖縄の普久川ダム、羽地ダム、漢那ダム、金武ダムの 4 ダムで確認されました。



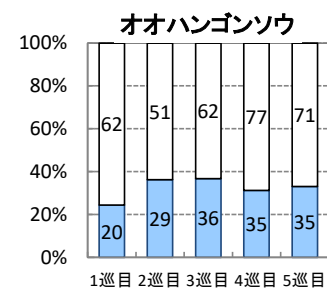
ツルヒヨドリ
(漢那ダム・令和5年5月)



オオハンゴンソウは、5 巡目で対象とした 106 ダムのうち、北海道で 9 ダム（忠別ダム、金山ダム）、東北で 14 ダム（森吉山ダム、浅瀬石川ダム等）、関東では 5 ダム（藤原ダム、相俣ダム等）、北陸では 1 ダム（大川ダム）、中部で 4 ダム（美和ダム、新豊根ダム）、中国で 2 ダム（菅沢ダム、尾原ダム）の計 35 ダムで確認されました。



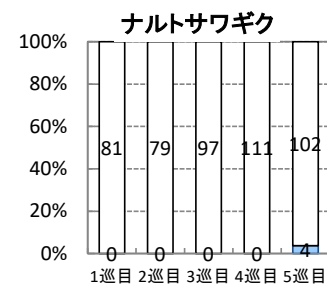
オオハンゴンソウ
(津軽ダム・令和3年9月)



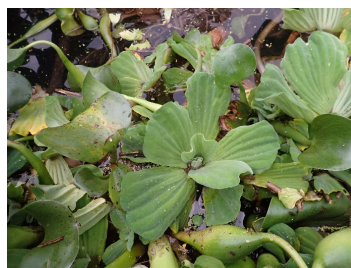
ナルトサワギクは、5 巡目で対象とした 106 ダムのうち、近畿の天ヶ瀬ダム、一庫ダム、大滝ダム、四国の大渡ダムの計 4 ダムで確認されました。河川水辺の国勢調査では、平成 29 年度の調査において大渡ダムで初めて確認されました。



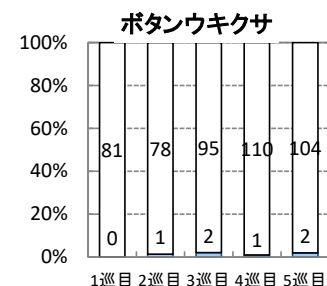
ナルトサワギク
(天ヶ瀬ダム・令和元年6月)



ボタンウキクサは、5 巡目で対象とした 106 ダムのうち、九州の鶴田ダム、沖縄の金武ダムの 2 ダムで確認されました。
※写真は、環境基図調査の九州の鶴田ダムのものを参考として掲載



ボタンウキクサ
(鶴田ダム・令和3年)



■ 確認ダム □ 未確認ダム

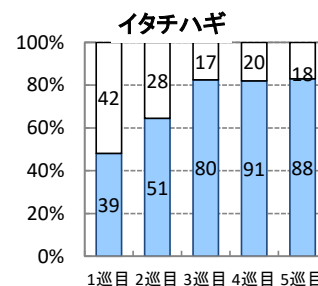
※グラフ中の数値はダム数

■生態系被害防止外来種リスト掲載種

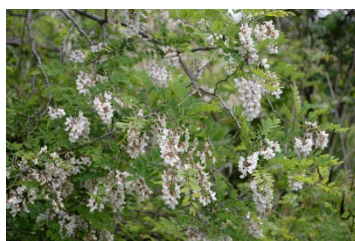
イタチハギは、5巡目で対象とした106ダムのうち、北海道、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄の88ダムで確認されました。本種が確認されたダムは、増加傾向にあり、現在、未確認のダムでは、本種の侵入を防ぐことが最も重要な対策であると考えられます。



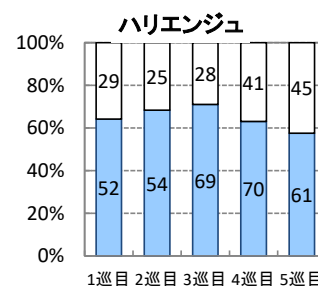
イタチハギ
(湯田ダム・令和元年7月)



ハリエンジュは、5巡目で対象とした106ダムのうち、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、九州の61ダムで確認されました。



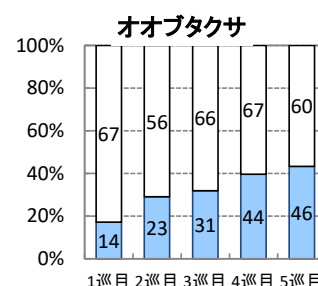
ハリエンジュ
(田瀬ダム・令和元年5月)



オオブタクサは、5巡目で対象とした106ダムのうち、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国、九州の46ダムで確認されました。



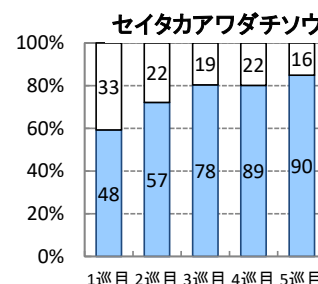
オオブタクサ
(比奈知ダム・令和元年5月)



セイタカアワダチソウは、5巡目で対象とした106ダムのうち、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄の90ダムで確認されました。



セイタカアワダチソウ
(寺内ダム・令和元年10月)

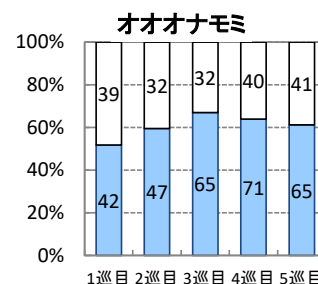


■ 確認ダム □ 未確認ダム
※グラフ中の数値はダム数

オオオナモミは、5 巡目で対象とした 106 ダムのうち、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国、九州の 65 ダムで確認されました。



オオオナモミ
(阿木川ダム・令和3年9月)

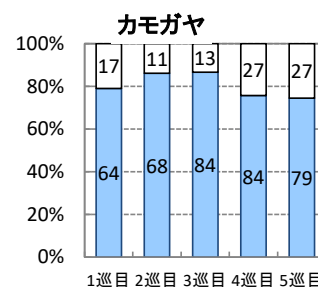


カモガヤは、5 巡目で対象とした 106 ダムのうち、北海道、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国、九州の 79 ダムで確認されました。

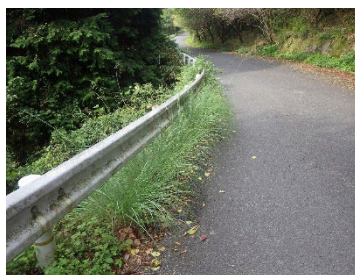
※写真は、環境基図調査の北海道の岩尾内ダムのものを参考として掲載



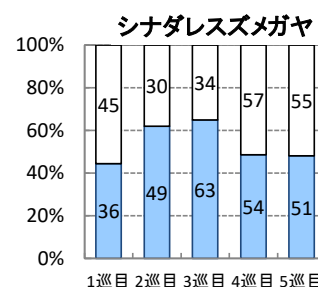
カモガヤ
(岩尾内ダム・令和元年10月)



シナダレスズメガヤは、5 巡目で対象とした 106 ダムのうち、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、九州の 51 ダムで確認されました。



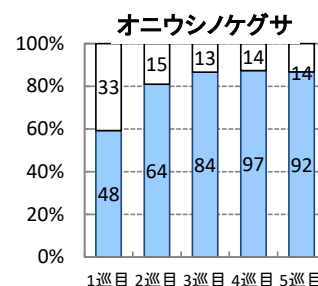
シナダレスズメガヤ
(高山ダム・令和元年10月)



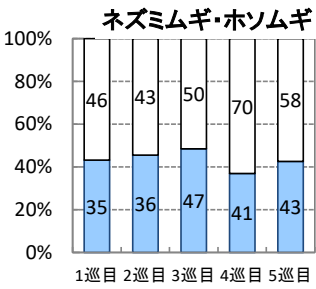
オニウシノケグサは、5 巡目で対象とした 106 ダムのうち、北海道、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄の 92 ダムで確認されました。



オニウシノケグサ
(竜門ダム・令和3年10月)



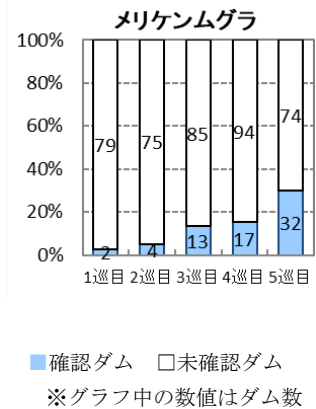
ネズミムギ、ホソムギは、5巡目で対象とした106ダムのうち、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州の43ダムで確認されました。



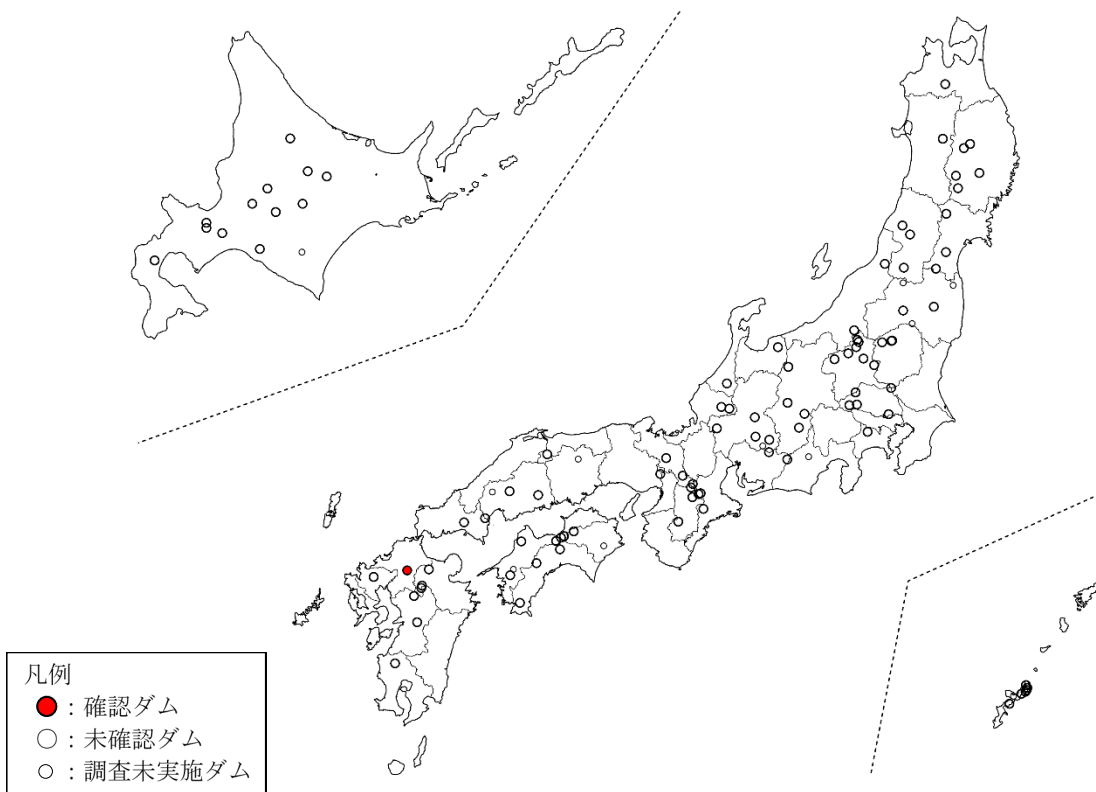
メリケンムグラは、5巡目で対象とした106ダムのうち、関東、中部、近畿、中国、四国、九州の32ダムで確認されました。



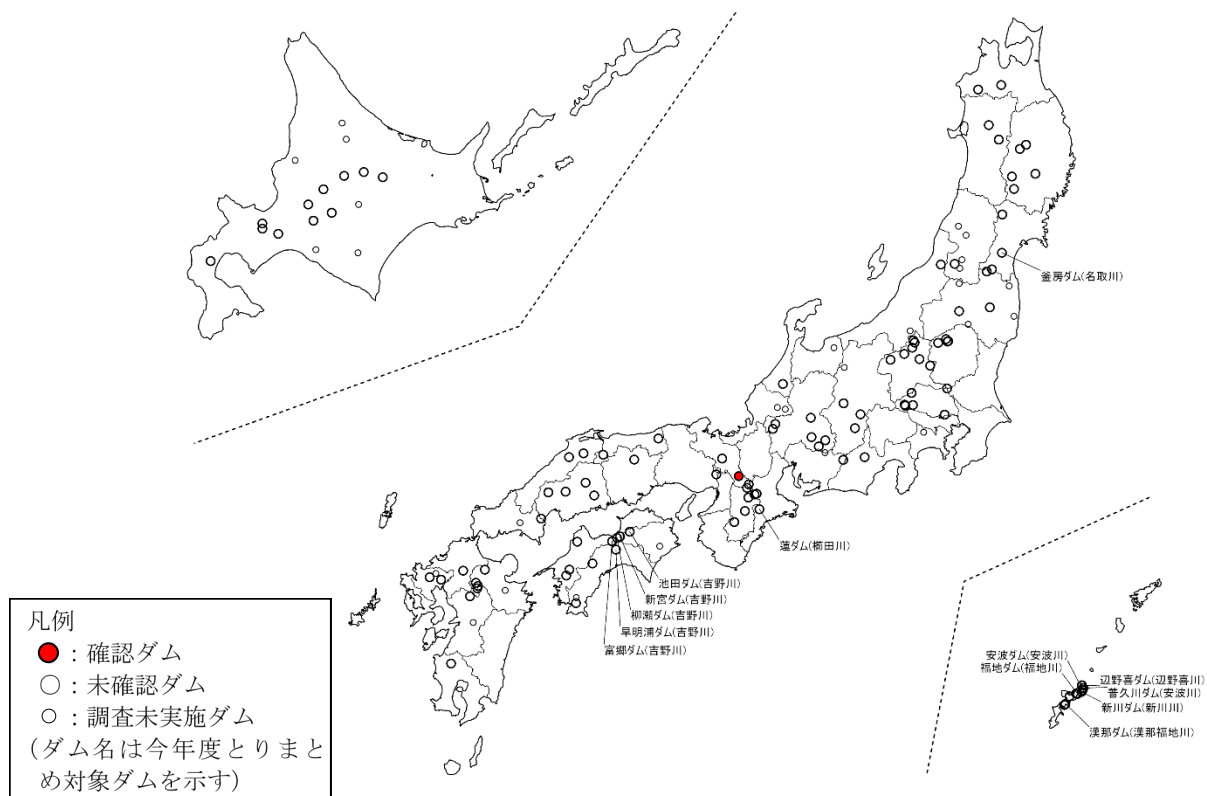
メリケンムグラ
(長島ダム・令和5年11月)



3 巡目調査 (平成 2～7 年度)

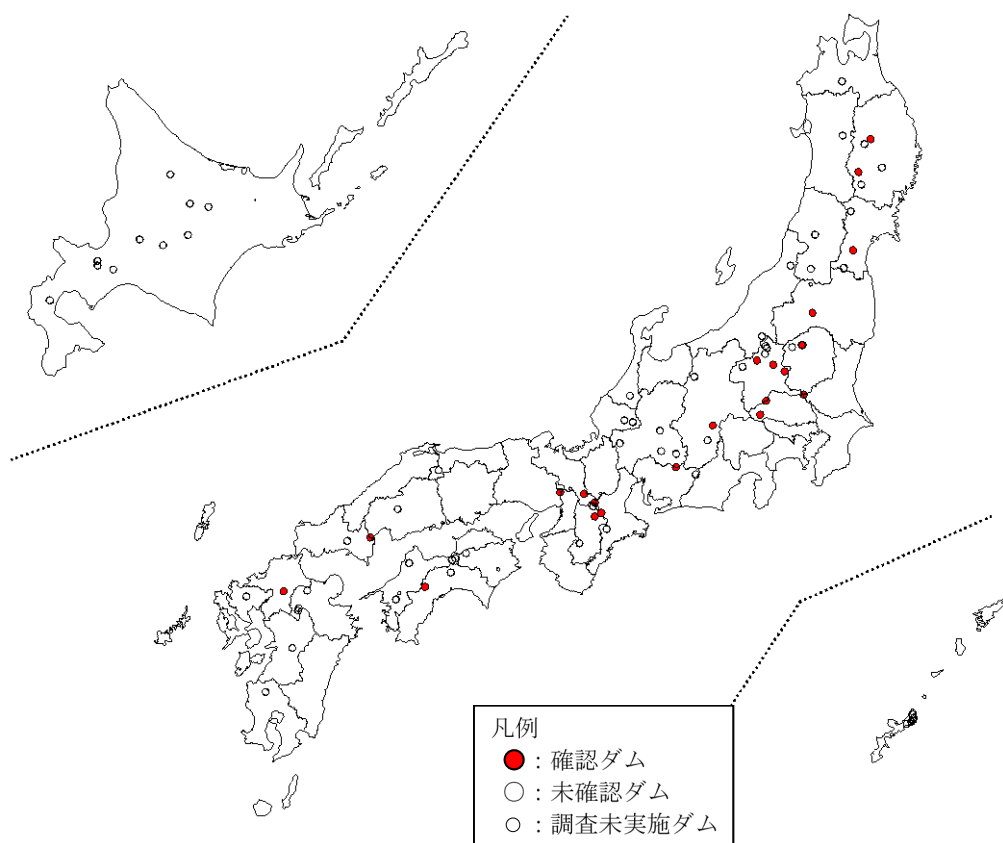


5 巡目調査 (平成 28～令和 5 年度)

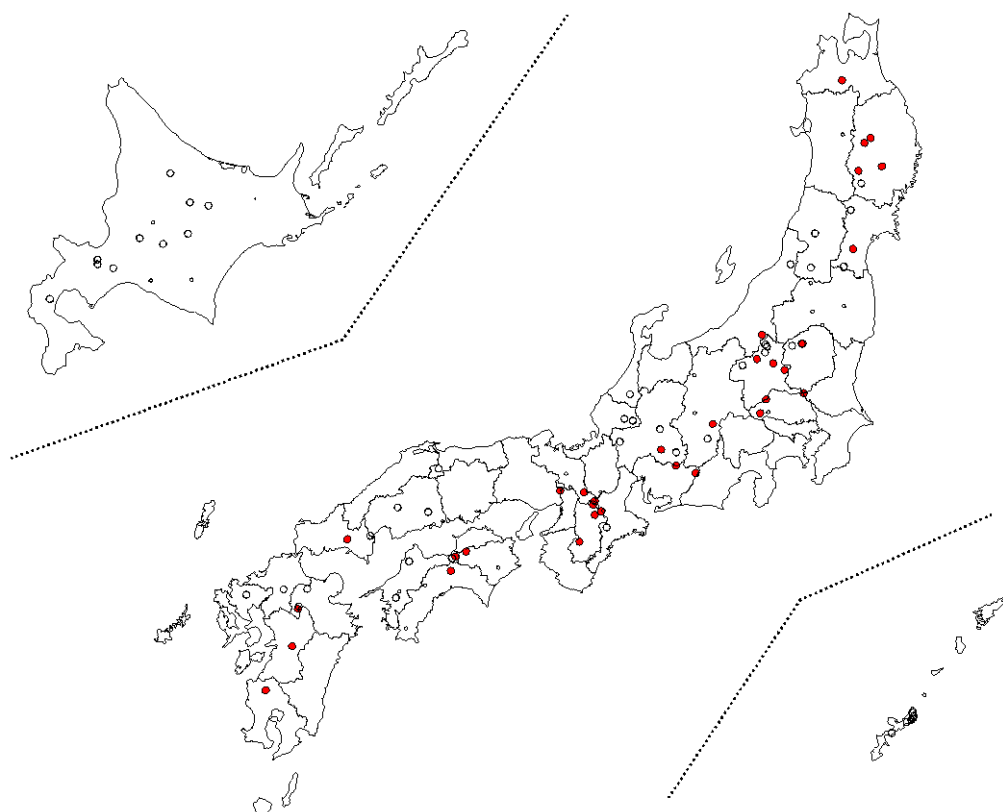


ナガエツルノゲイトウ(特定外来生物)の確認状況 (3 巡目調査、5 巡目調査)

1 巡目調査（平成 2～7 年度）

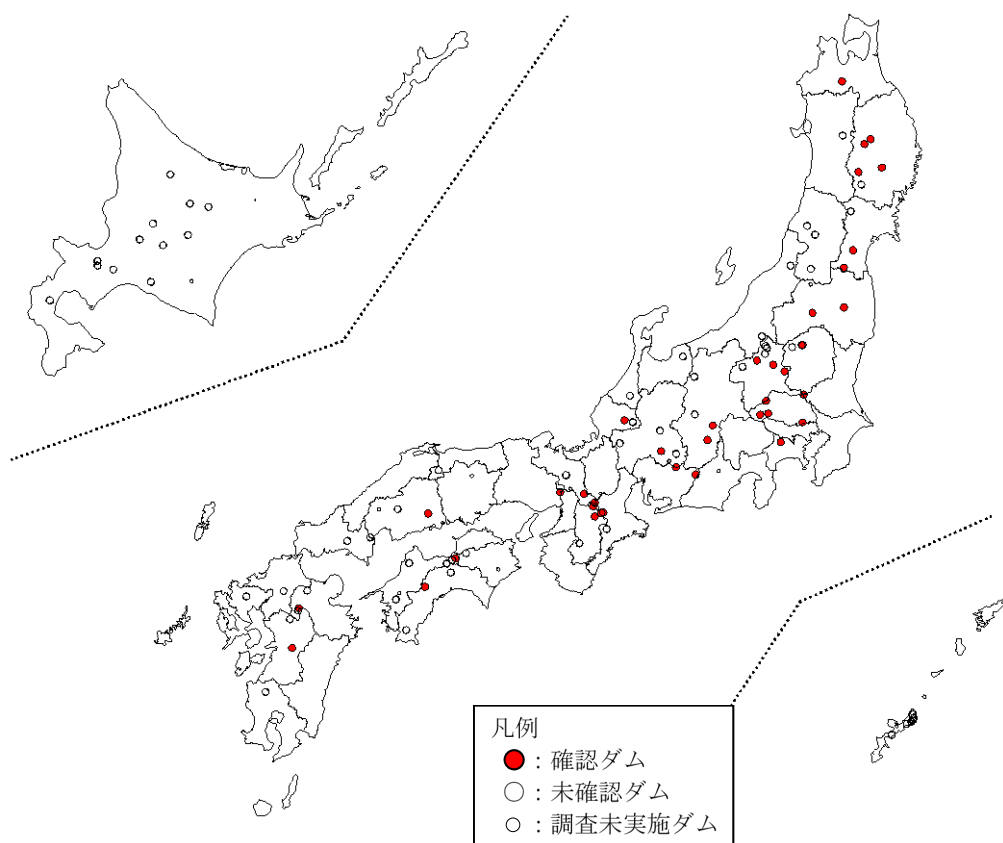


2 巡目調査（平成 8～12 年度）

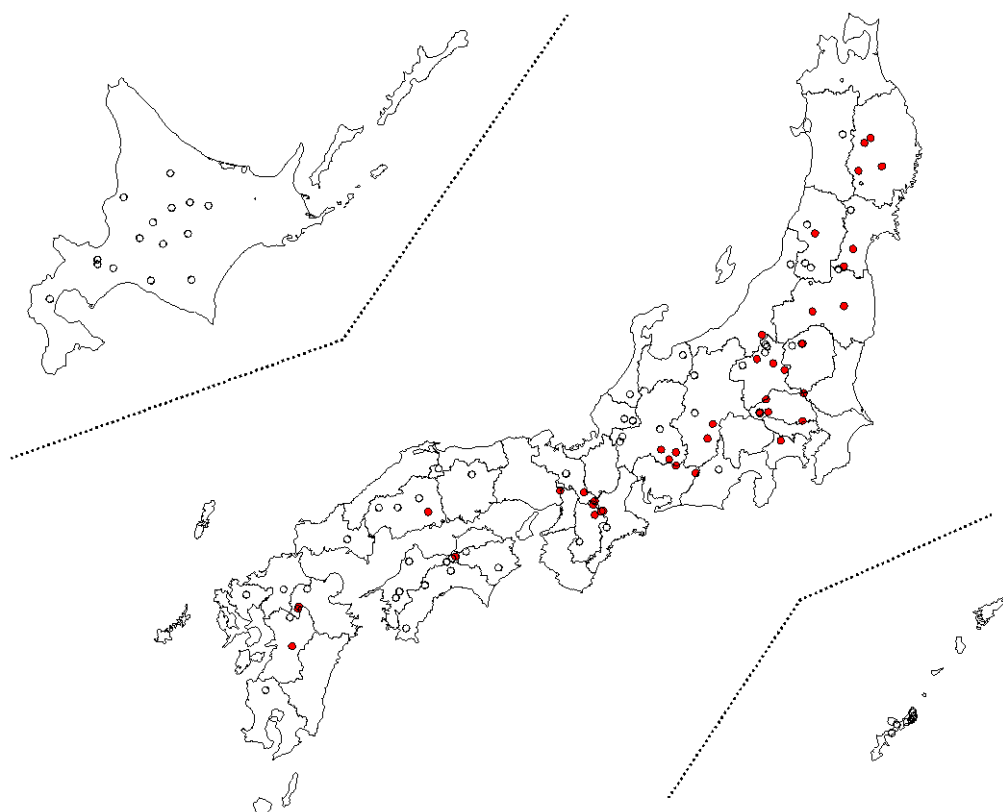


アレチウリ (特定外来生物) の確認状況（1 巡目調査、2 巡目調査）

3 巡目調査（平成 13～17 年度）

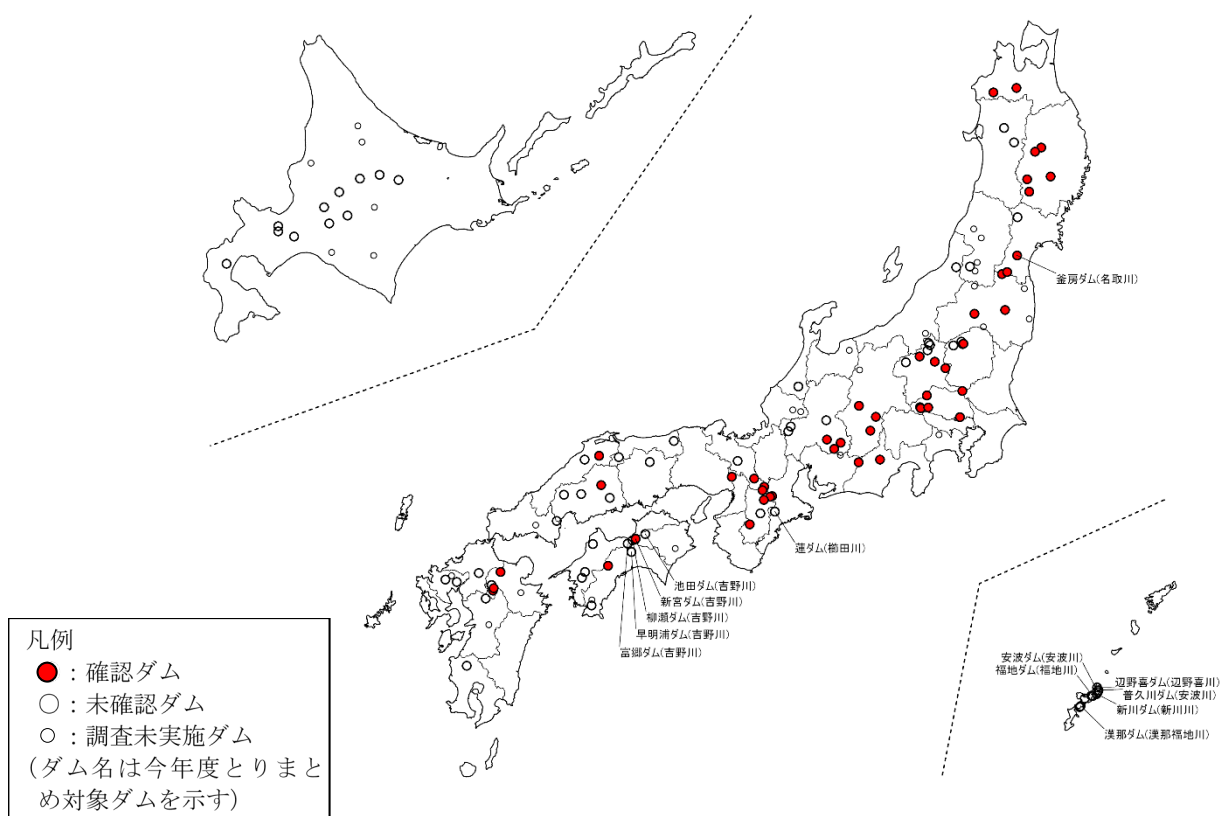


4 巡目調査（平成 18～27 年度）



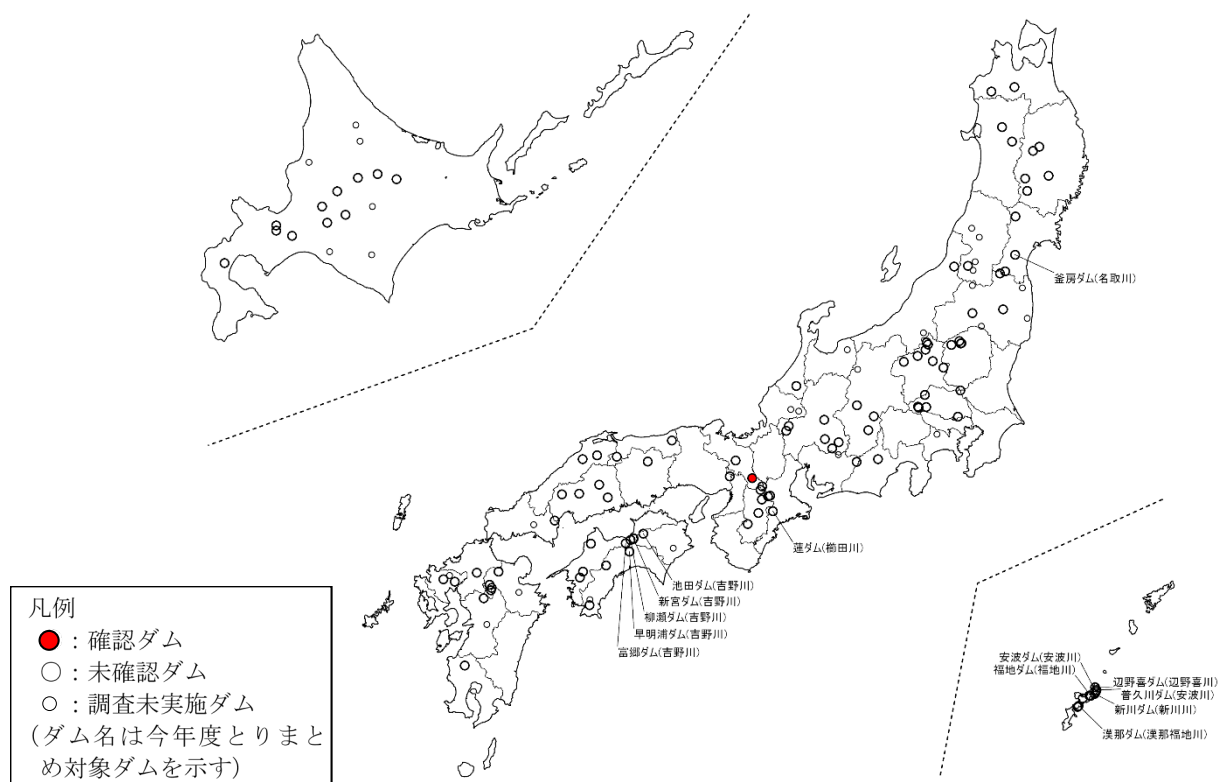
アレチウリ (特定外来生物) の確認状況（3 巡目調査、4 巡目調査）

5 巡目調査（平成 28～令和 5 年度）



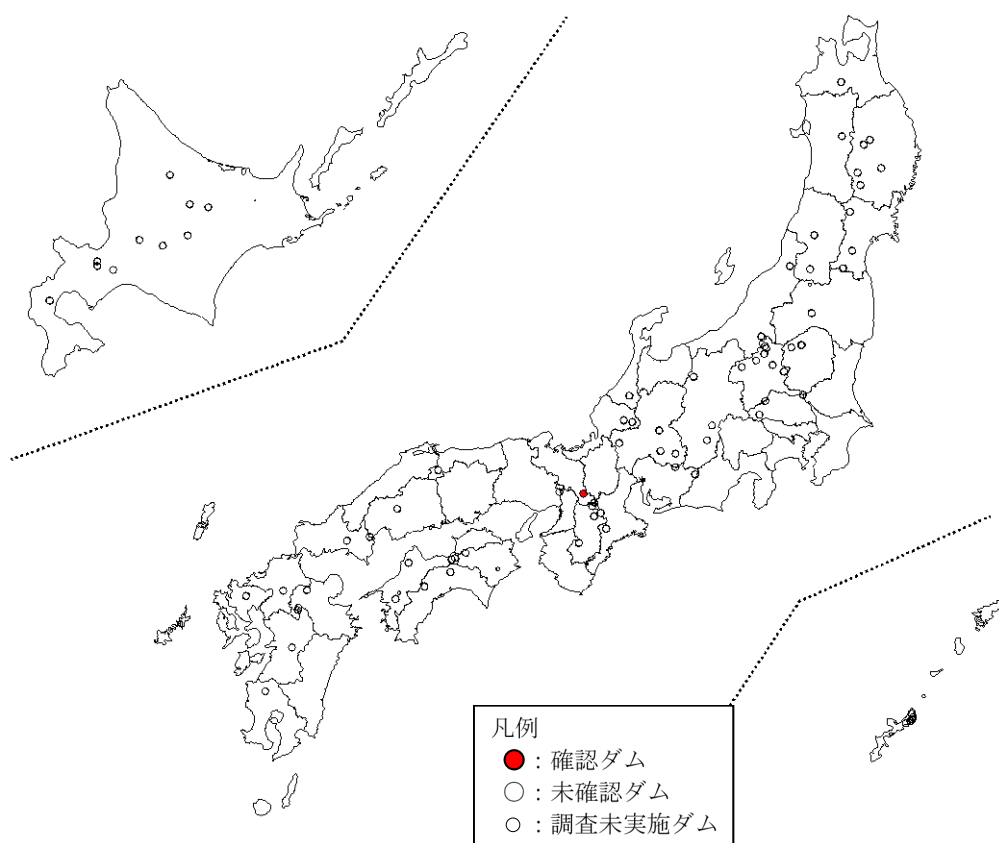
アレチウリ(特定外来生物)の確認状況（5 巡目調査）

5 巡目調査（平成 28～令和 5 年度）

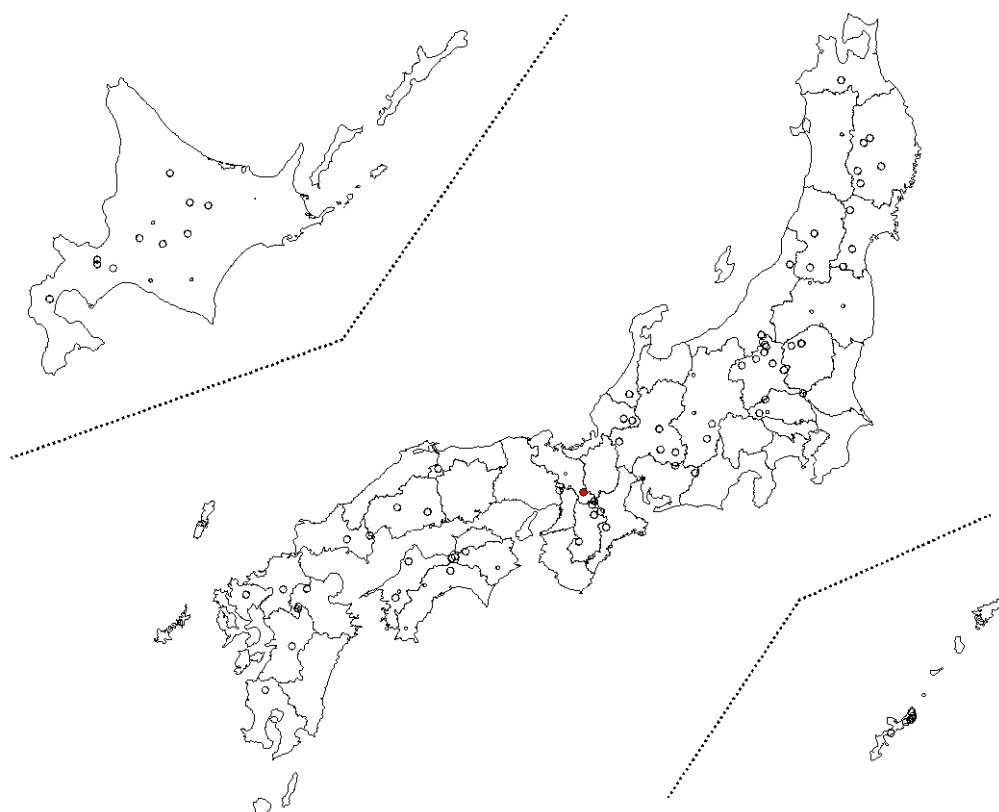


オオバナミズキンバイ(特定外来生物)の確認状況 (5 巡目調査)

1 巡目調査（平成 2～7 年度）

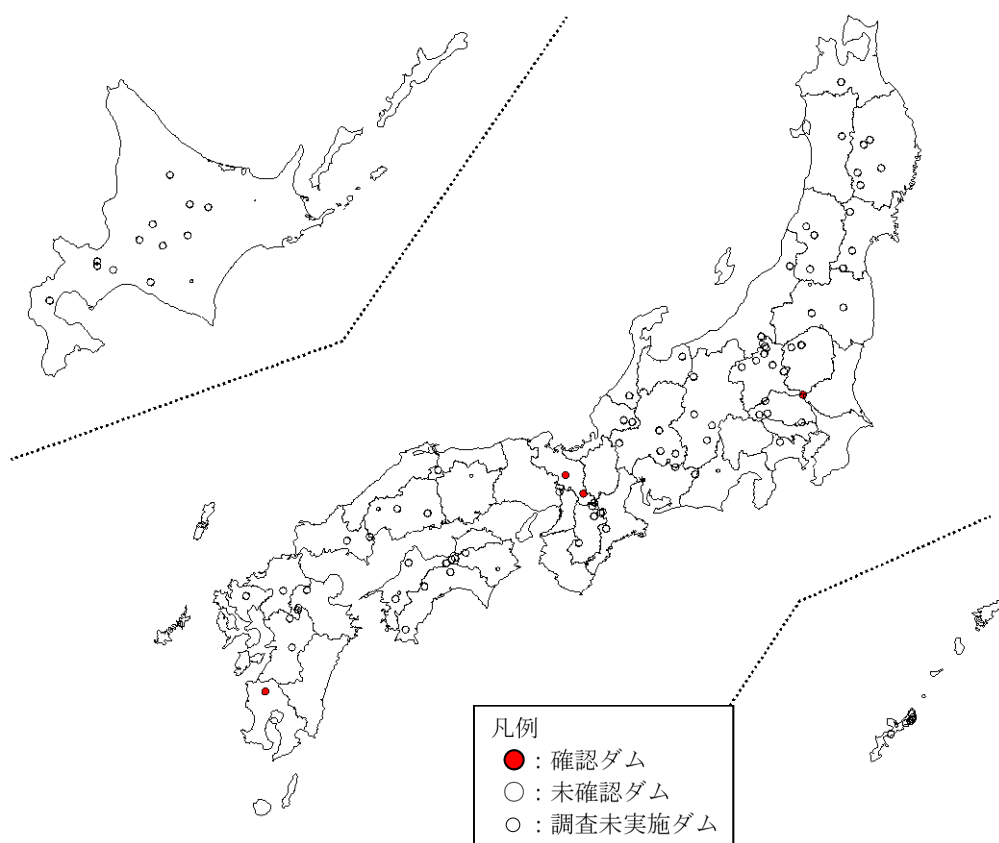


2 巡目調査（平成 8～12 年度）

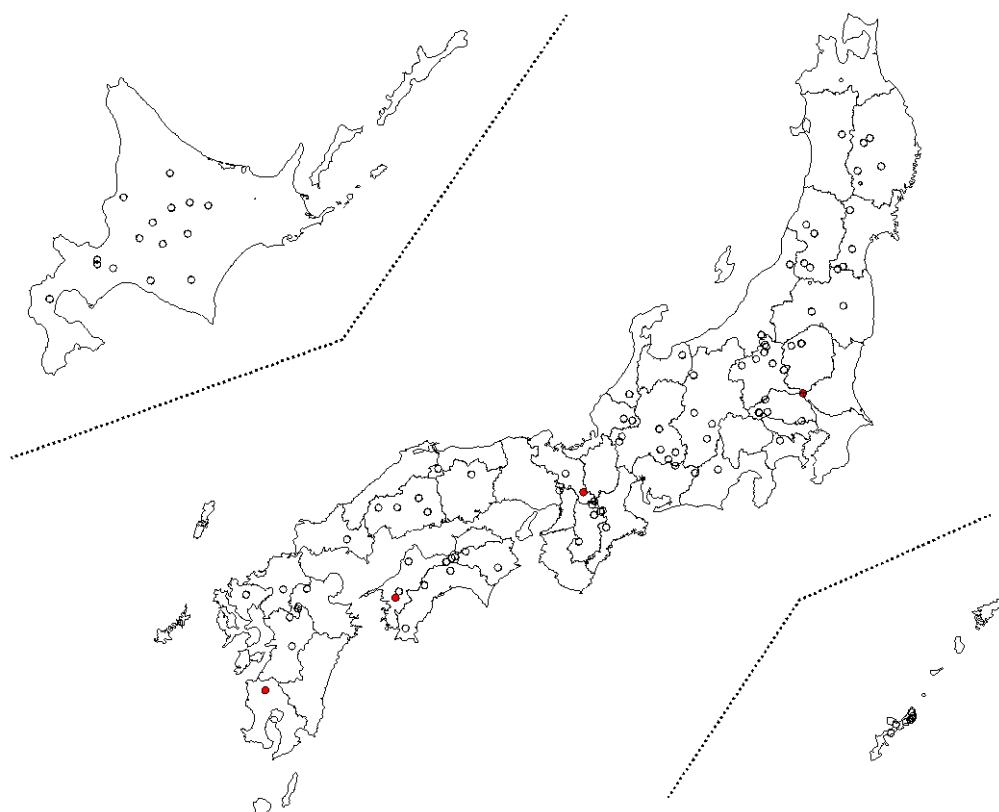


オオフサモ(特定外来生物)の確認状況（1 巡目調査、2 巡目調査）

3 巡目調査（平成 13～17 年度）

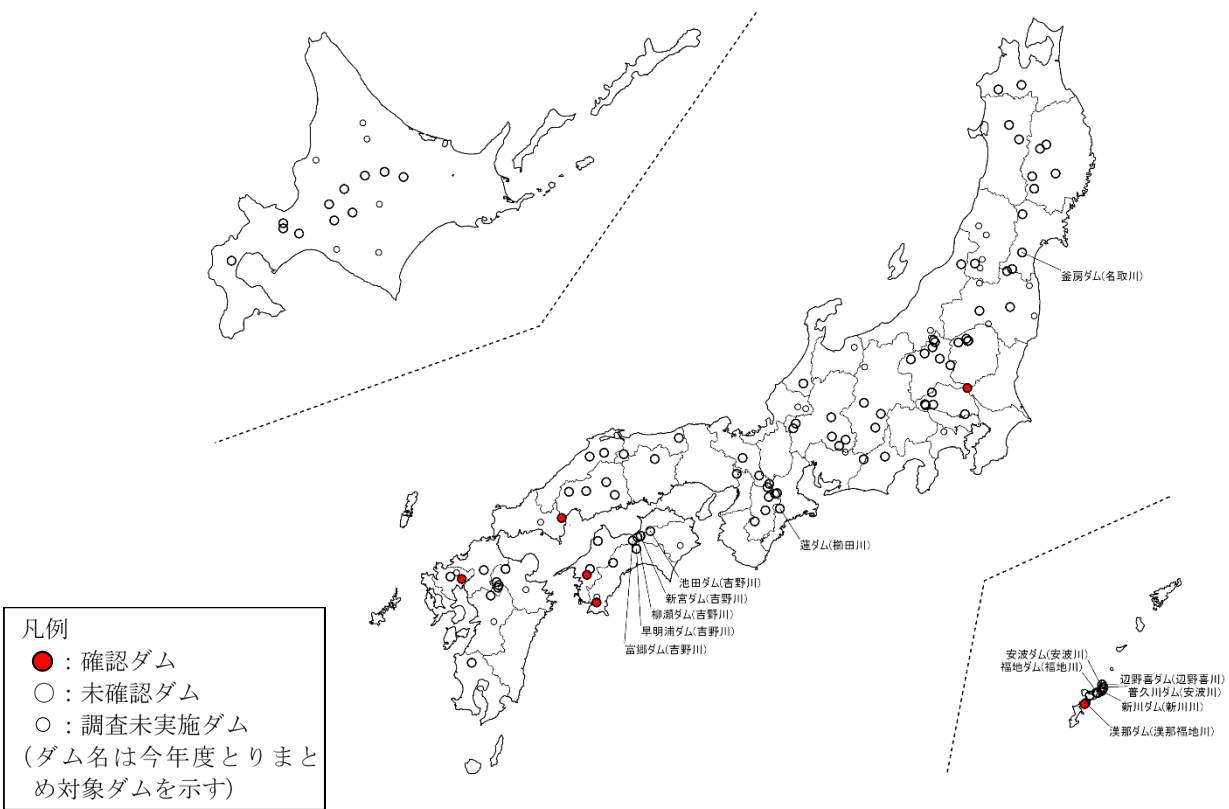


4 巡目調査（平成 18～27 年度）



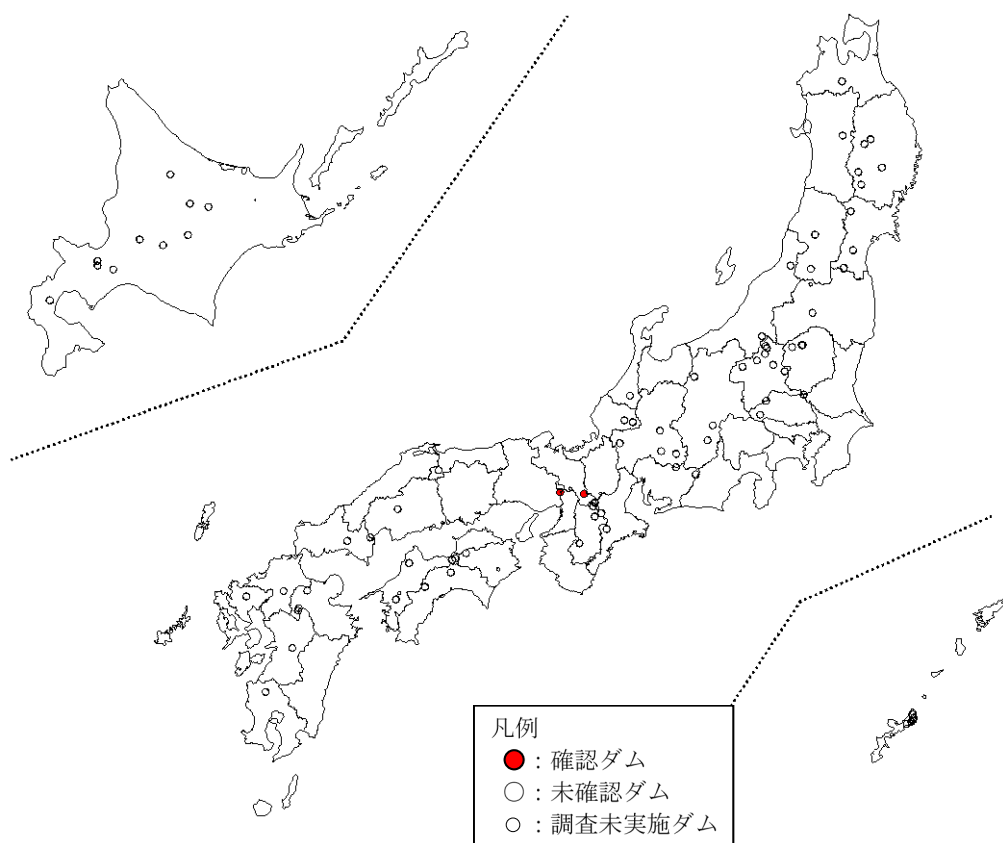
オオフサモ(特定外来生物)の確認状況（3 巡目調査、4 巡目調査）

5 巡目調査（平成 28～令和 5 年度）

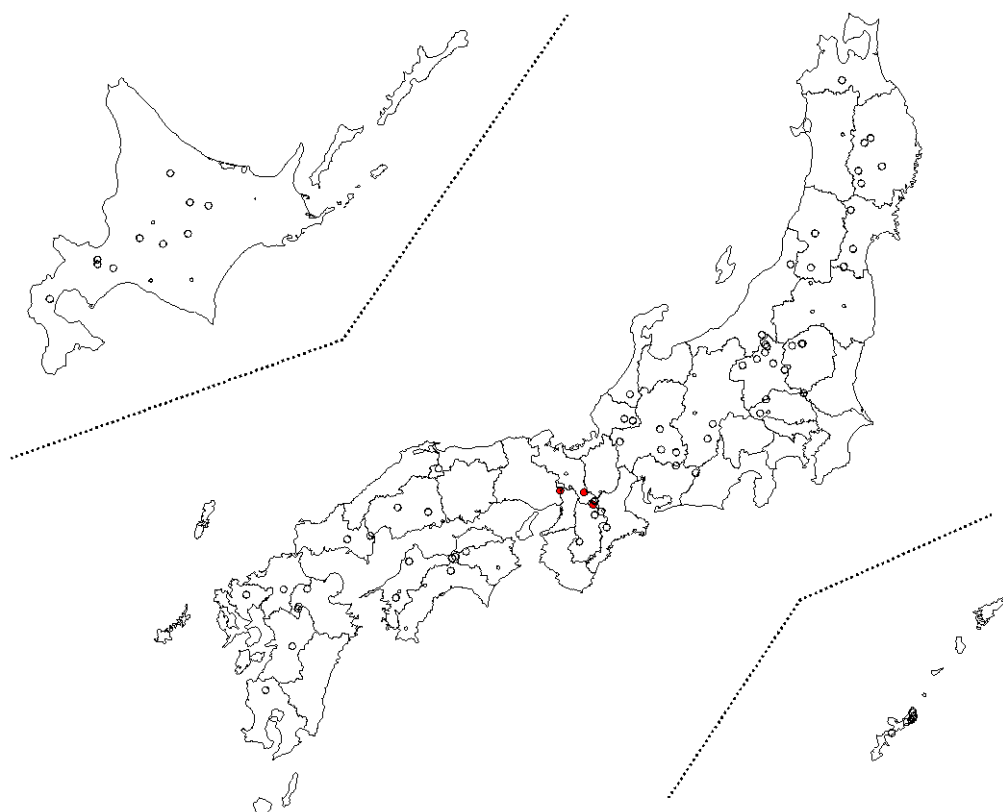


オオフサモ(特定外来生物)の確認状況 (5 巡目調査)

1 巡目調査（平成 2～7 年度）

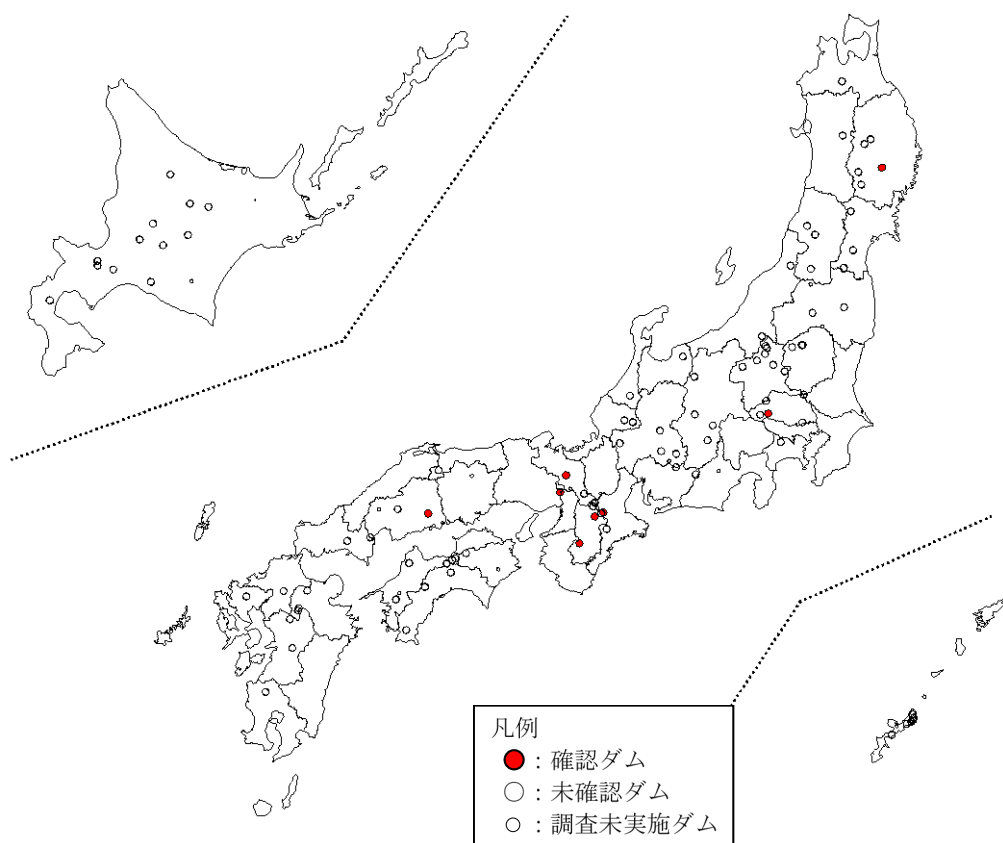


2 巡目調査（平成 8～12 年度）

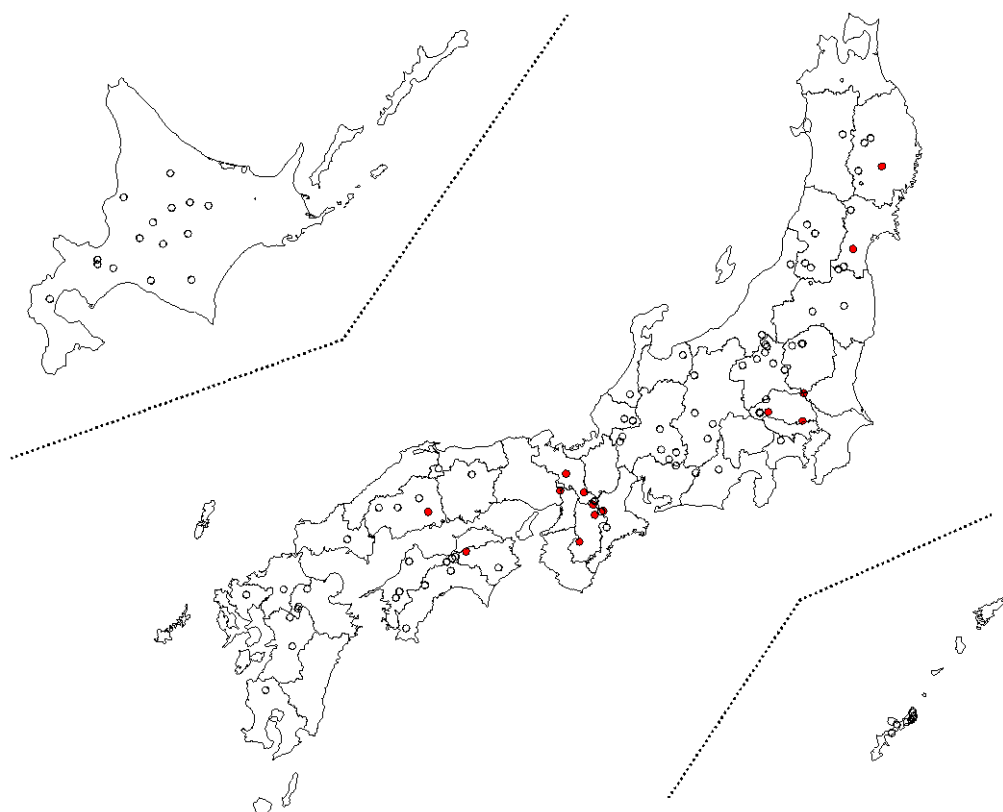


オオカワデシヤ(特定外来生物)の確認状況（1 巡目調査、2 巡目調査）

3 巡目調査（平成 13～17 年度）

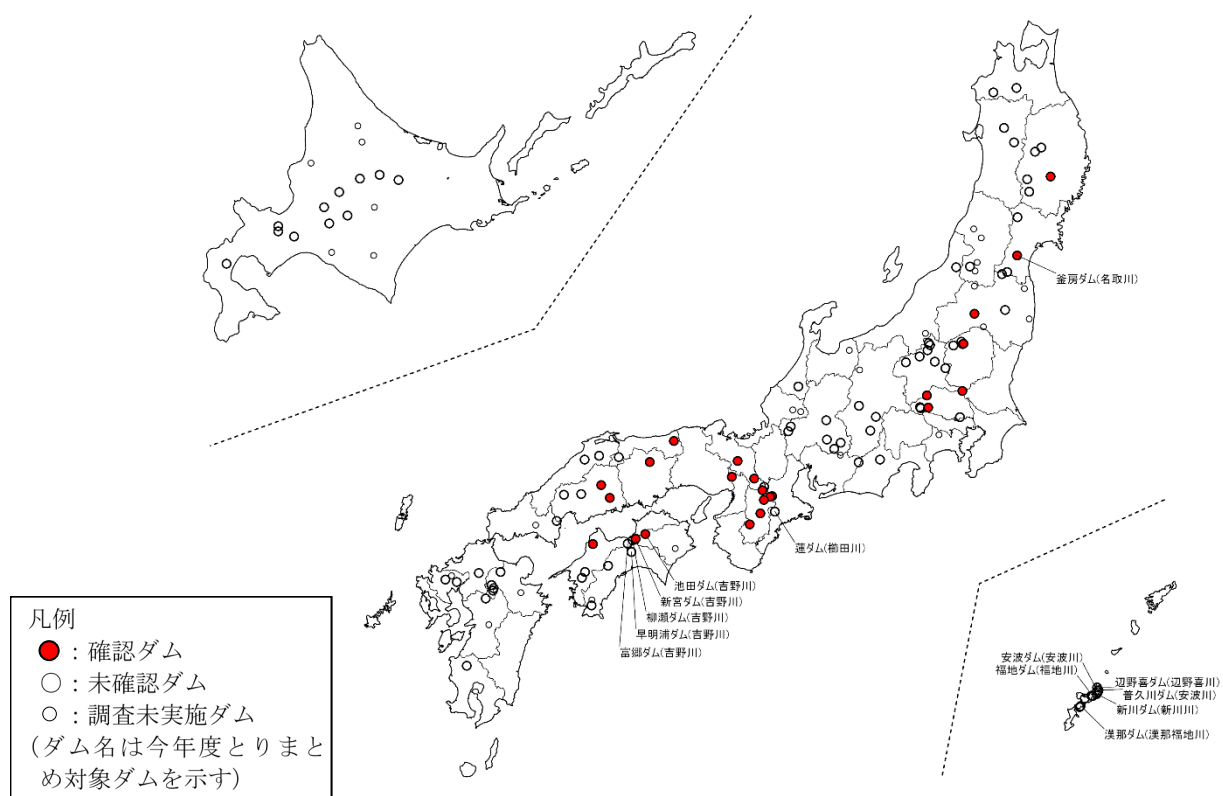


4 巡目調査（平成 18～27 年度）



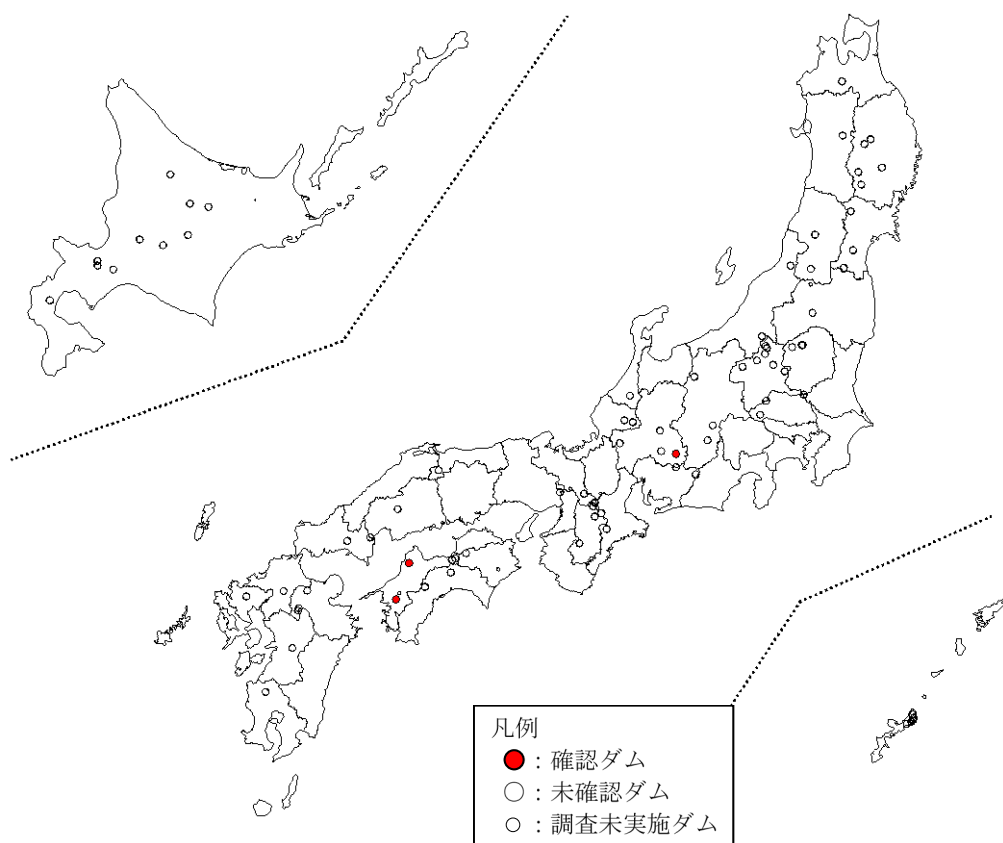
オオカワデシヤ(特定外来生物)の確認状況（3 巡目調査、4 巡目調査）

5 巡目調査（平成 28～令和 5 年度）

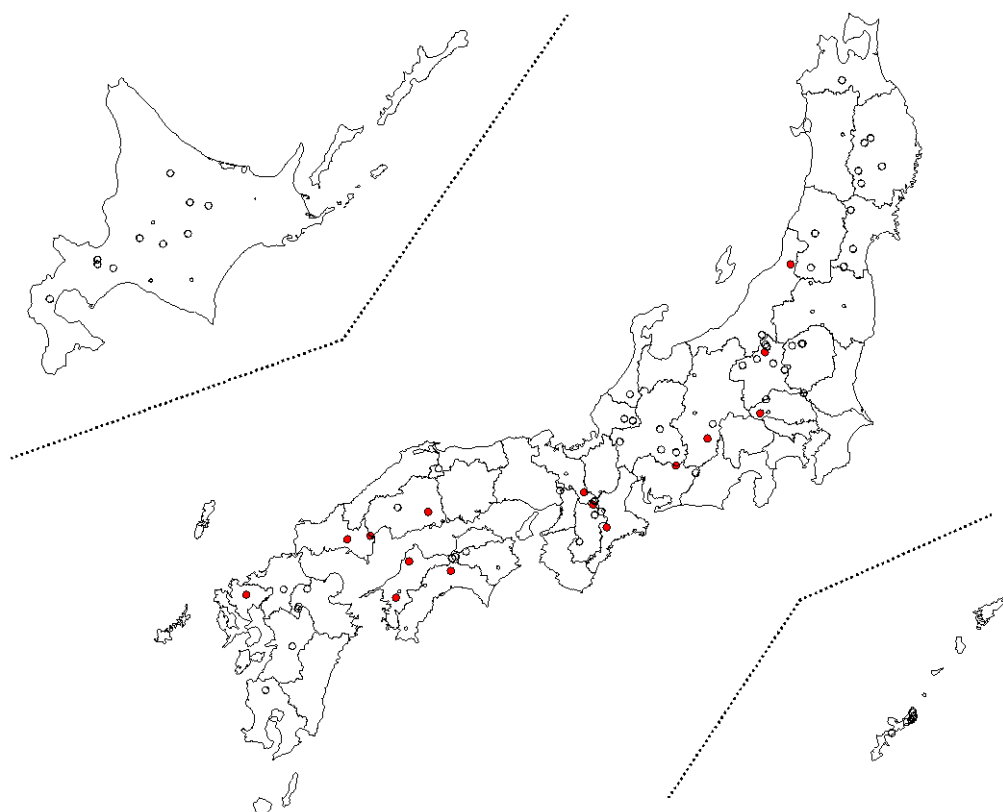


オオカワデシヤ(特定外来生物)の確認状況（5 巡目調査）

1 巡目調査（平成 2～7 年度）

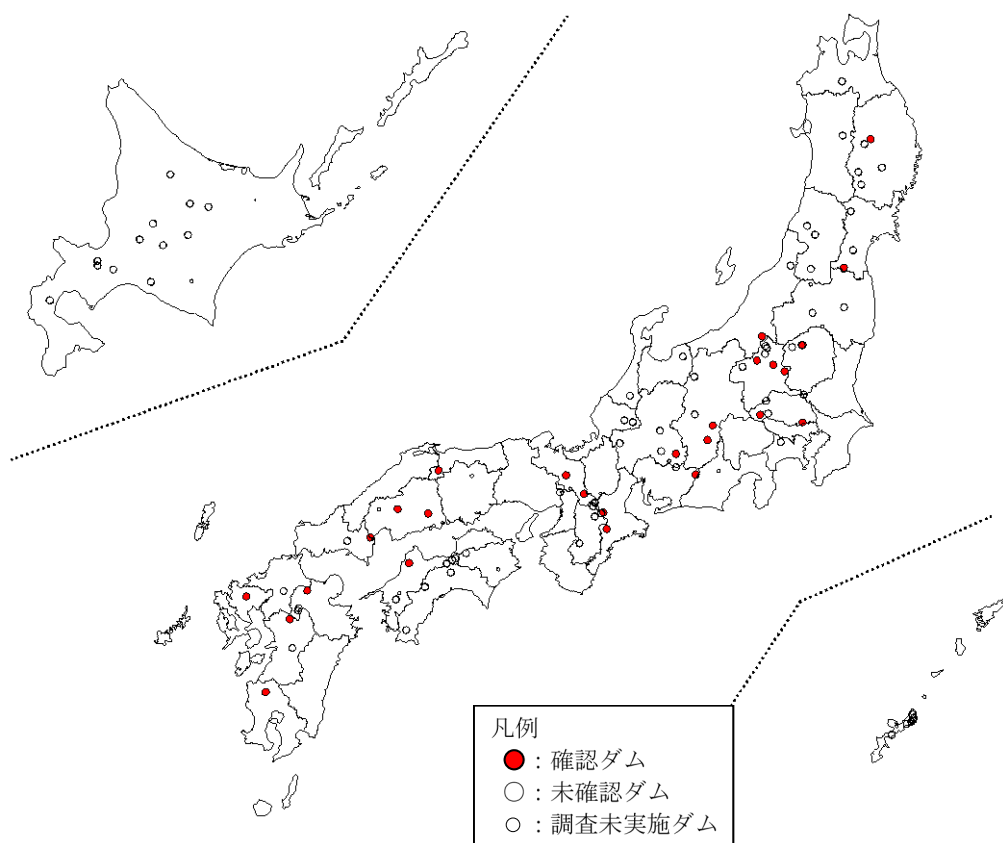


2 巡目調査（平成 8～12 年度）

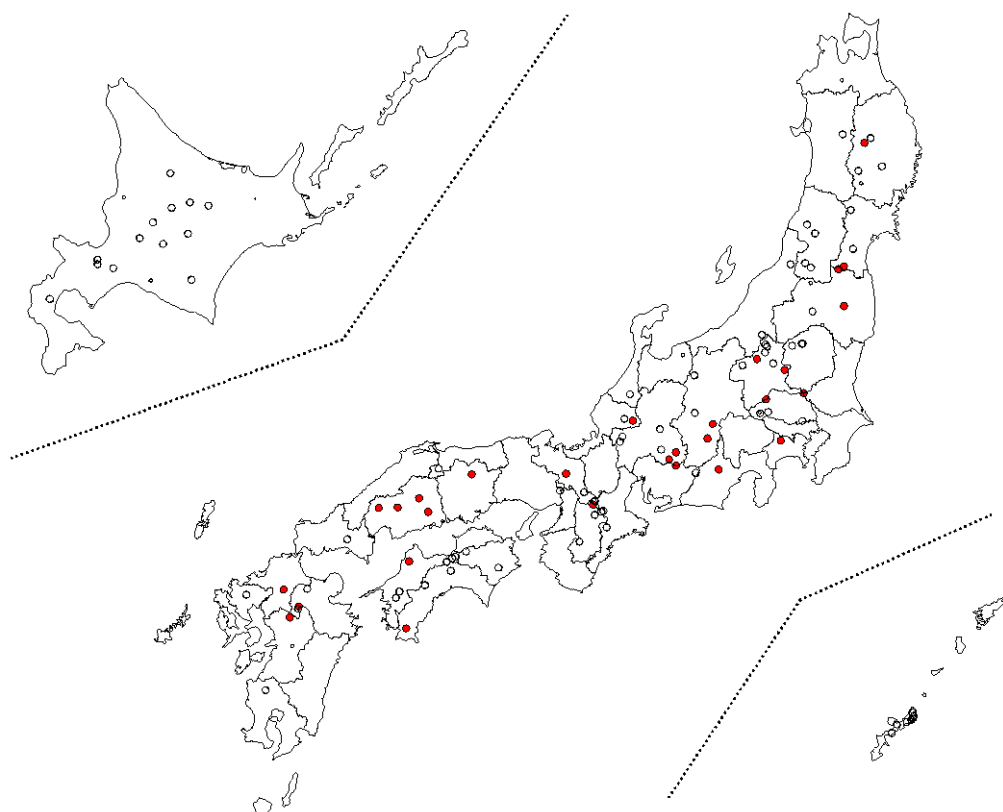


オオキンケイギク(特定外来生物)の確認状況（1 巡目調査、2 巡目調査）

3 巡目調査（平成 13～17 年度）

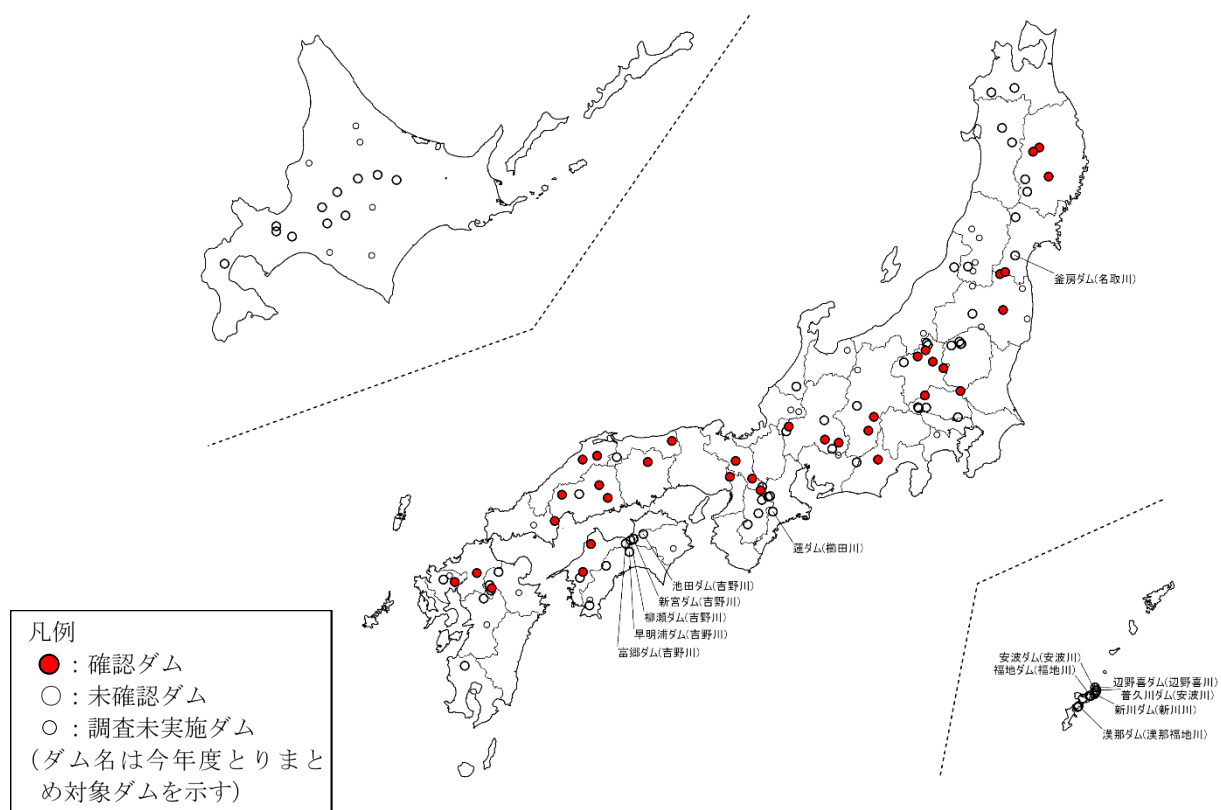


4 巡目調査（平成 18～27 年度）



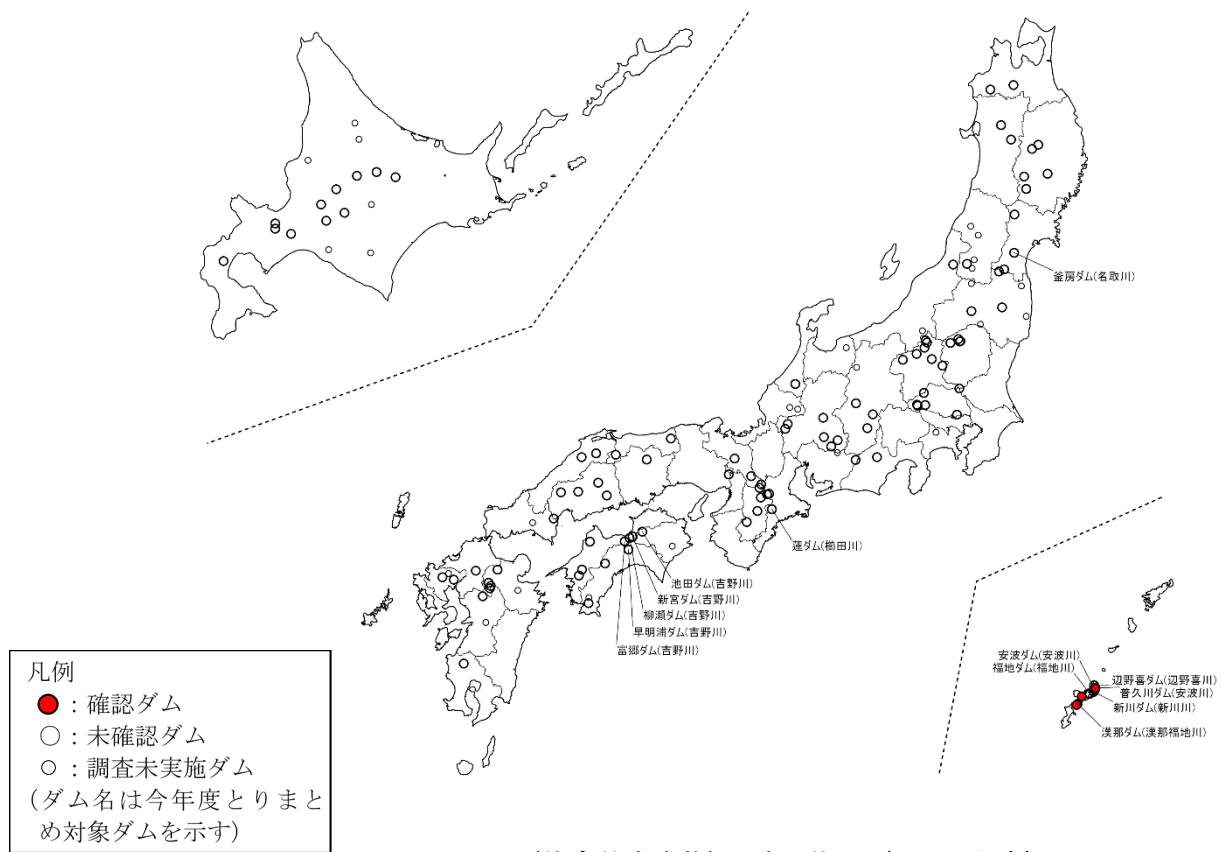
オオキンケイギク(特定外来生物)の確認状況（3 巡目調査、4 巡目調査）

5 巡目調査（平成 28～令和 5 年度）



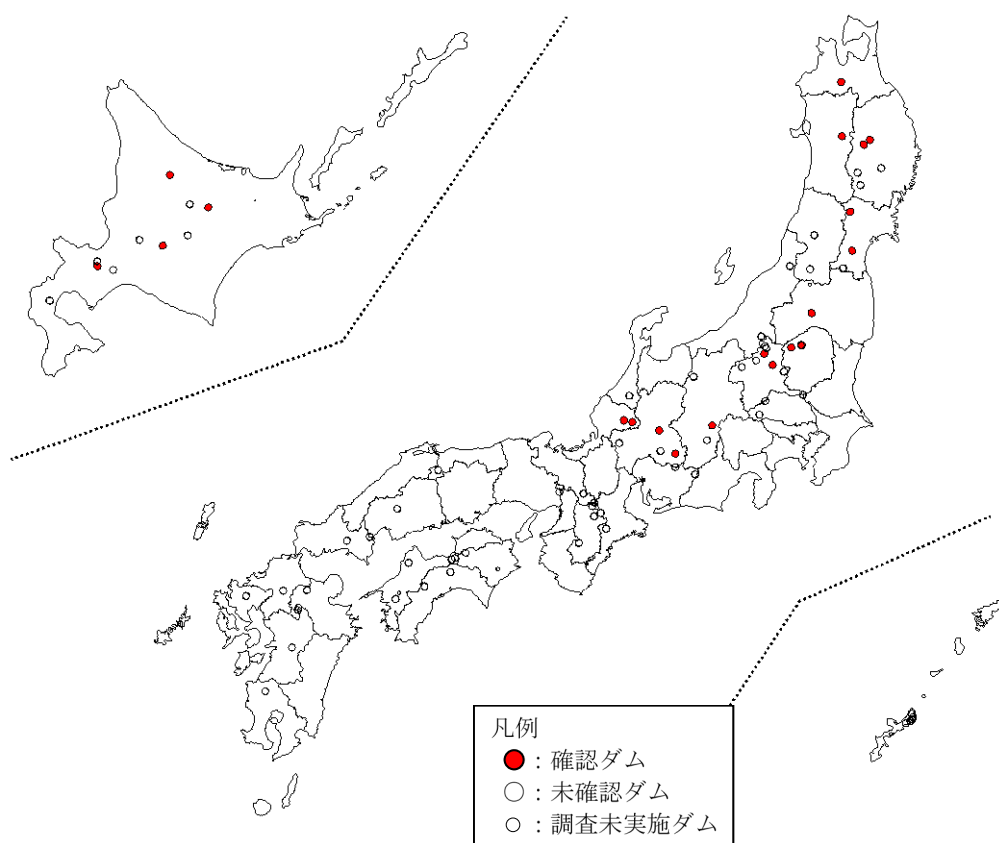
オオキンケイギク(特定外来生物)の確認状況（5 巡目調査）

5 巡目調査（平成 28～令和 5 年度）

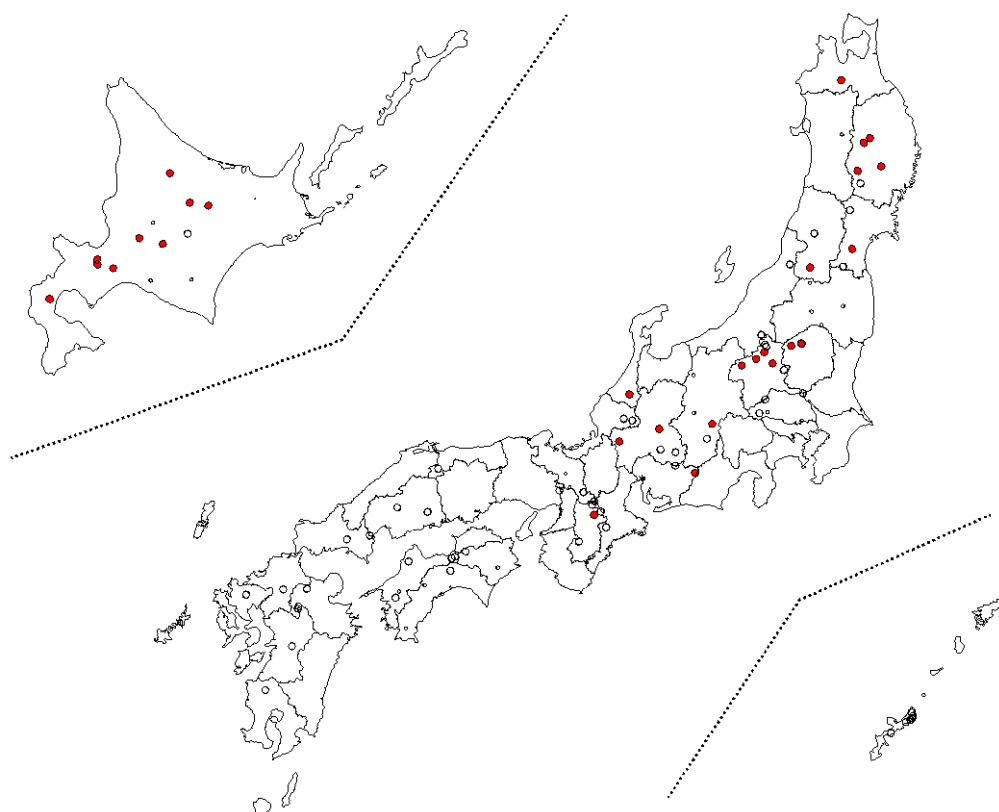


ツルヒヨドリ(特定外来生物)の確認状況(5巡目調査)

1 巡目調査（平成 2～7 年度）

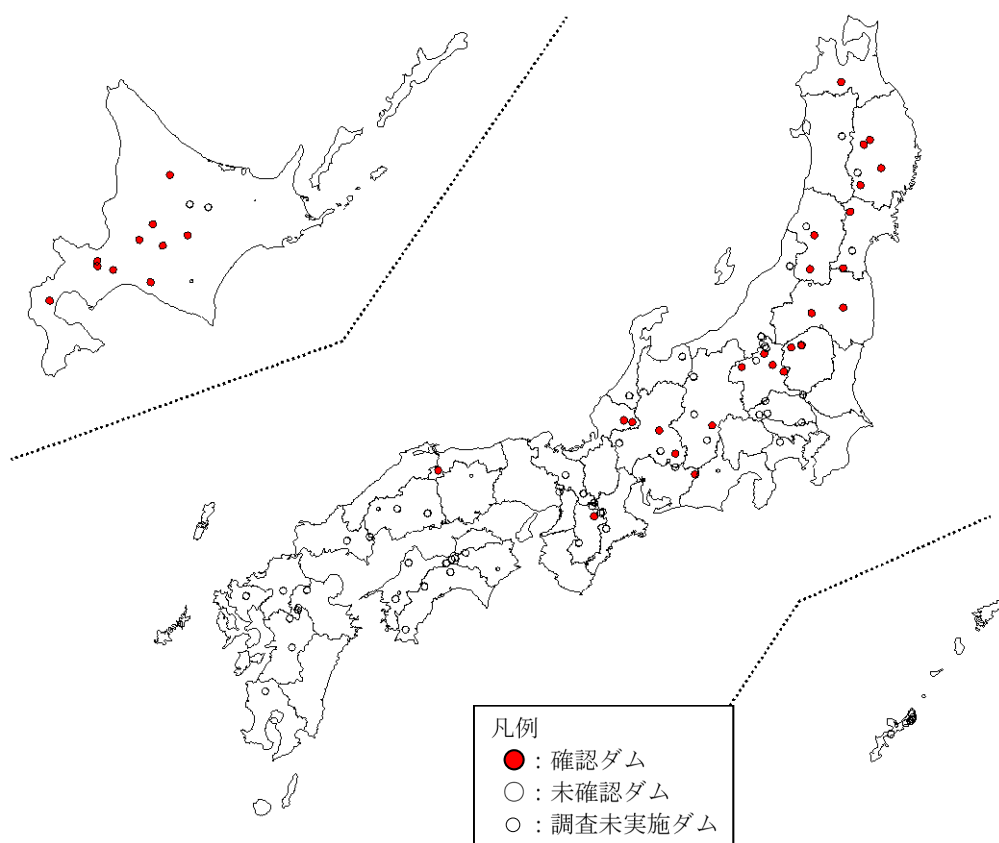


2 巡目調査（平成 8～12 年度）

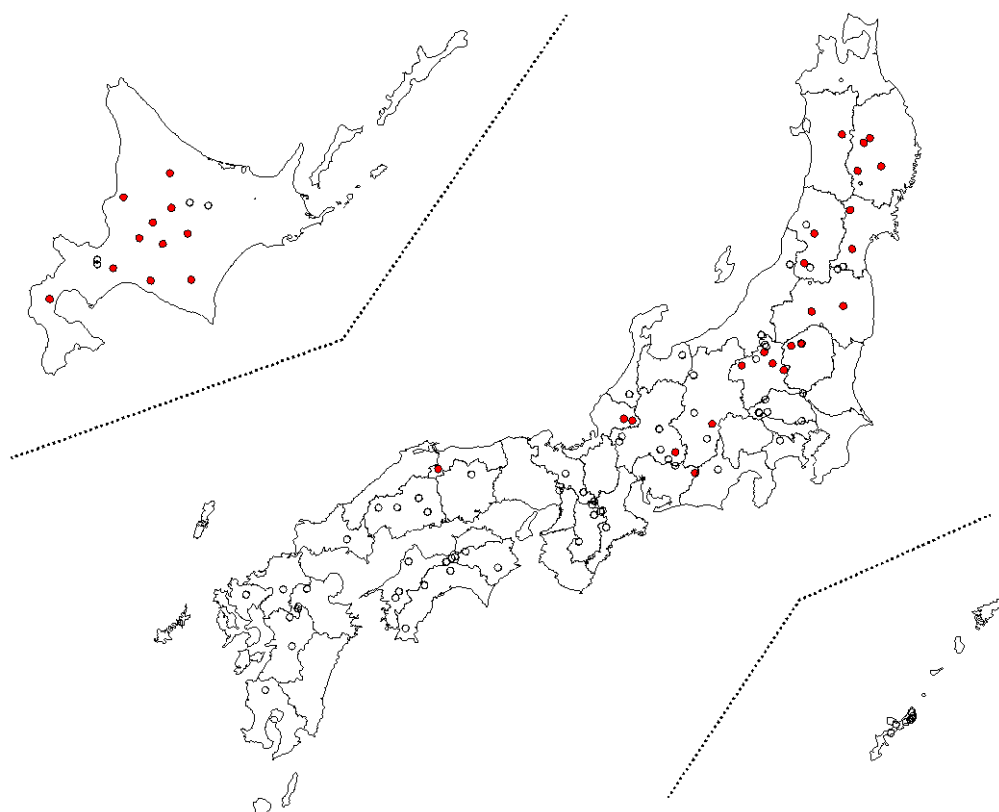


オオハンゴンソウ(特定外来生物)の確認状況（1 巡目調査、2 巡目調査）

3 巡目調査 (平成 13～17 年度)

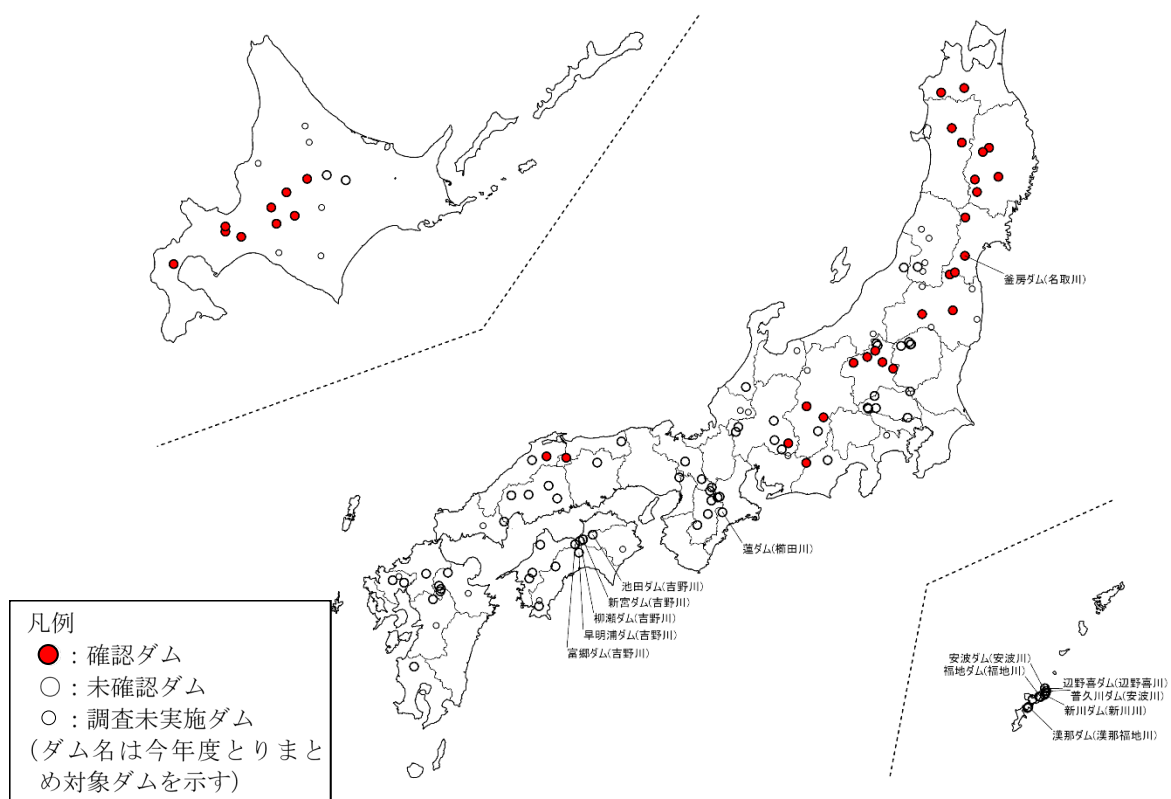


4 巡目調査 (平成 18～27 年度)



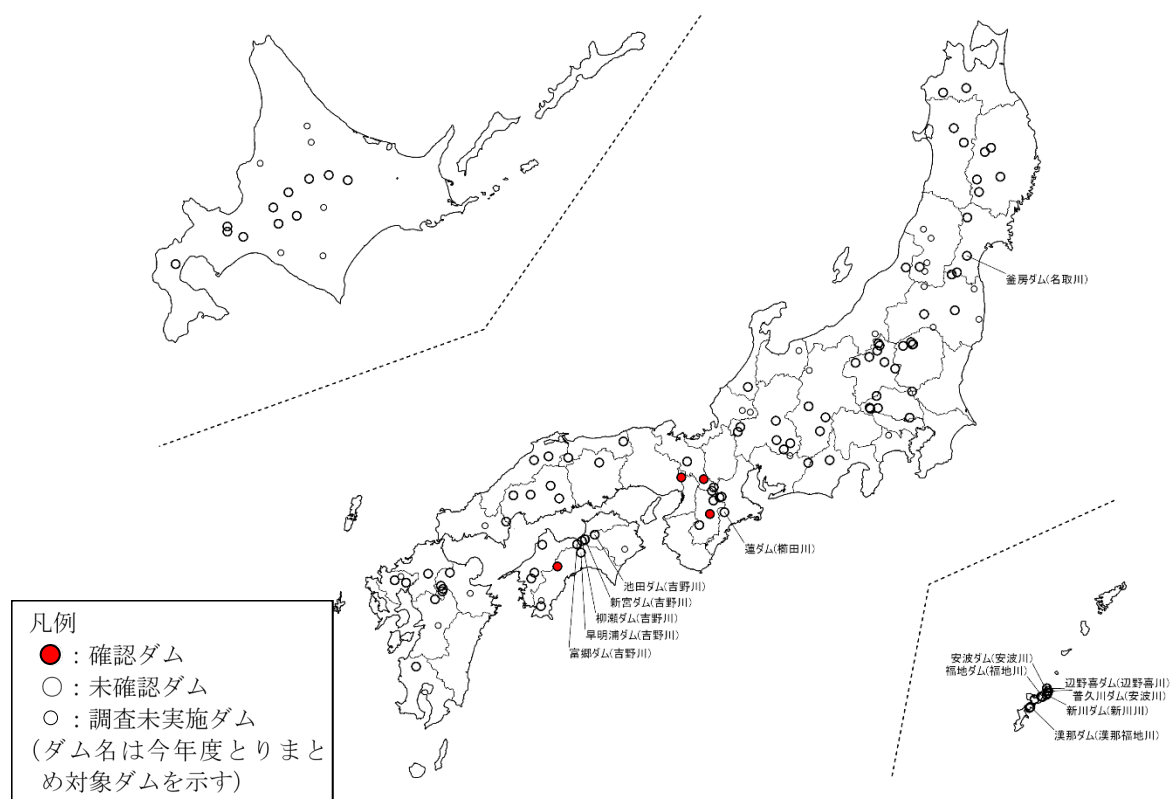
オオハンゴンソウ(特定外来生物)の確認状況 (3 巡目調査、4 巡目調査)

5 巡目調査（平成 28～令和 5 年度）



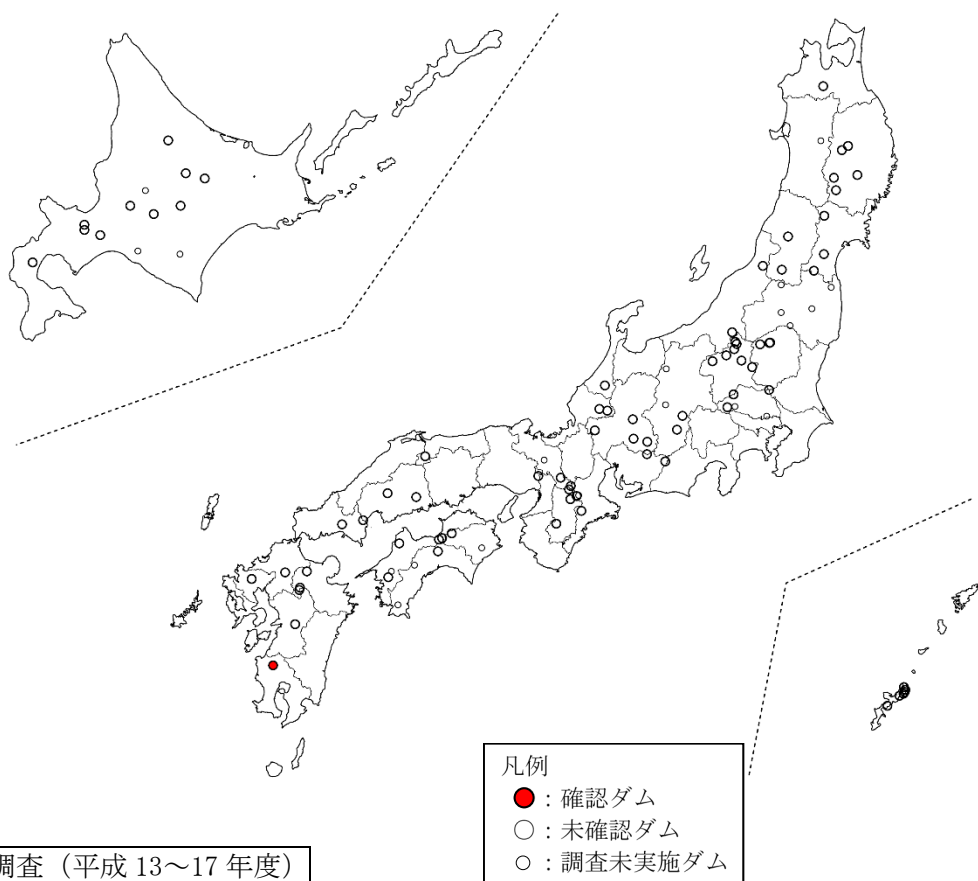
オオハンゴンソウ(特定外来生物)の確認状況（5 巡目調査）

5 巡目調査（平成 28～令和 5 年度）

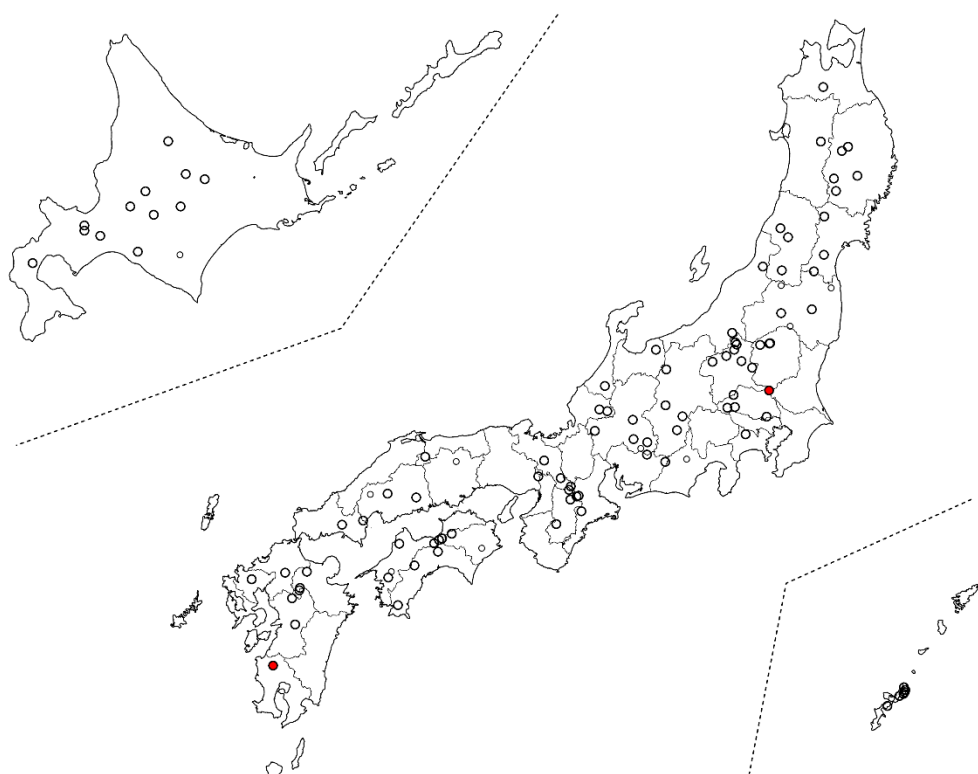


ナルトサワギク(特定外来生物)の確認状況（5 巡目調査）

2 巡目調査（平成 8～12 年度）

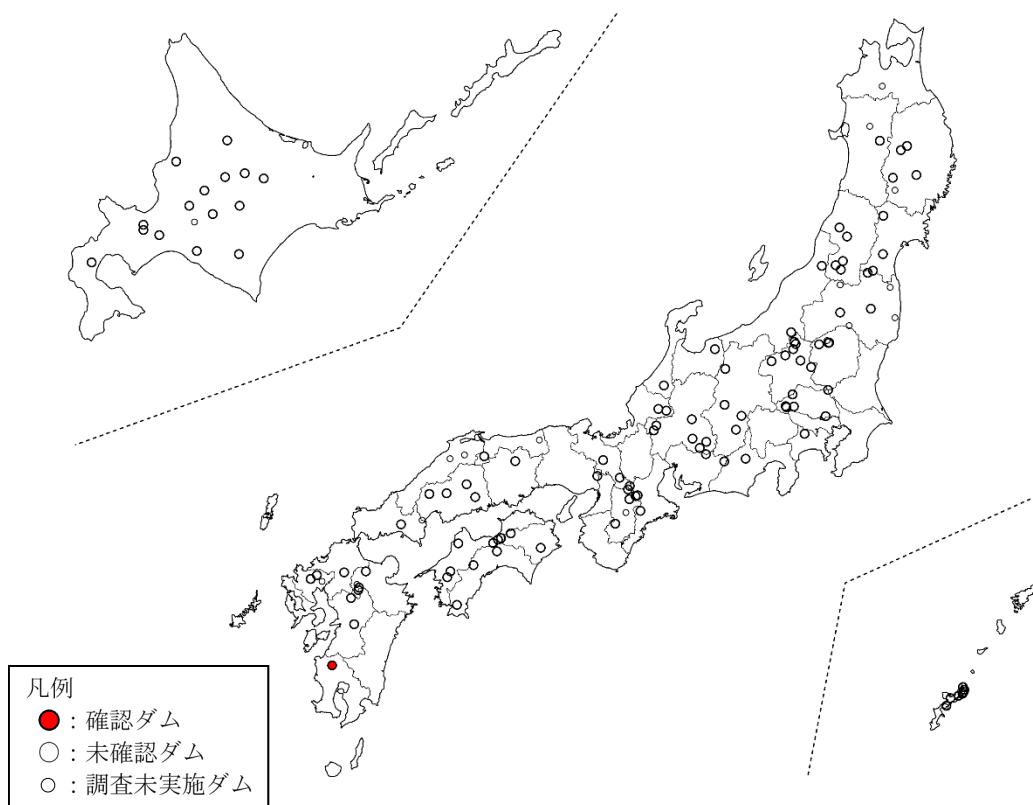


3 巡目調査（平成 13～17 年度）

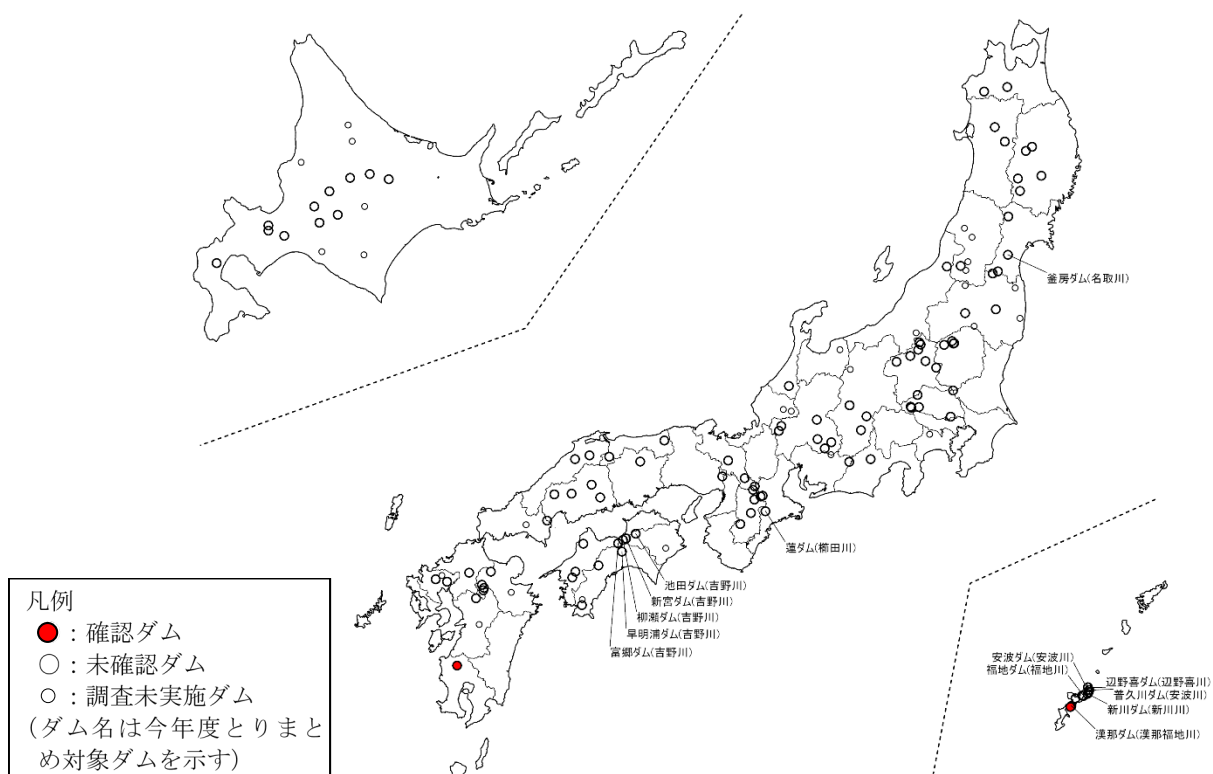


ボタンウキクサ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況（2 巡目調査、3 巡目調査）

4 巡目調査（平成 18～27 年度）

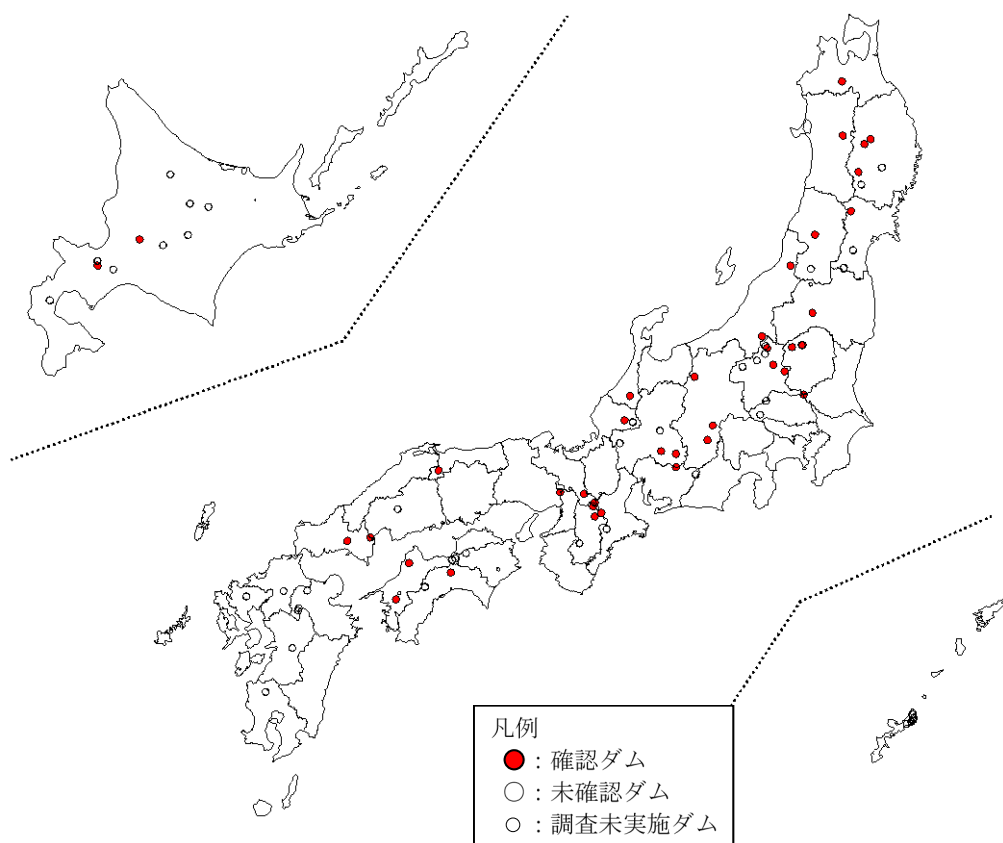


5 巡目調査（平成 28～令和年度）

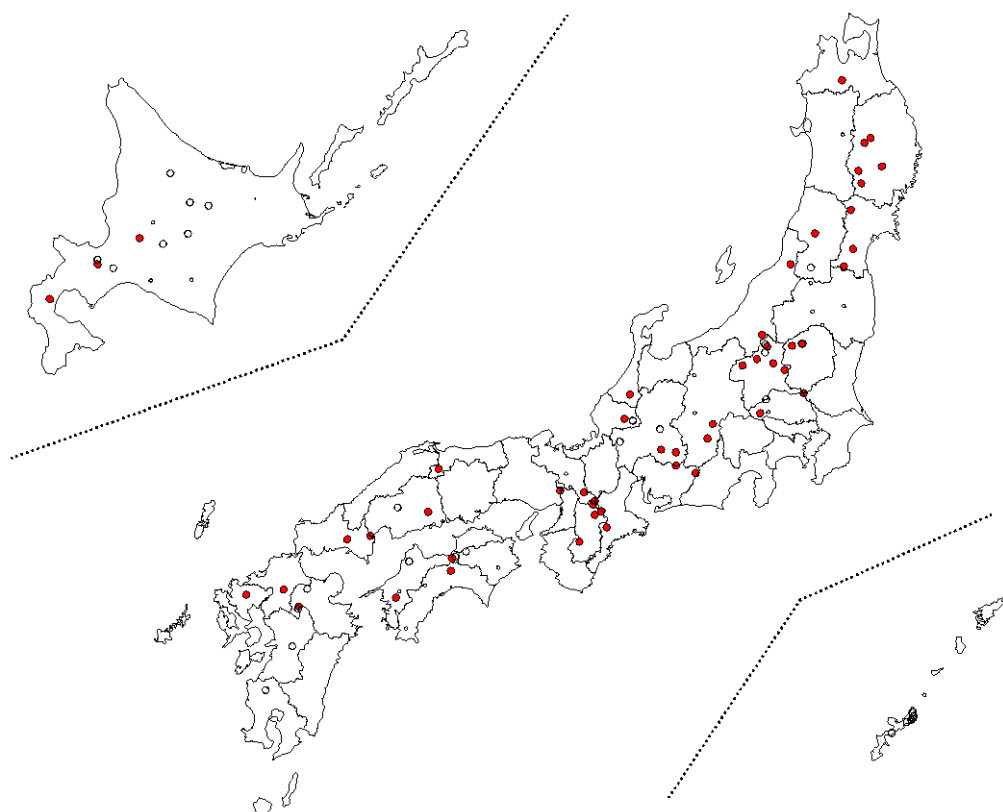


ボタンウキクサ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況（4 巡目調査、5 巡目調査）

1 巡目調査（平成 2～7 年度）

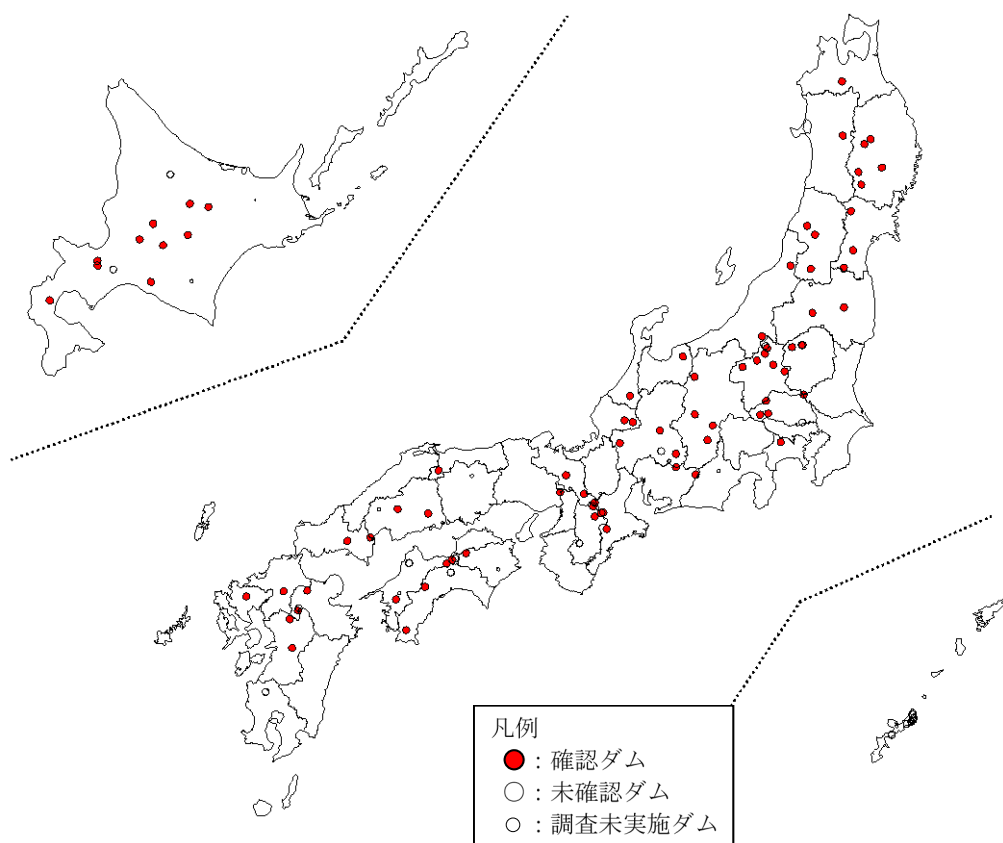


2 巡目調査（平成 8～12 年度）

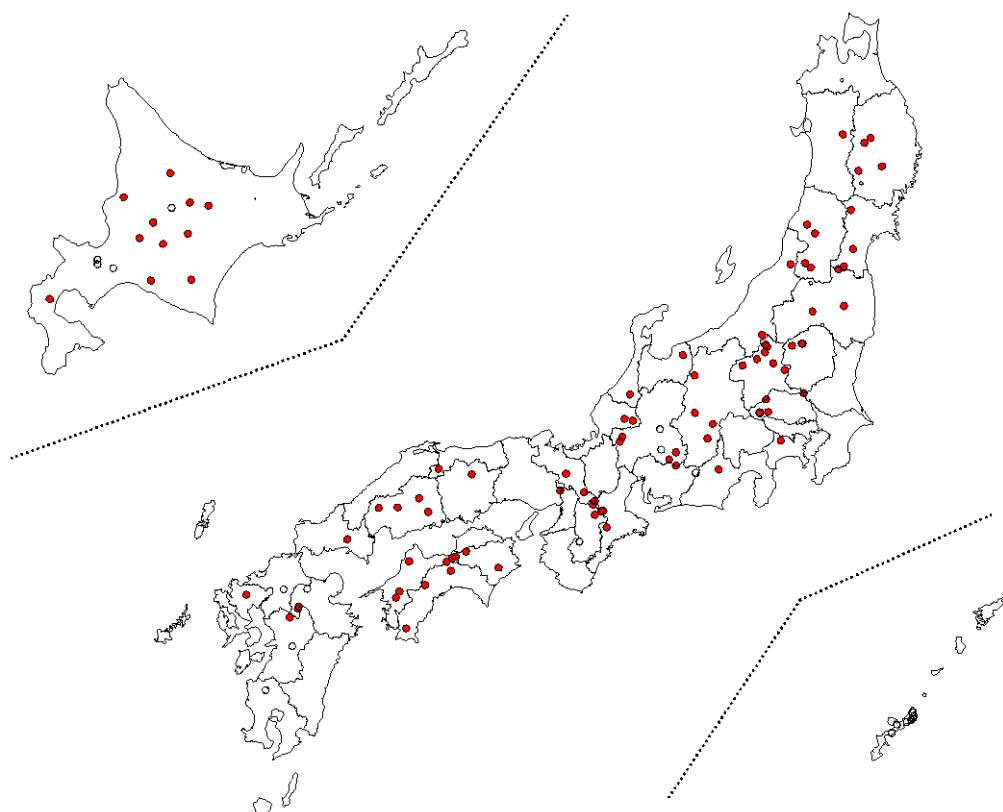


イタチハギ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況（1 巡目調査、2 巡目調査）

3 巡目調査（平成 13～17 年度）

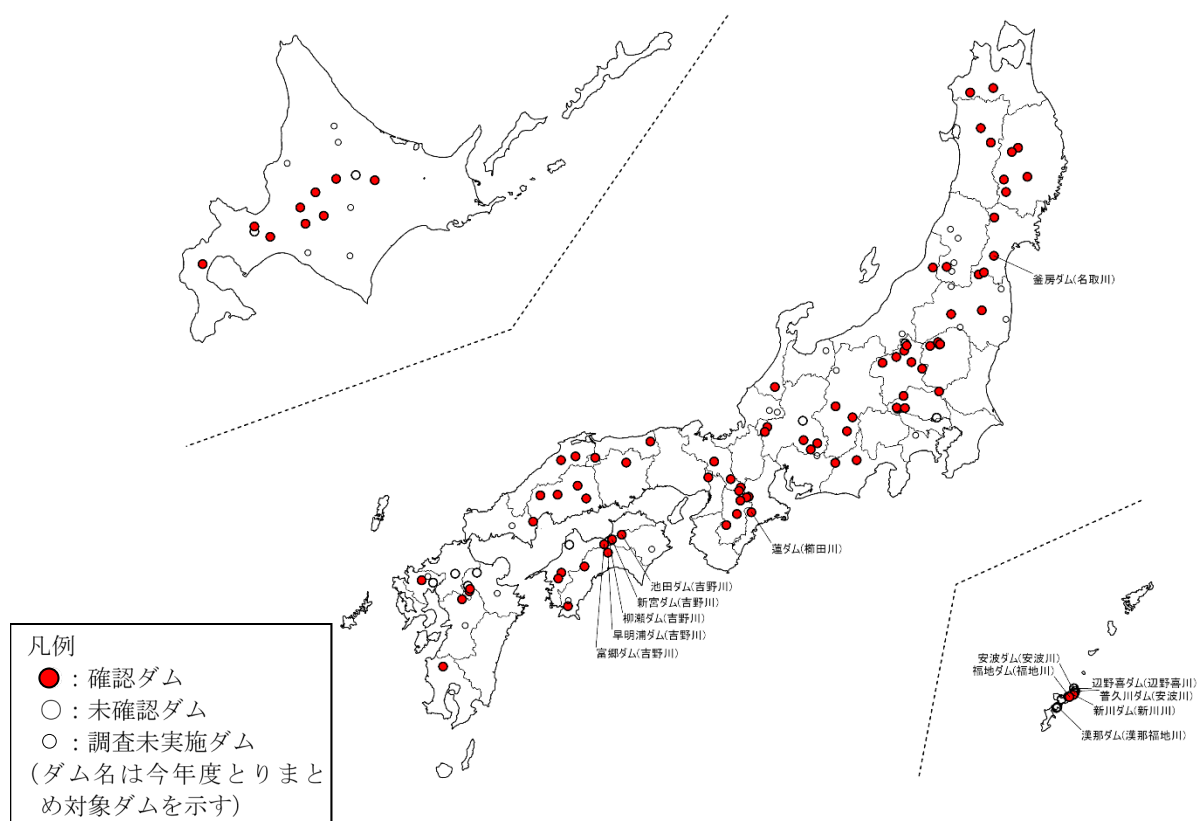


4 巡目調査（平成 18～27 年度）



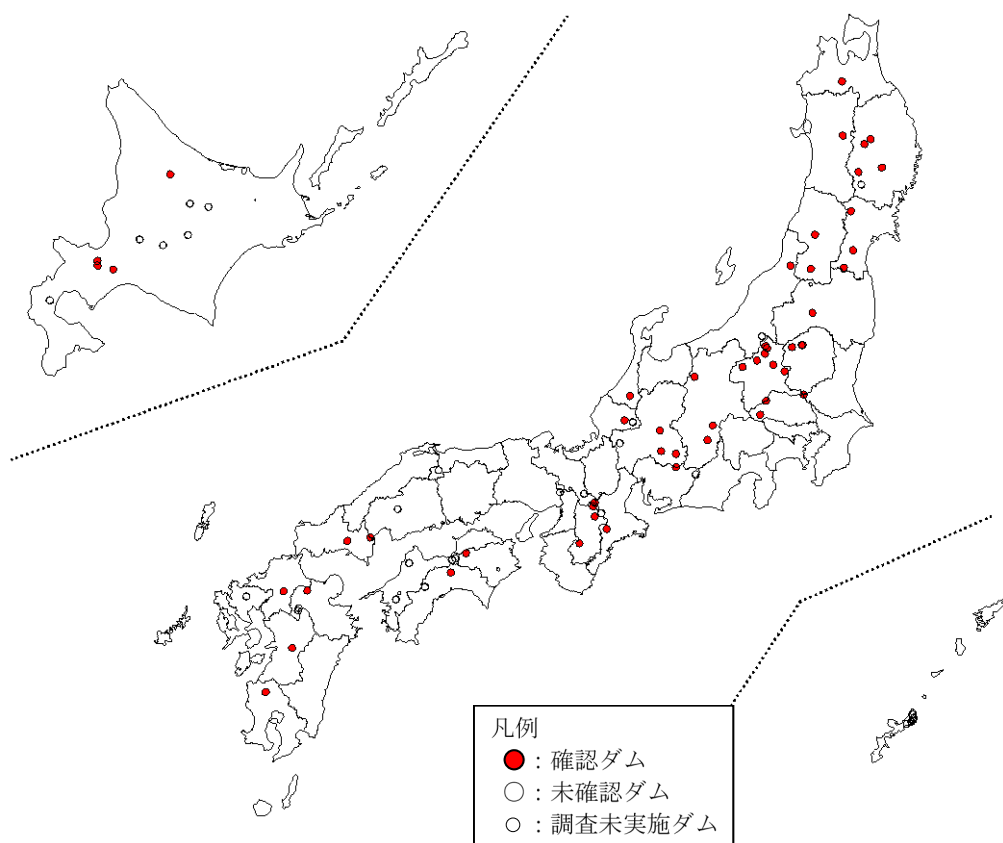
イタチハギ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況（3 巡目調査、4 巡目調査）

5 巡目調査（平成 28～令和年度）

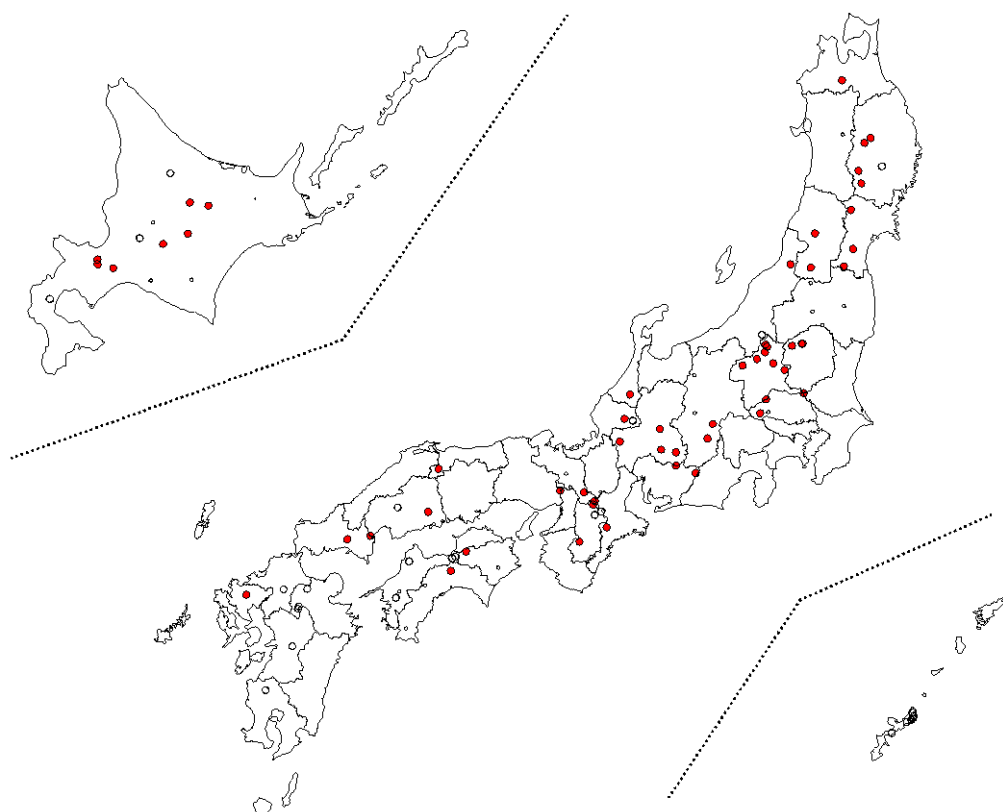


イタチハギ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (5 巡目調査)

1 巡目調査（平成 2～7 年度）

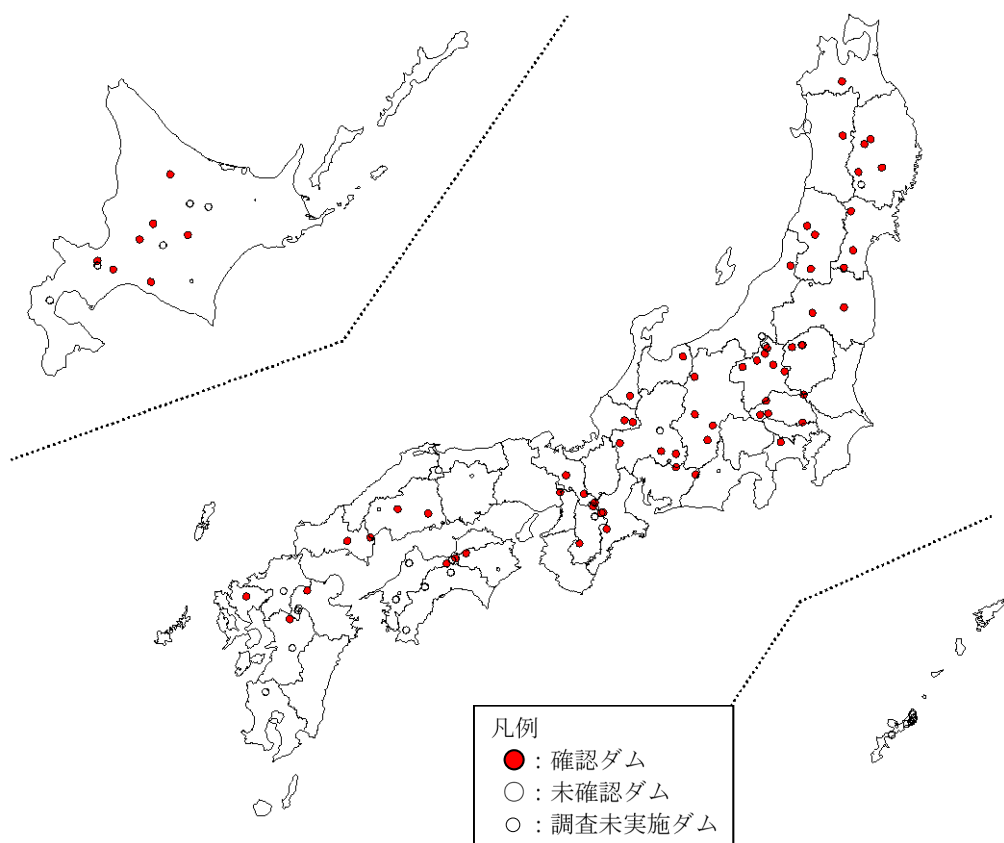


2 巡目調査（平成 8～12 年度）

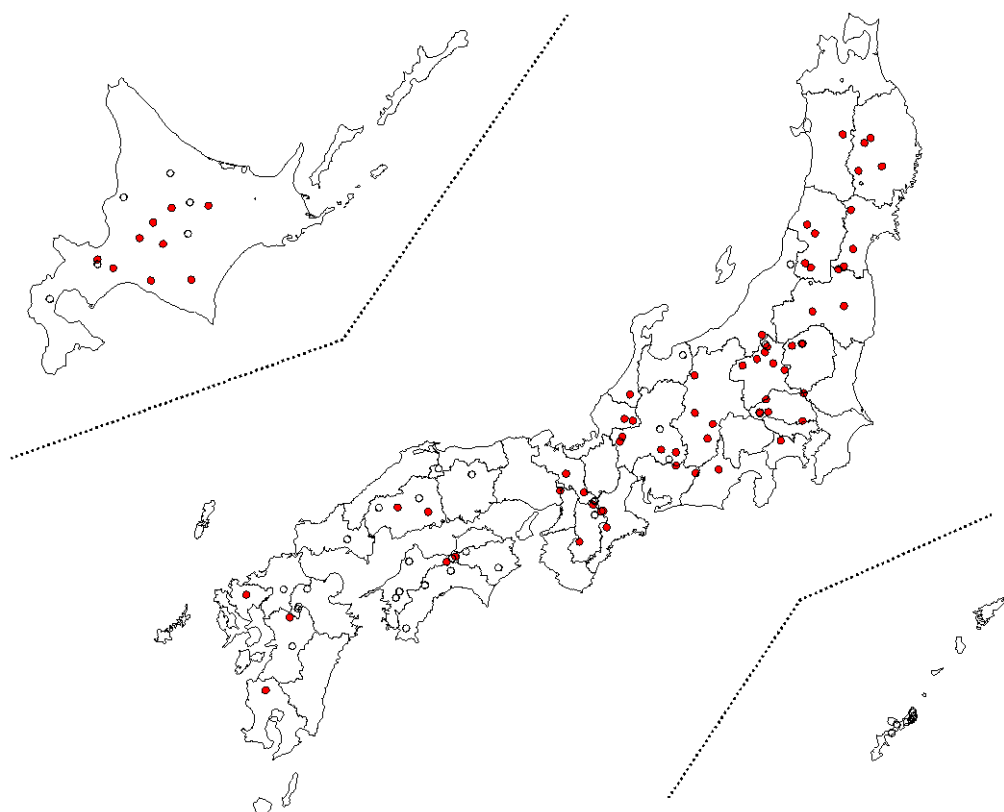


ハリエンジュ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況（1 巡目調査、2 巡目調査）

3 巡目調査（平成 13～17 年度）

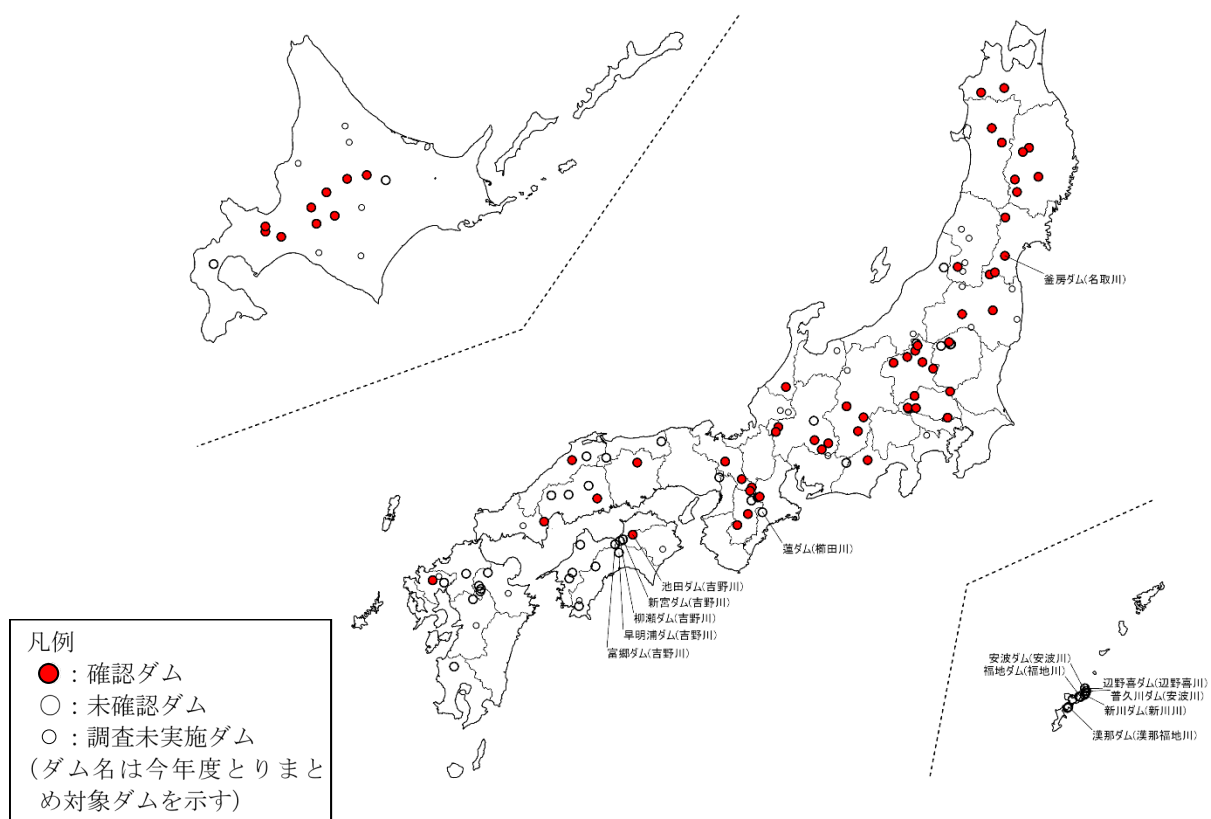


4 巡目調査（平成 18～27 年度）



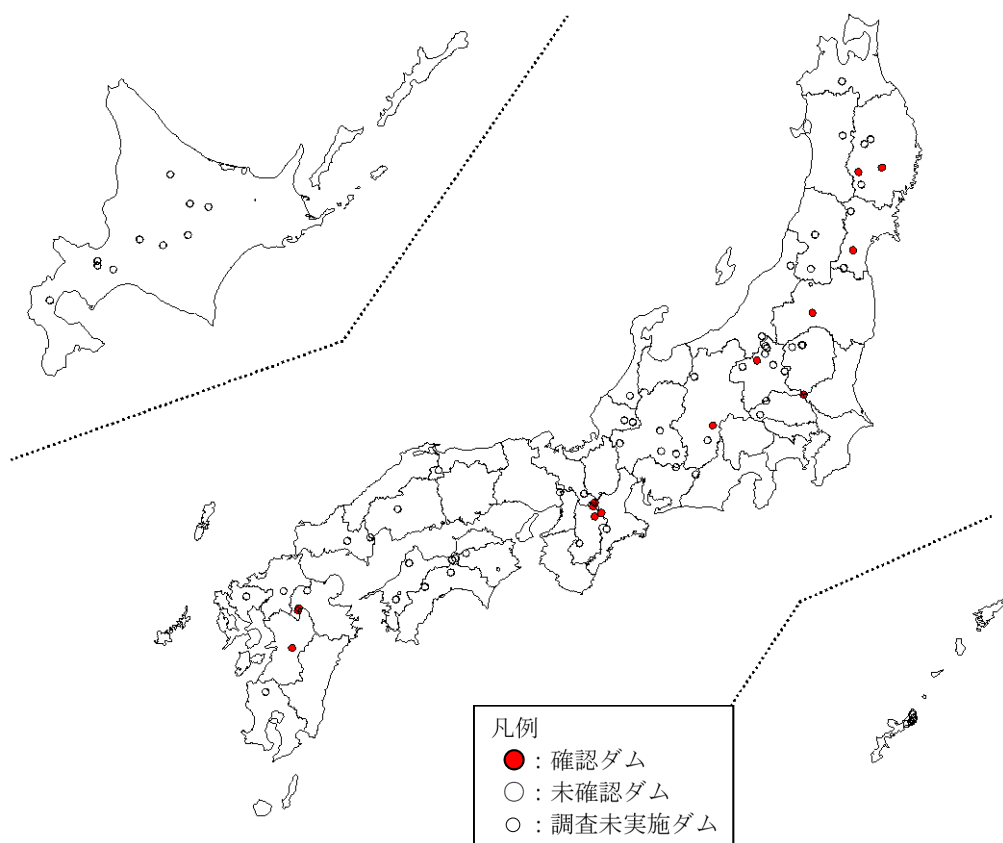
ハリエンジュ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (3 巡目調査、4 巡目調査)

5 巡目調査（平成 28～令和 5 年度）

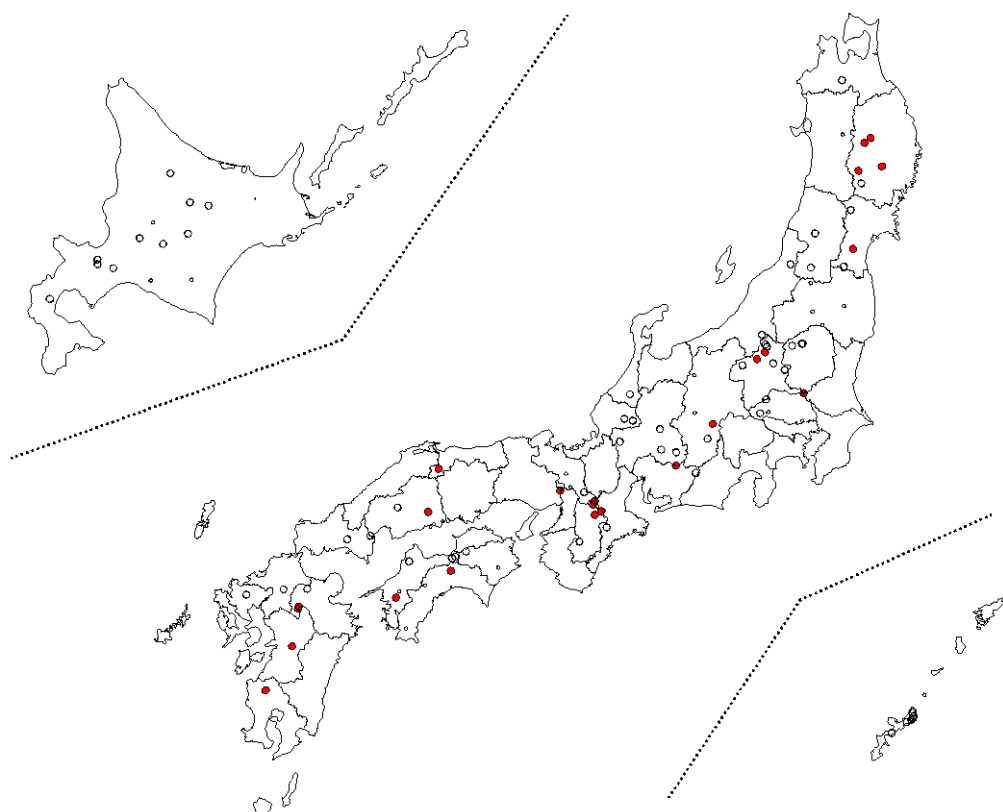


ハリエンジュ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況(5巡目調査)

1 巡目調査（平成 2～7 年度）

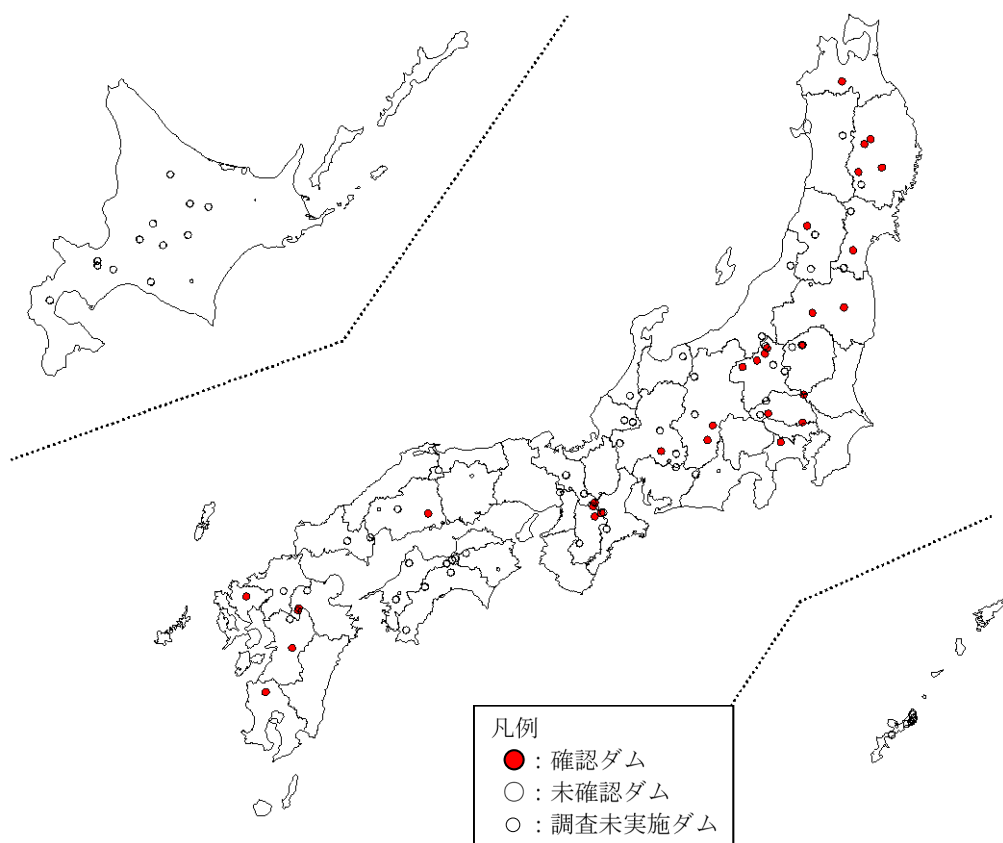


2 巡目調査（平成 8～12 年度）

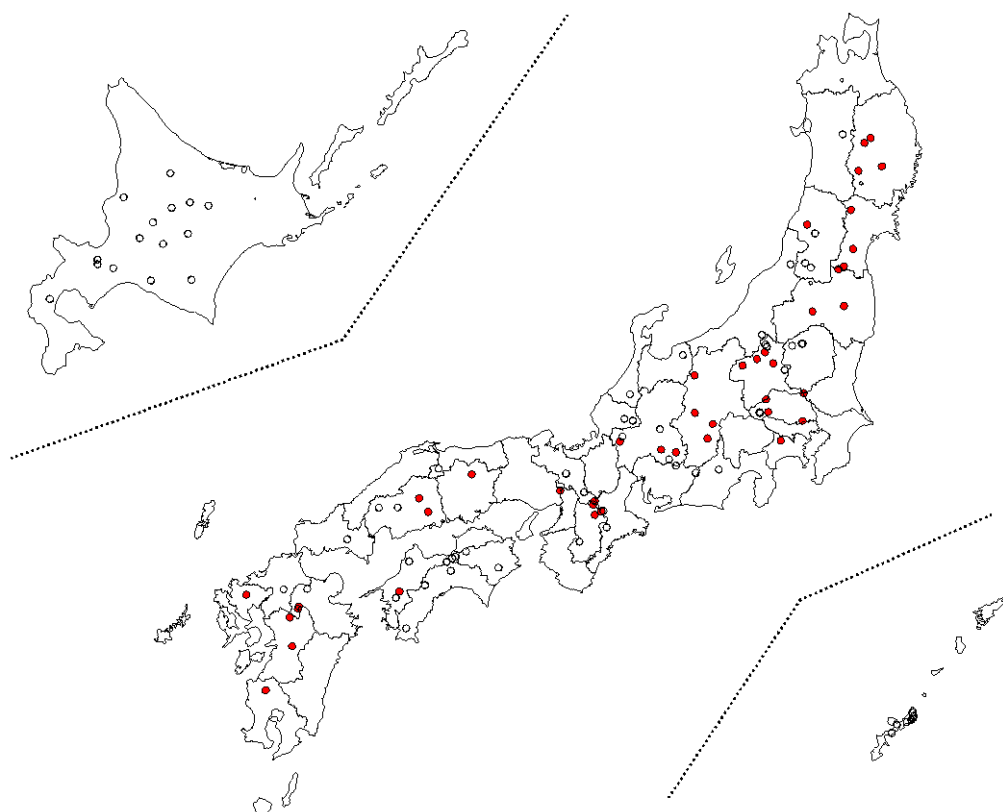


オオブタクサ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況（1 巡目調査、2 巡目調査）

3 巡目調査（平成 13～17 年度）

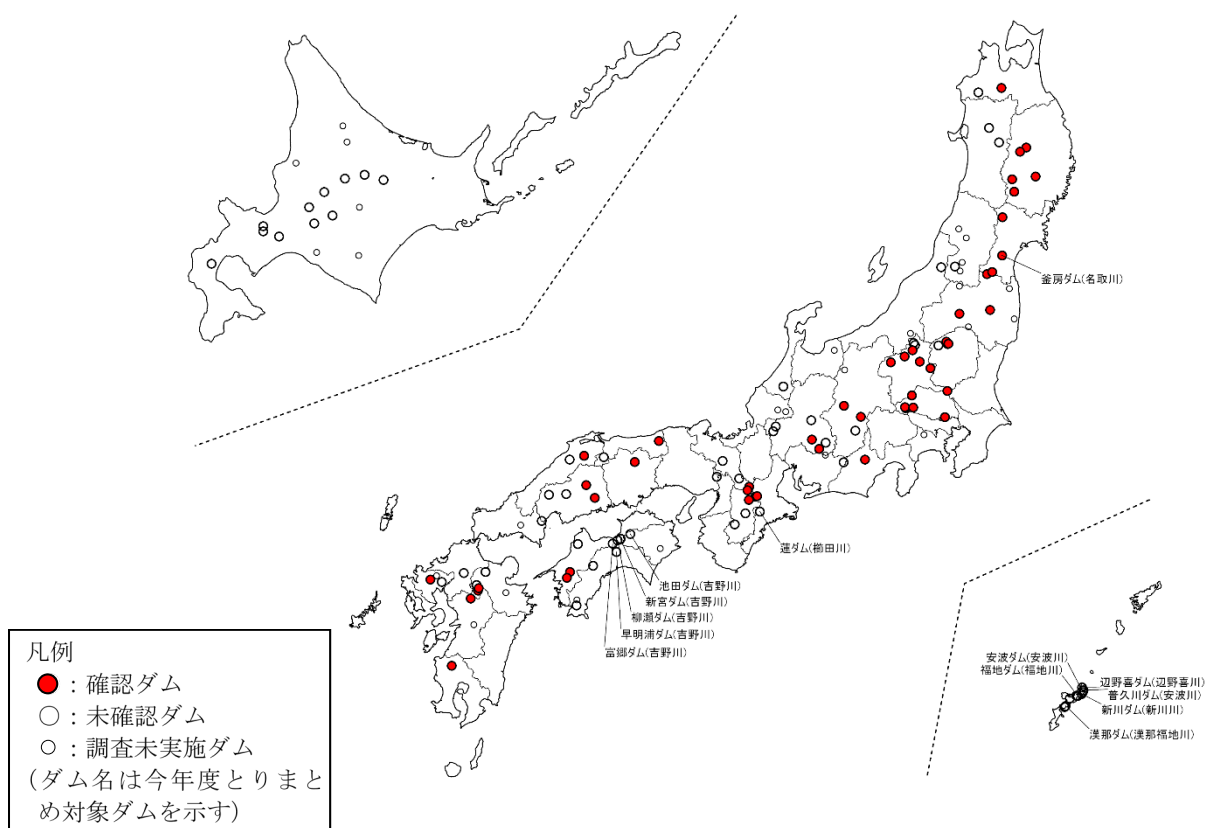


4 巡目調査（平成 18～27 年度）



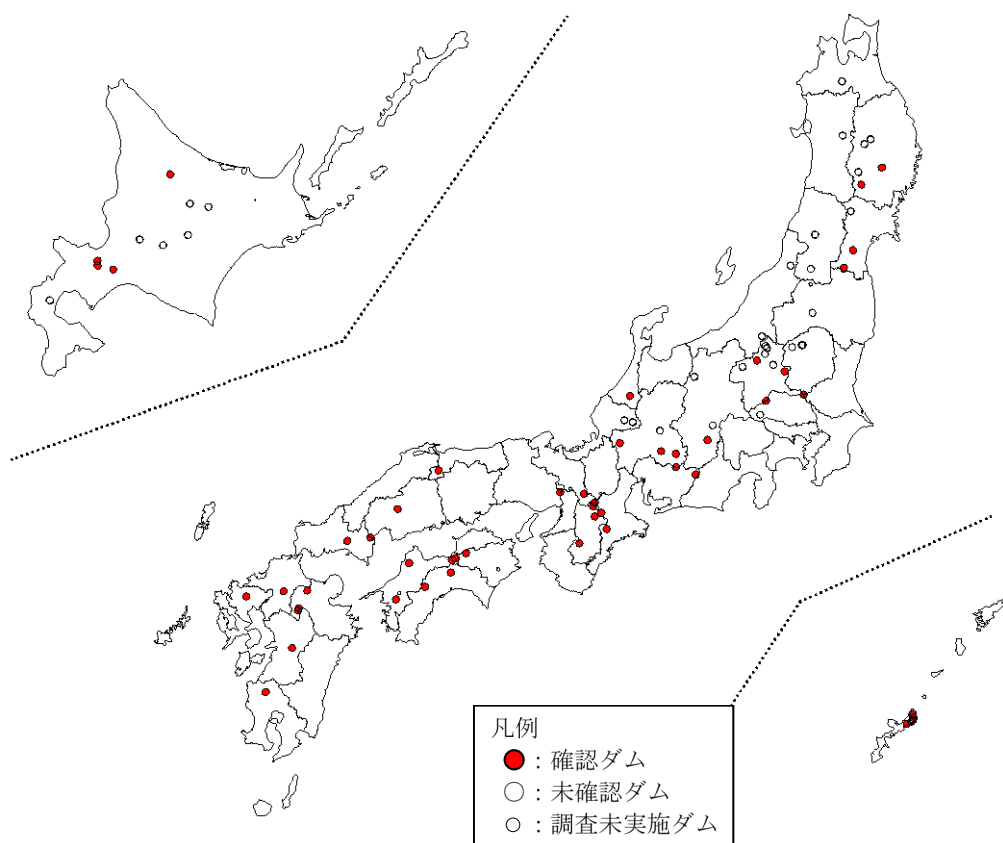
オオブタクサ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況（3 巡目調査、4 巡目調査）

5 巡目調査（平成 28～令和 5 年度）

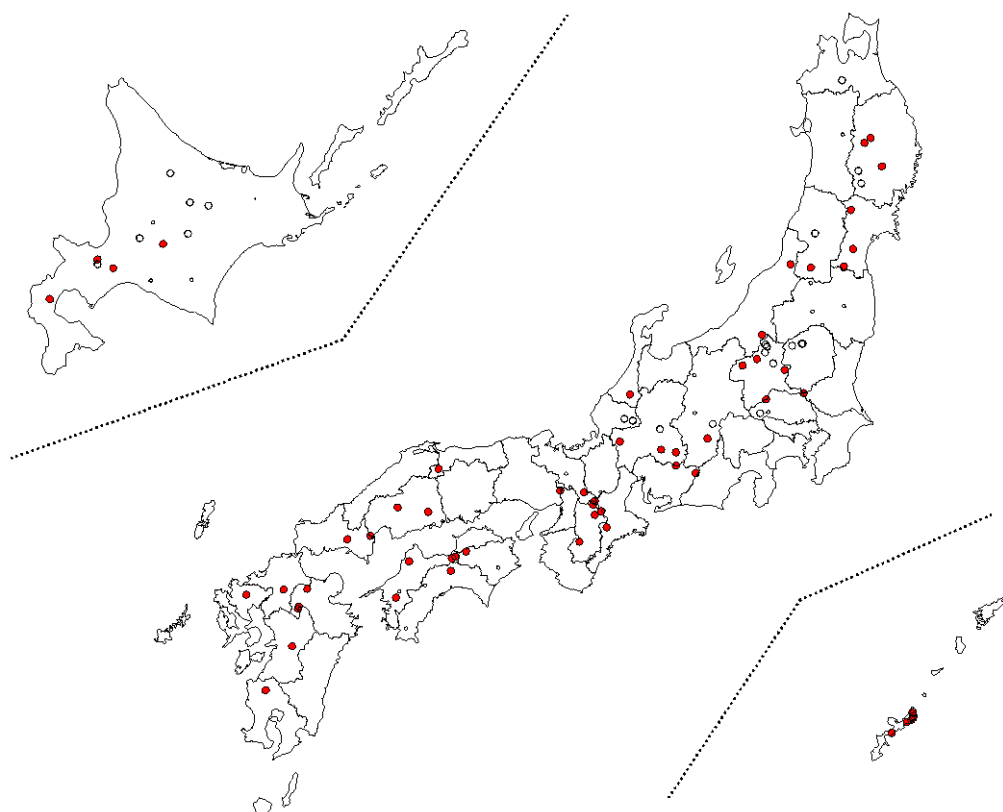


オオブタクサ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況（5 巡目調査）

1 巡目調査（平成 2～7 年度）

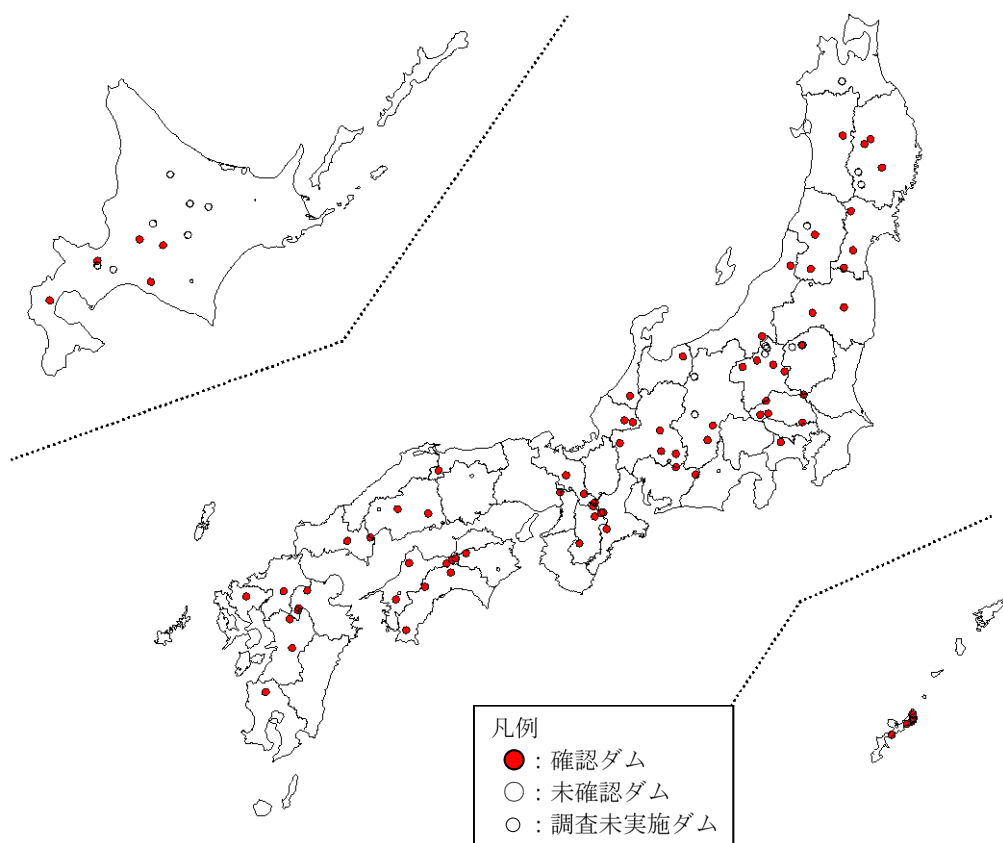


2 巡目調査（平成 8～12 年度）

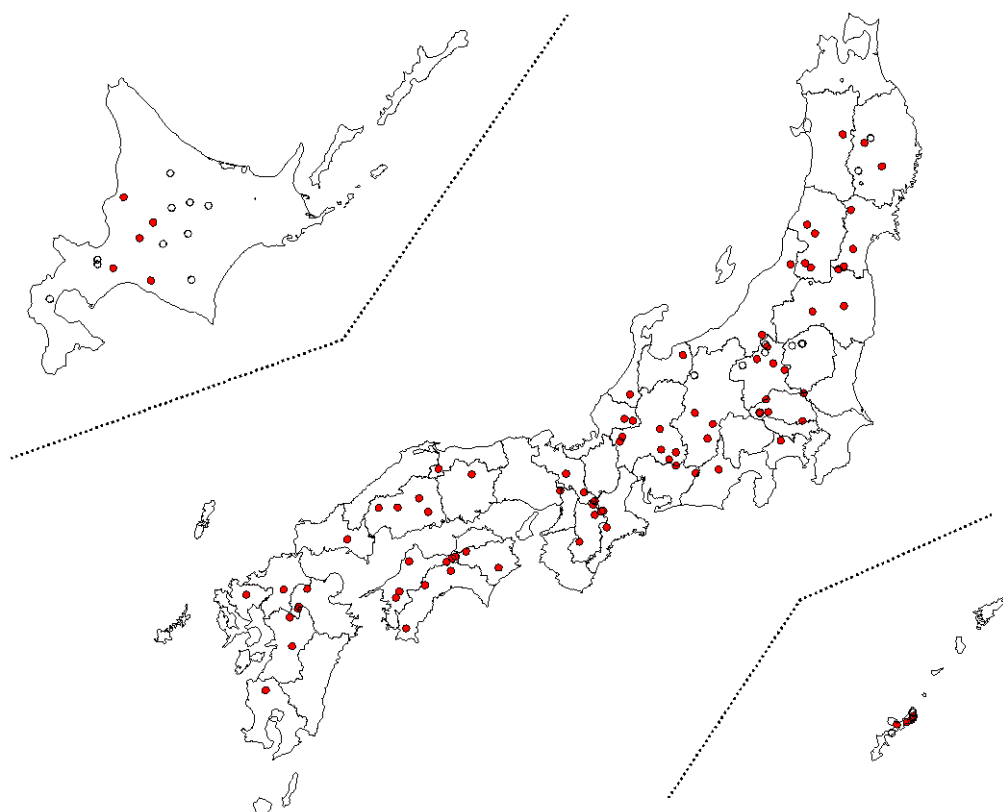


セイタカアワダチソウ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況（1 巡目調査、2 巡目調査）

3 巡目調査（平成 13～17 年度）

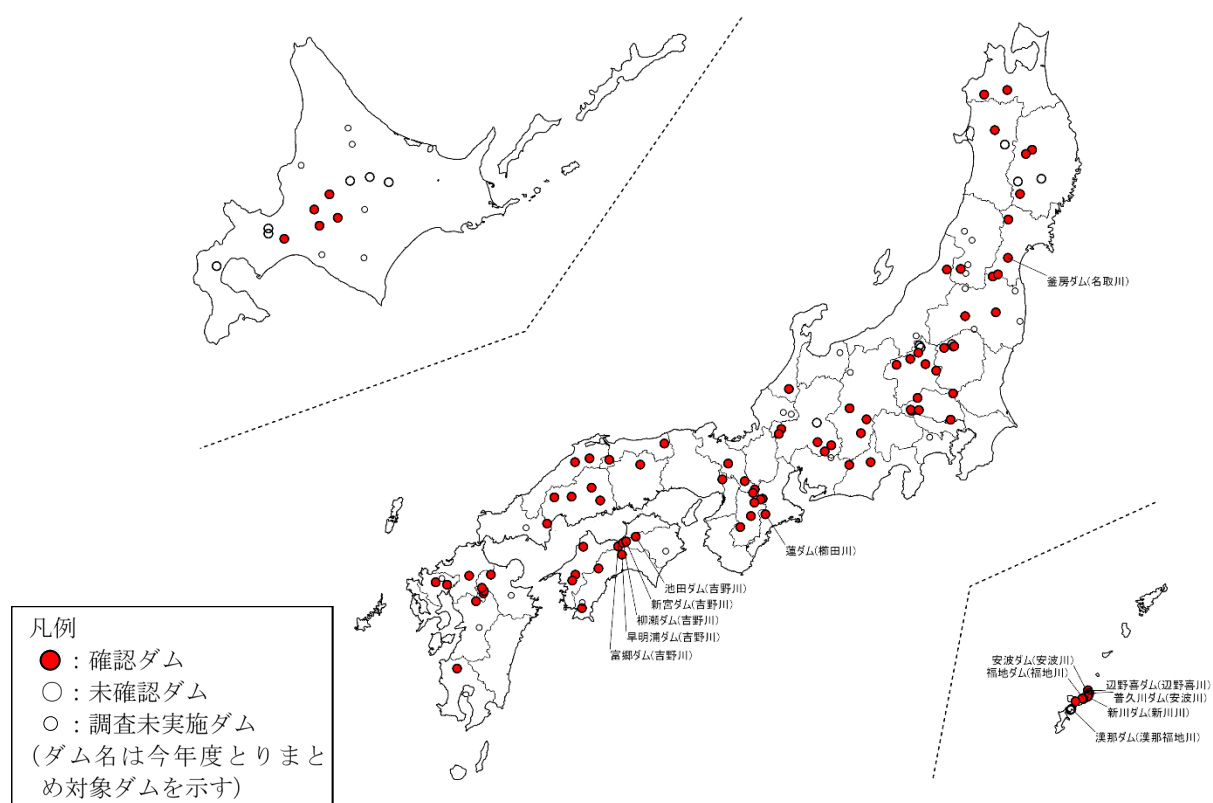


4 巡目調査（平成 18～27 年度）



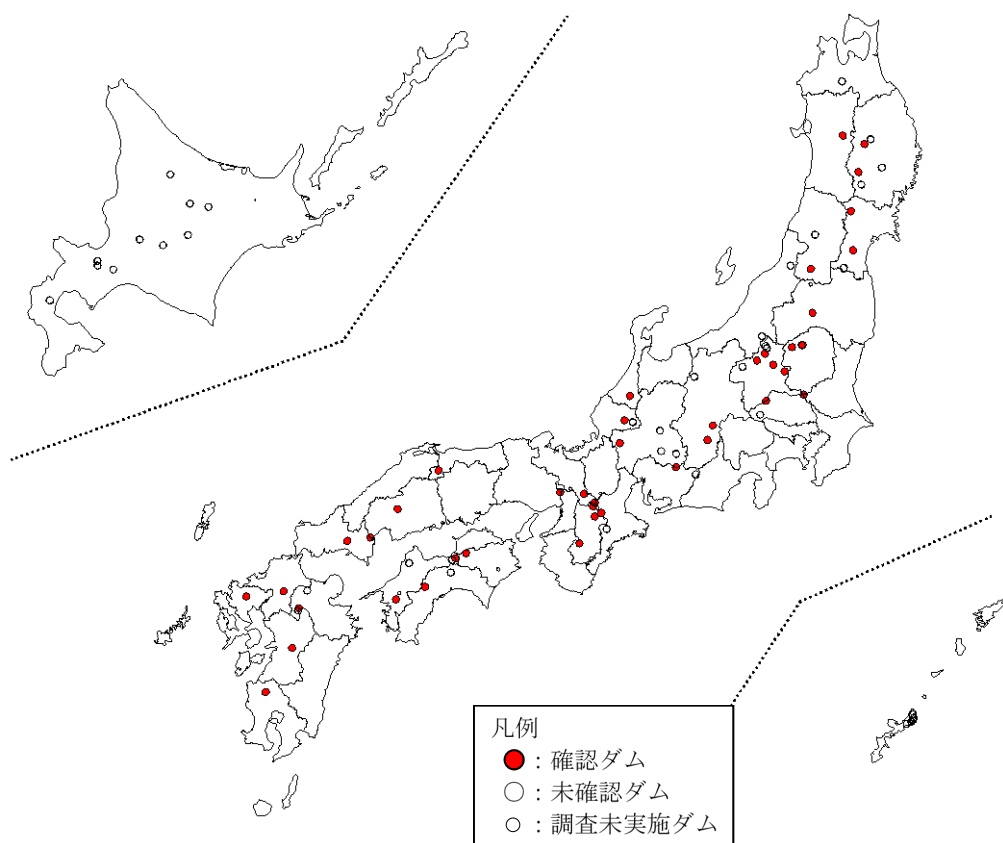
セイタカアワダチソウ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況（3 巡目調査、4 巡目調査）

5 巡目調査（平成 28～令和 5 年度）

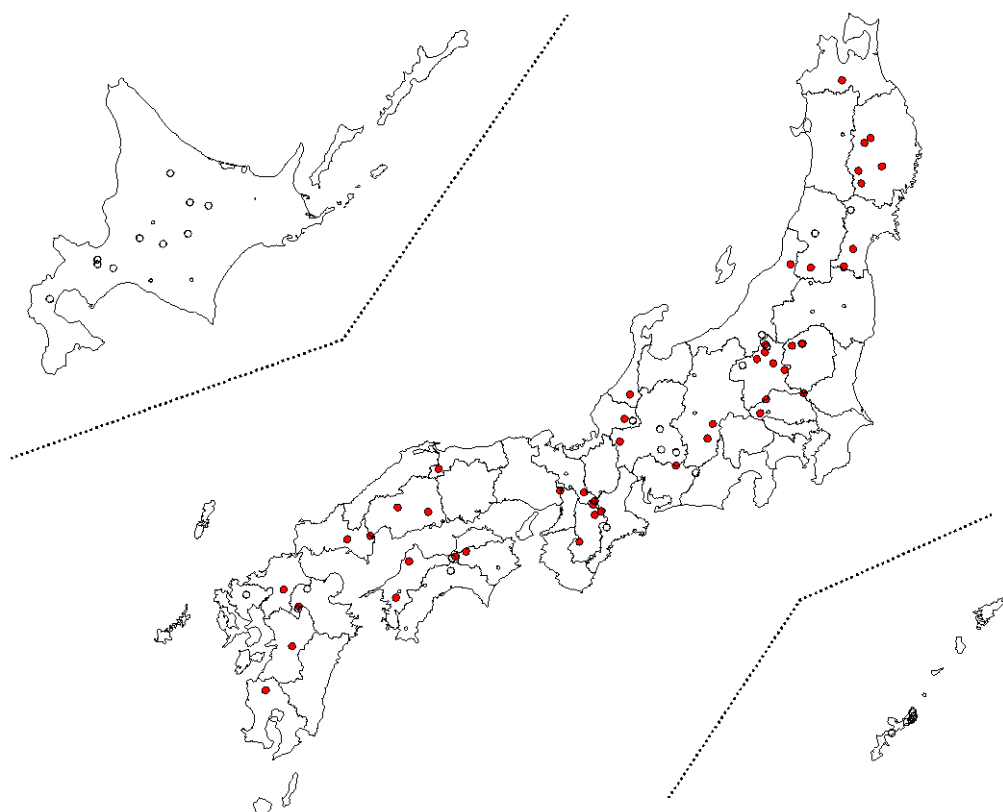


セイタカアワダチソウ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (5 巡目調査)

1 巡目調査（平成 2～7 年度）

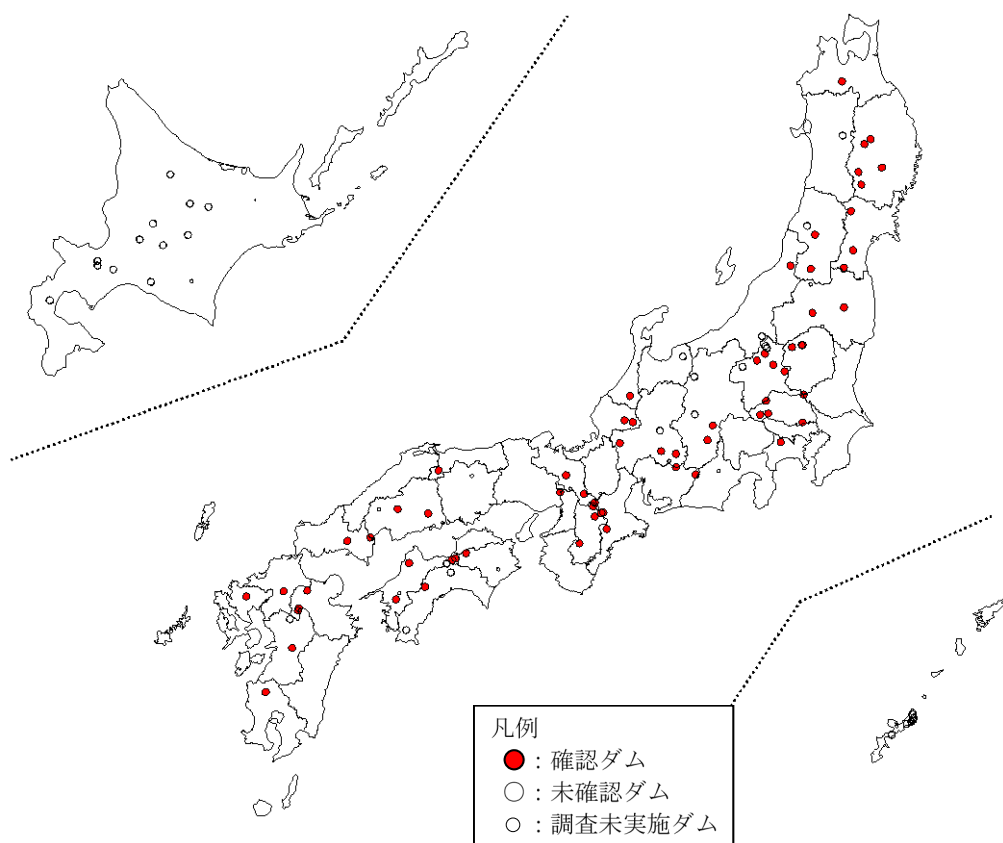


2 巡目調査（平成 8～12 年度）

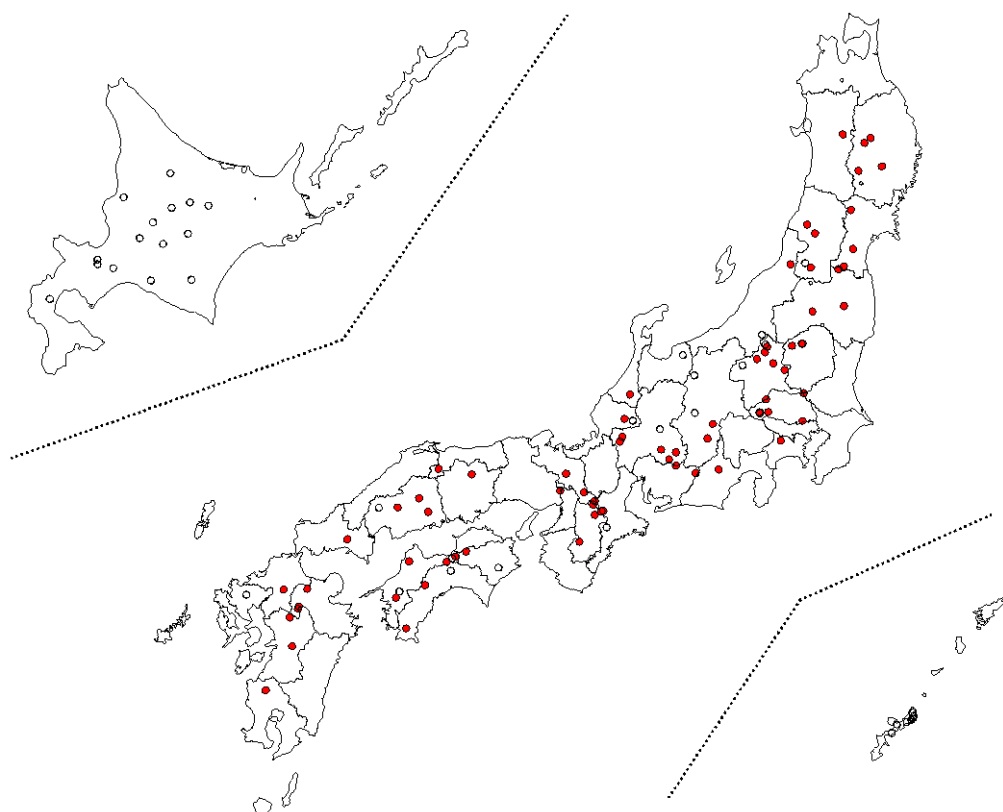


オオオナモミ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況（1 巡目調査、2 巡目調査）

3 巡目調査（平成 13～17 年度）

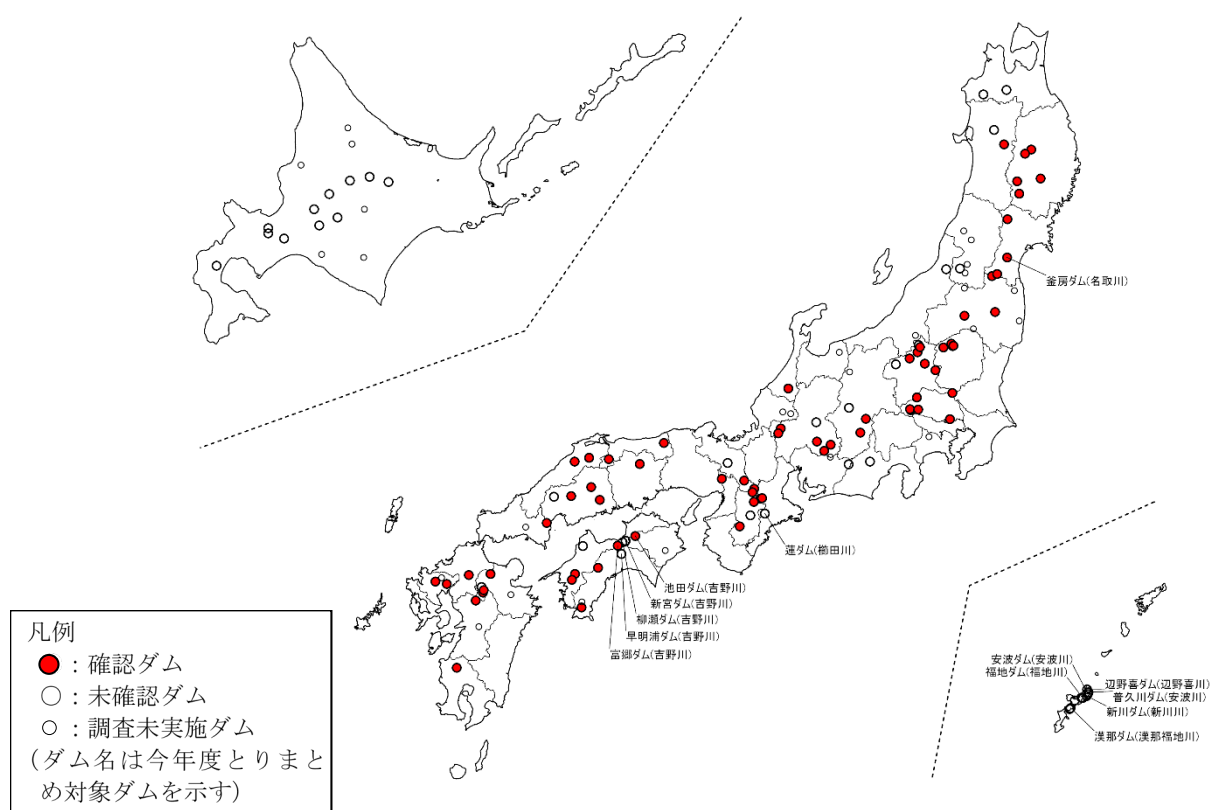


4 巡目調査（平成 18～27 年度）



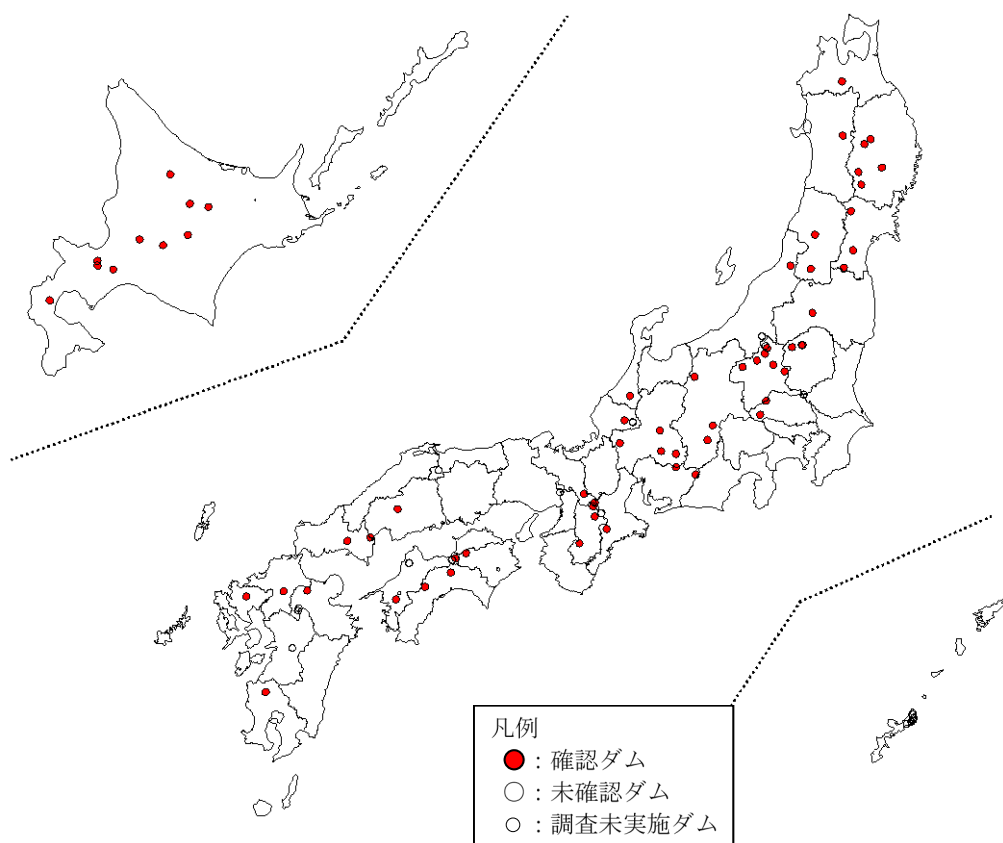
オオオナモミ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況（3 巡目調査、4 巡目調査）

5 巡目調査（平成 28～令和 5 年度）

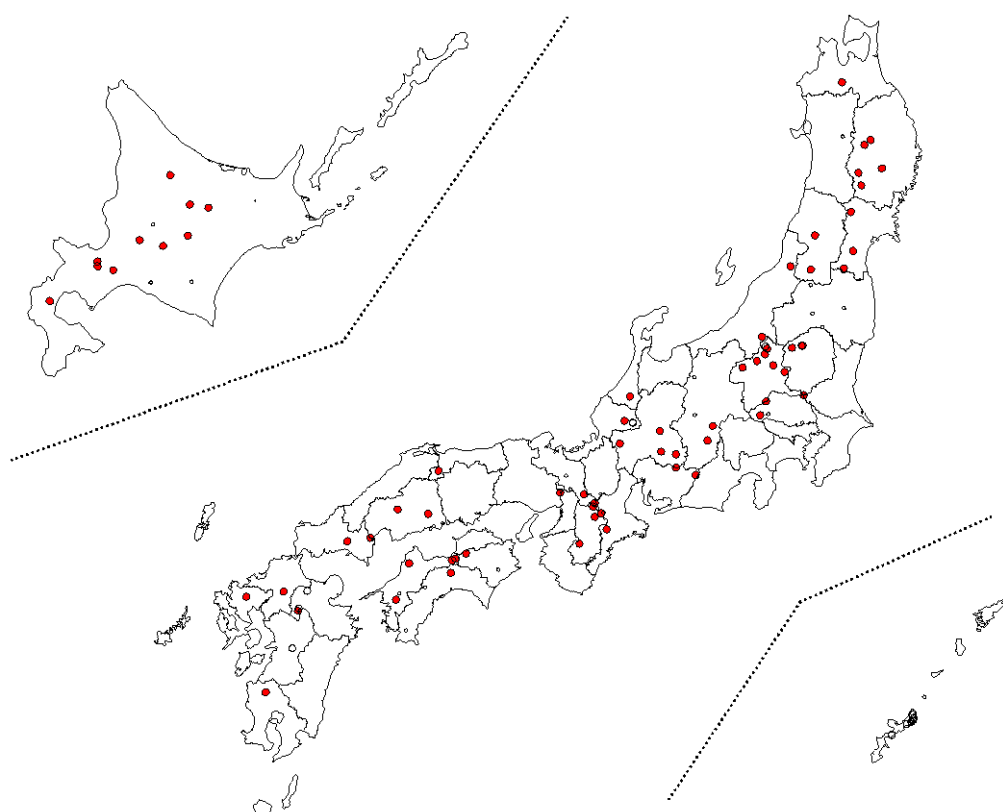


オオオナモミ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況(5巡目調査)

1 巡目調査（平成 2～7 年度）

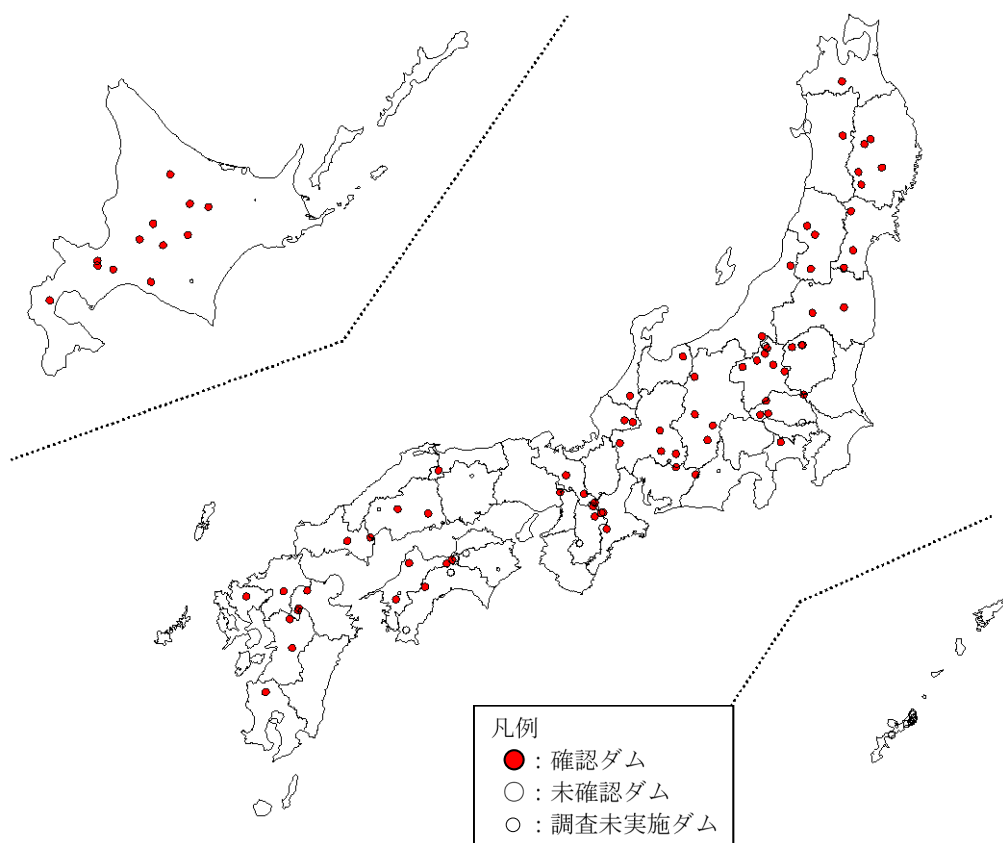


2 巡目調査（平成 8～12 年度）

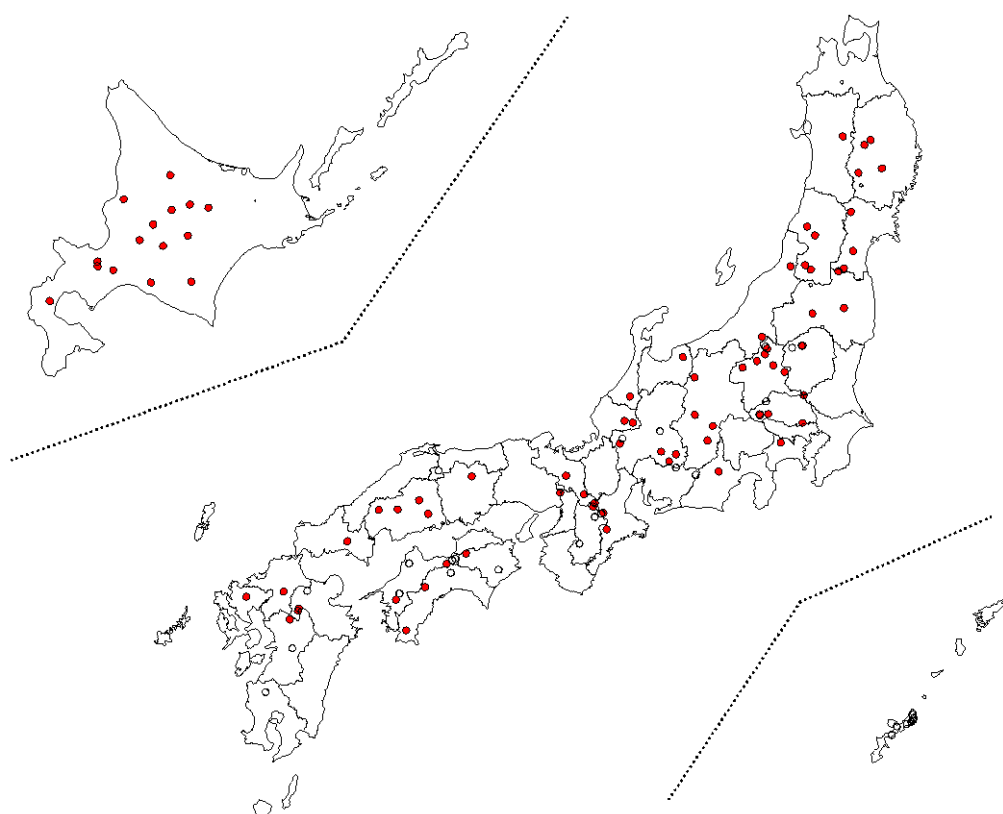


カモガヤ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況（1 巡目調査、2 巡目調査）

3 巡目調査（平成 13～17 年度）

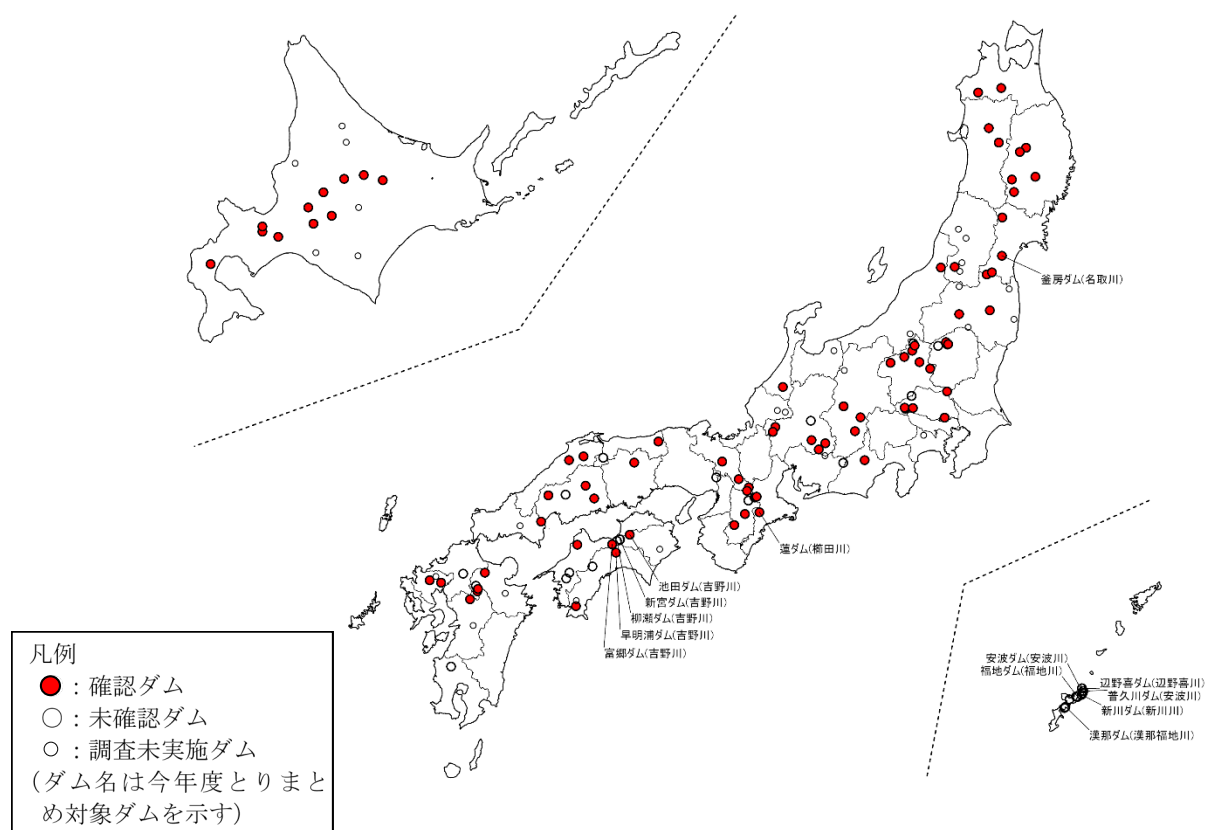


4 巡目調査（平成 18～27 年度）



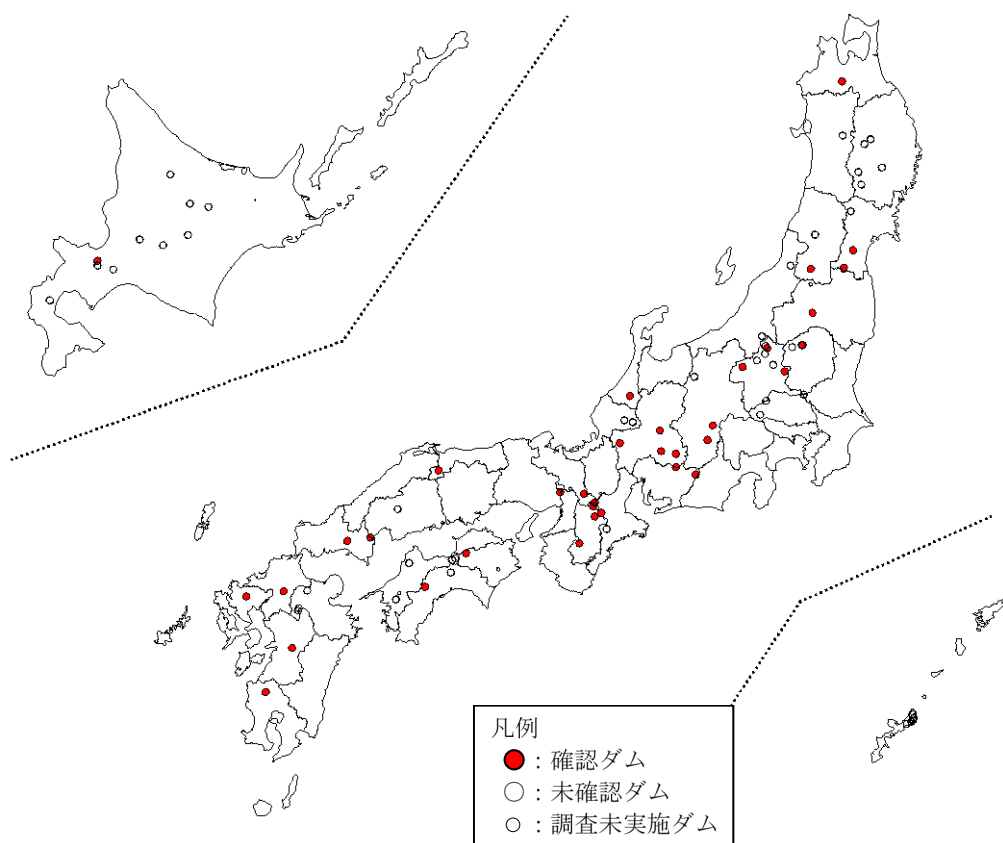
カモガヤ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況（3 巡目調査、4 巡目調査）

5 巡目調査（平成 28～令和 5 年度）

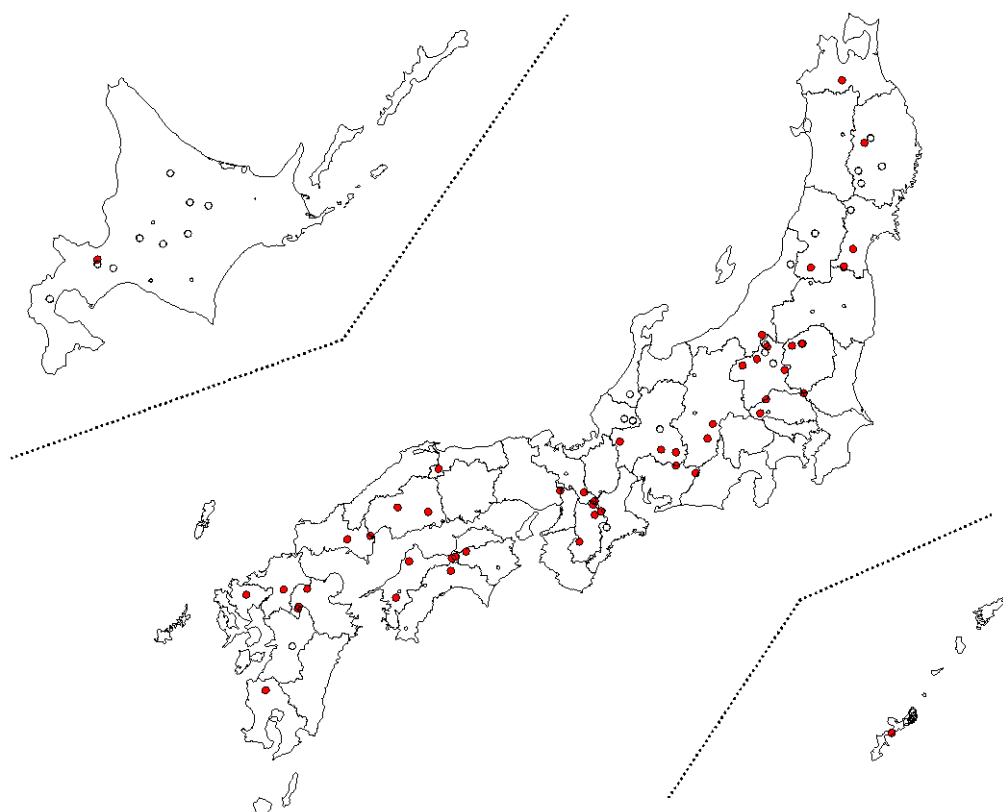


カモガヤ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (5 巡目調査)

1 巡目調査（平成 2～7 年度）

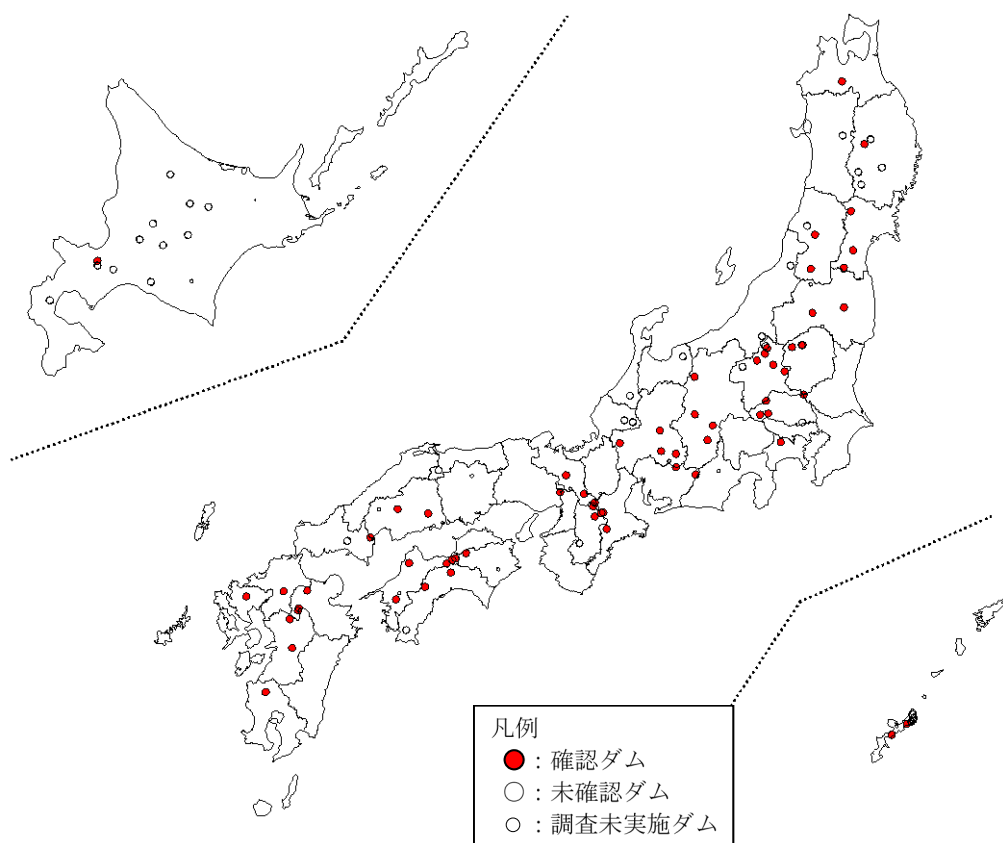


2 巡目調査（平成 8～12 年度）

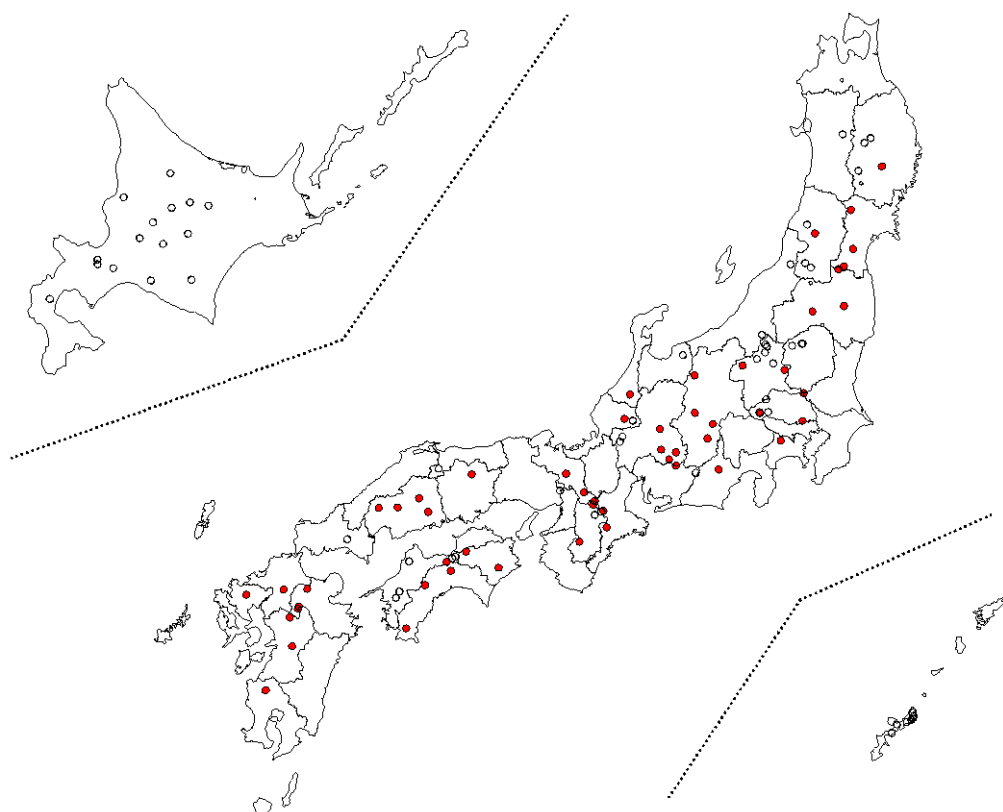


シナダレスズメガヤ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況（1 巡目調査、2 巡目調査）

3 巡目調査（平成 13～17 年度）

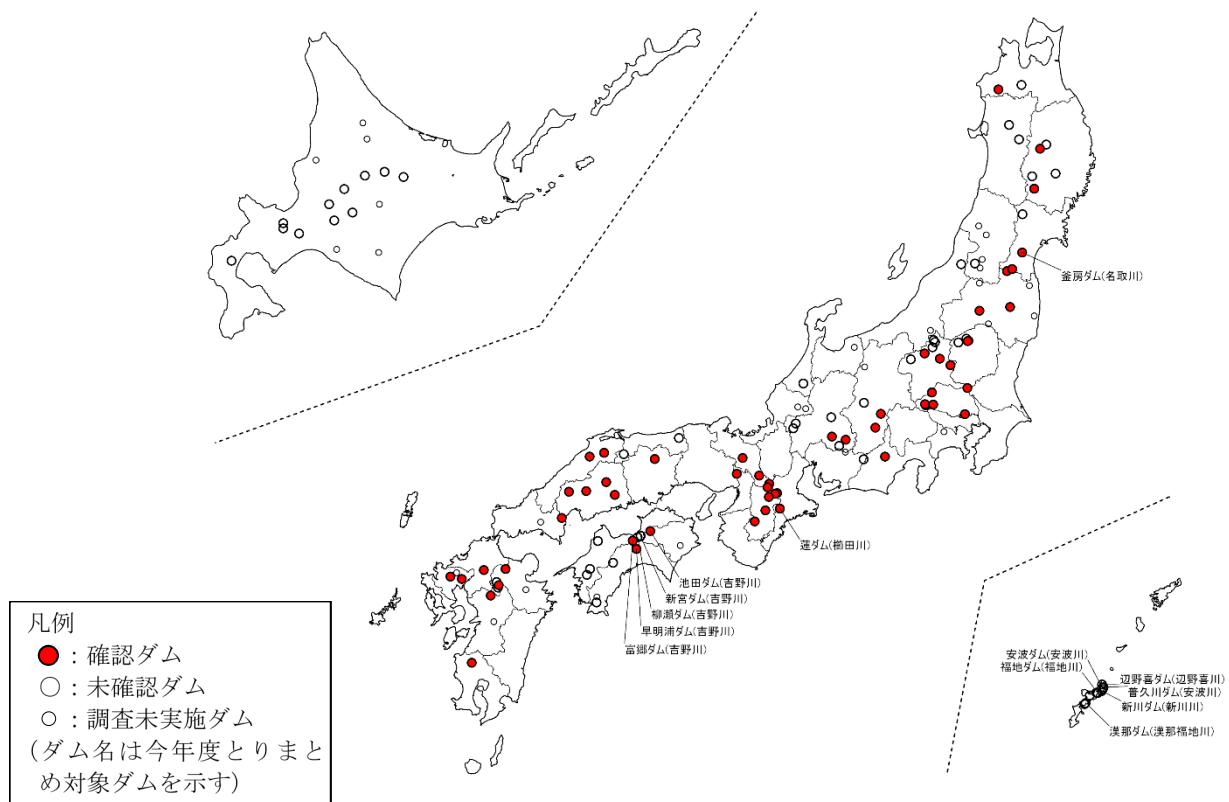


4 巡目調査（平成 18～27 年度）



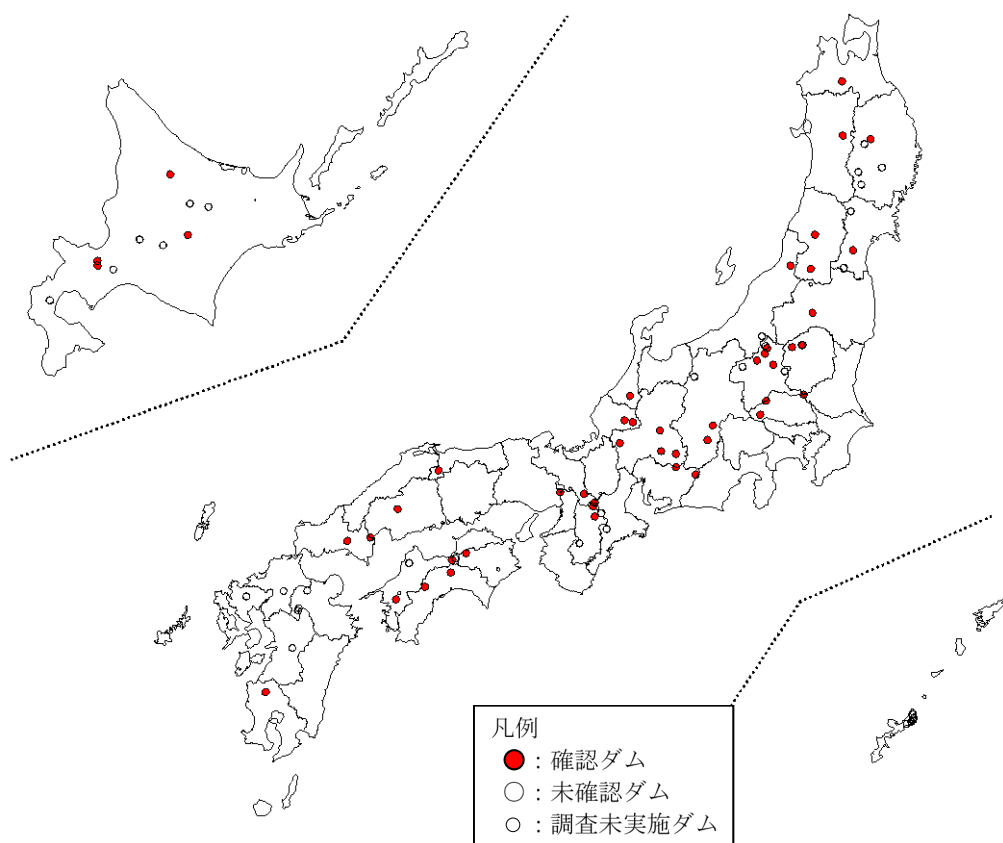
シナダレスズメガヤ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況（3 巡目調査、4 巡目調査）

5 巡目調査（平成 28～令和 3 年度）

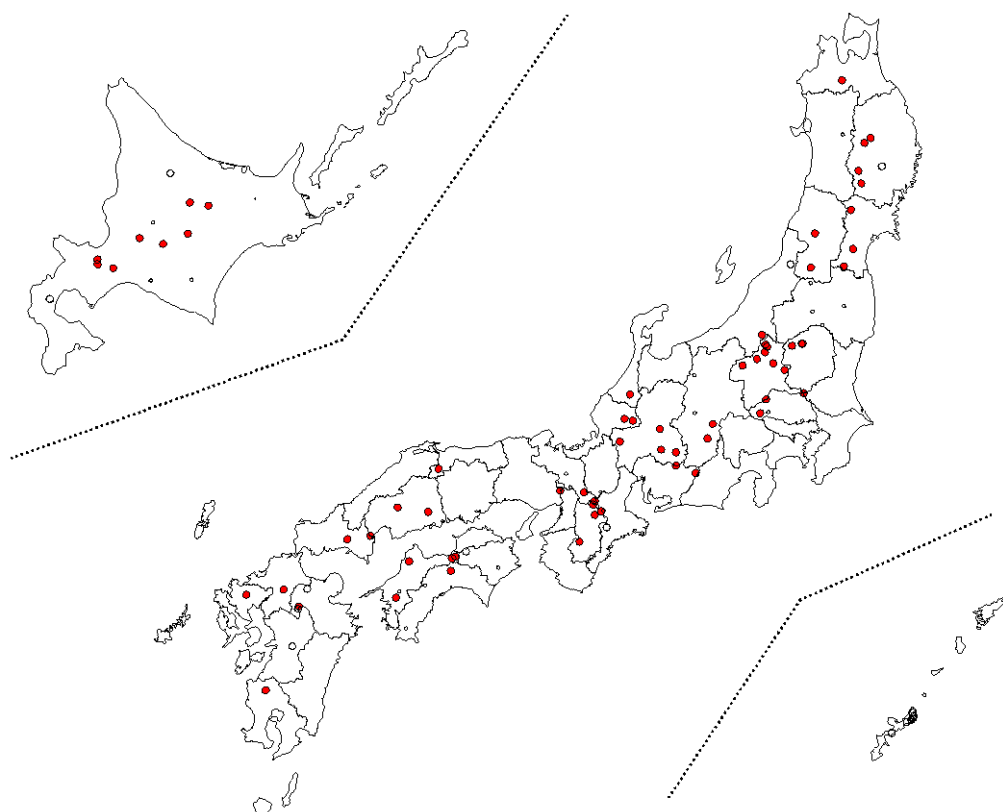


シナダレスズメガヤ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (5 巡目調査)

1 巡目調査（平成 2～7 年度）

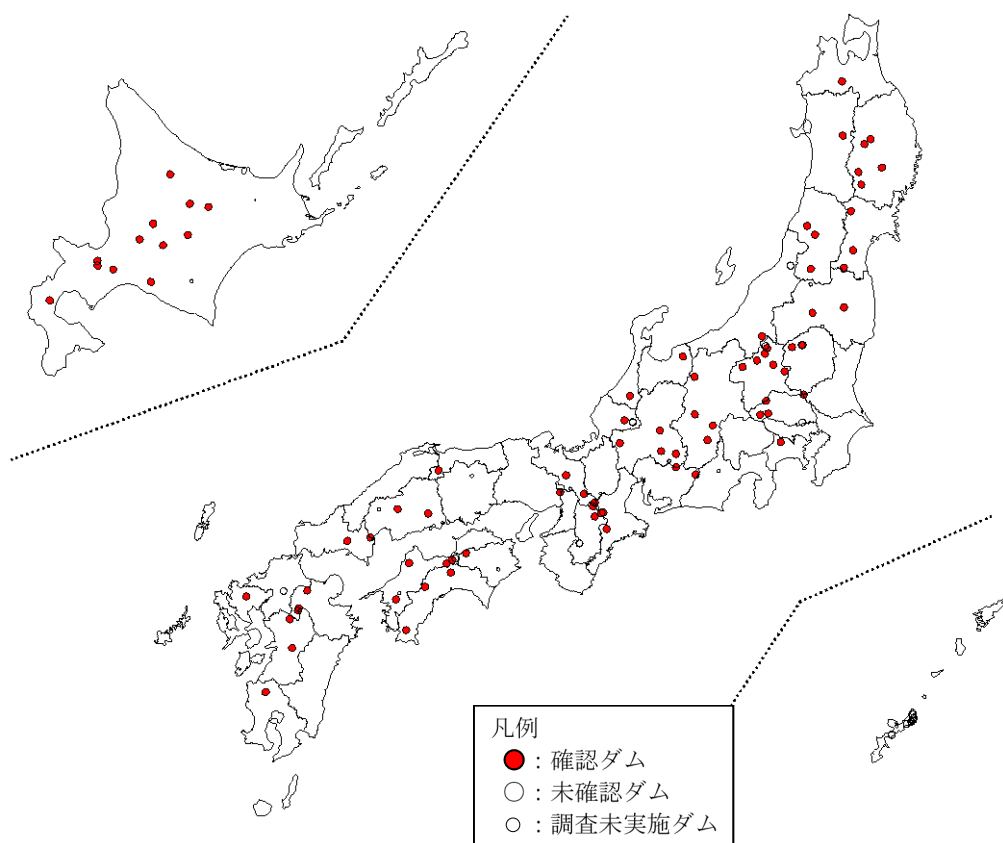


2 巡目調査（平成 8～12 年度）

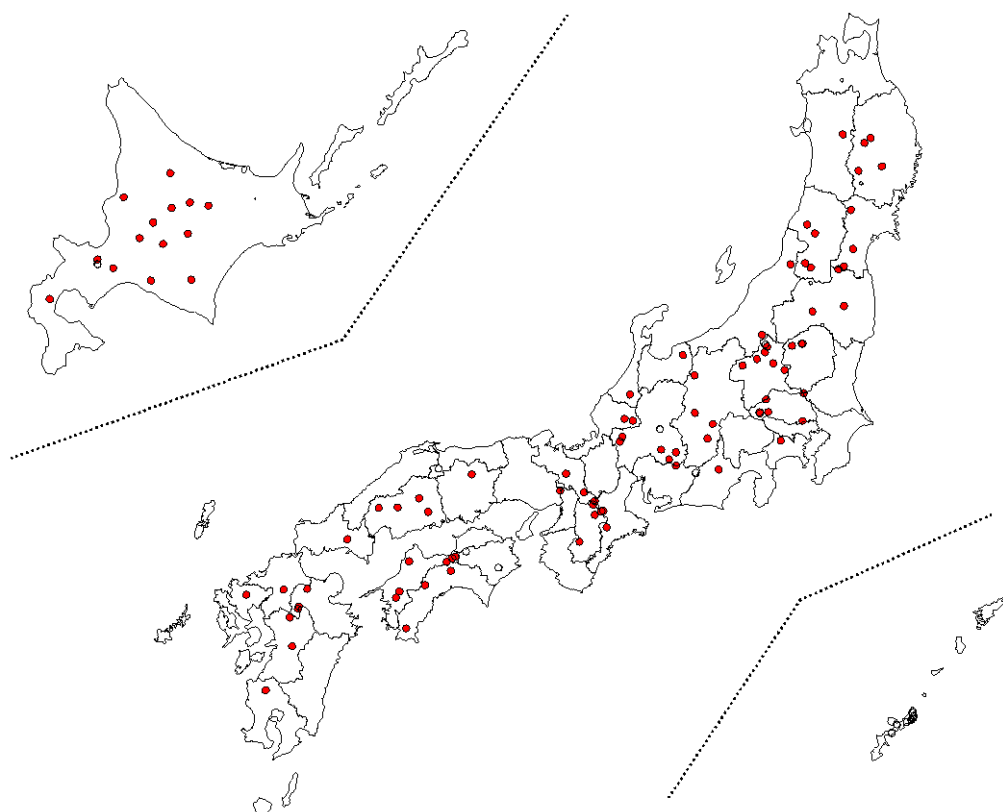


オニウシノケグサ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況（1 巡目調査、2 巡目調査）

3 巡目調査（平成 13～17 年度）

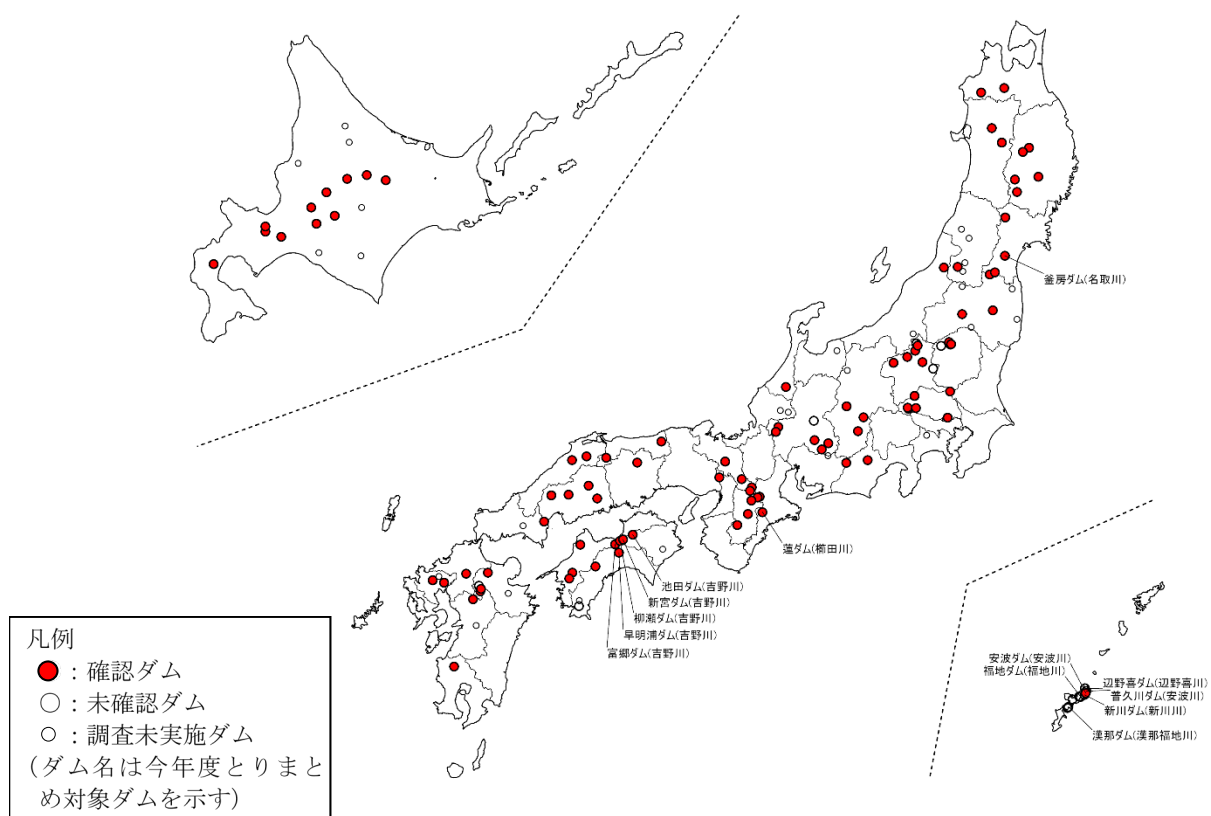


4 巡目調査（平成 18～27 年度）



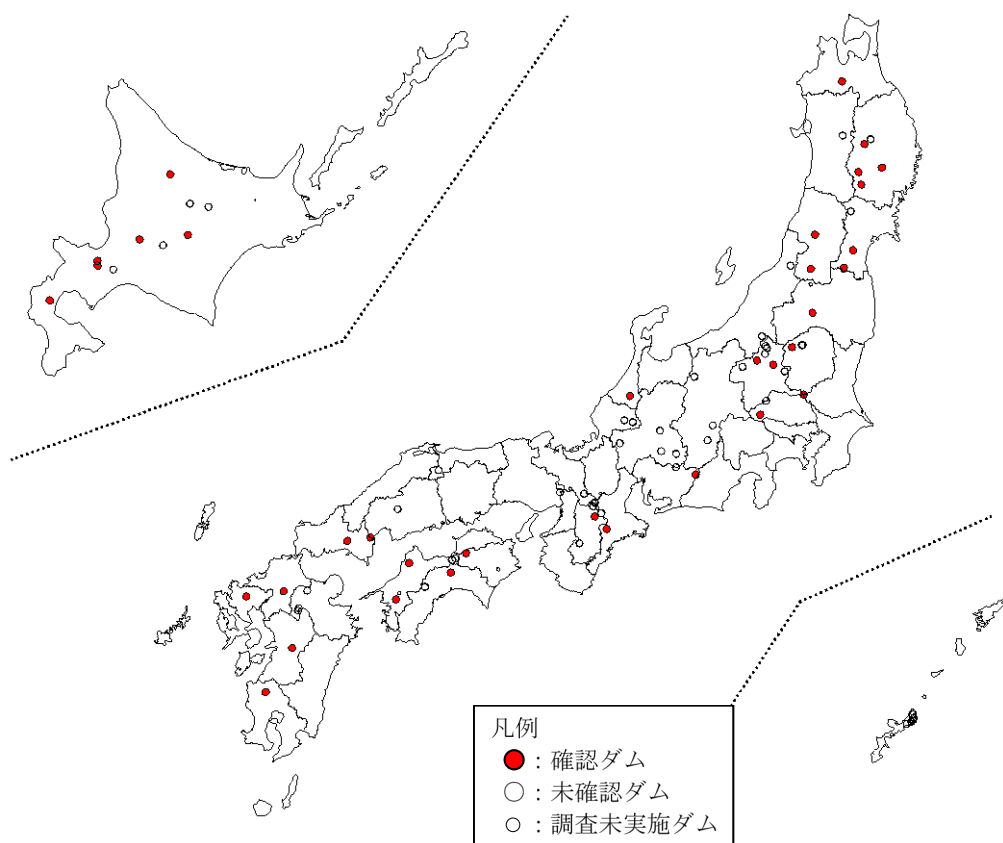
オニウシノケグサ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況（3 巡目調査、4 巡目調査）

5 巡目調査（平成 28～令和 5 年度）

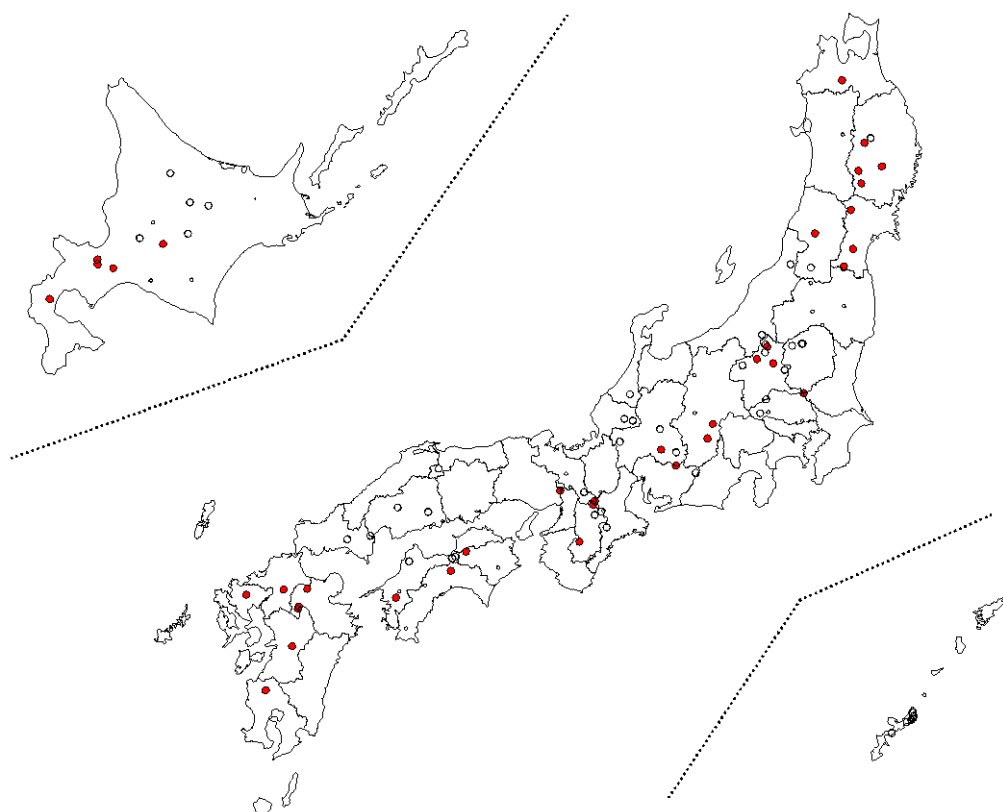


オニウシノケグサ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (5 巡目調査)

1 巡目調査（平成 2～7 年度）

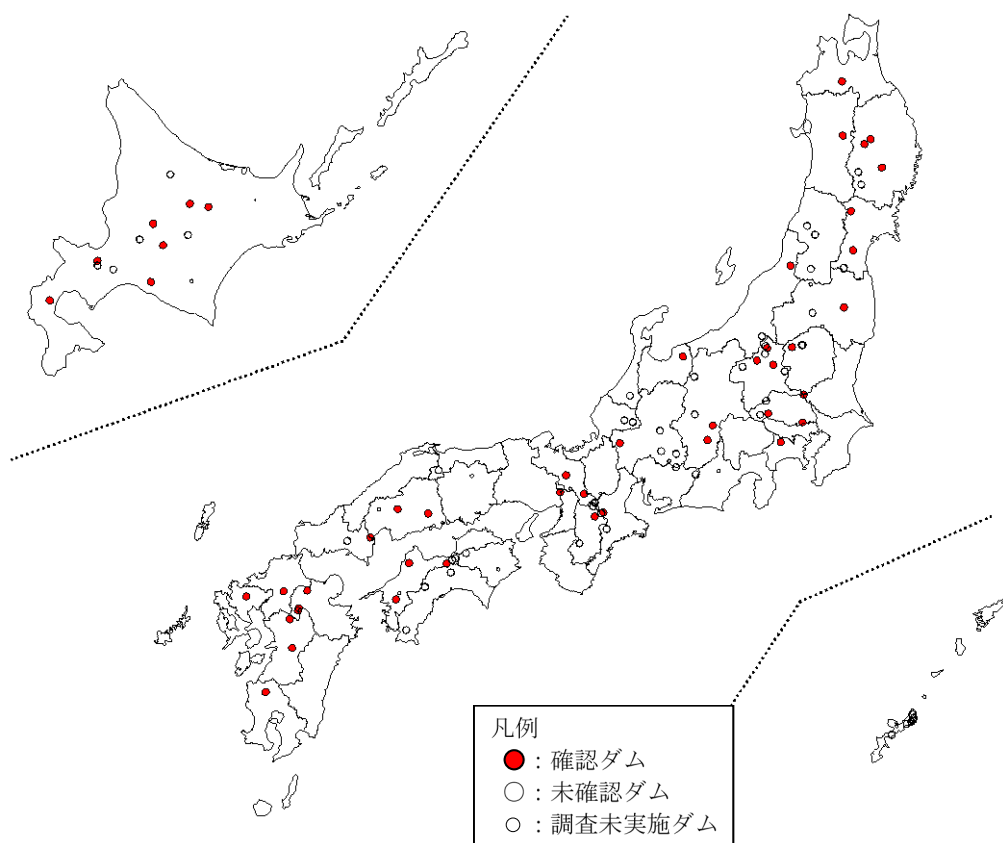


2 巡目調査（平成 8～12 年度）

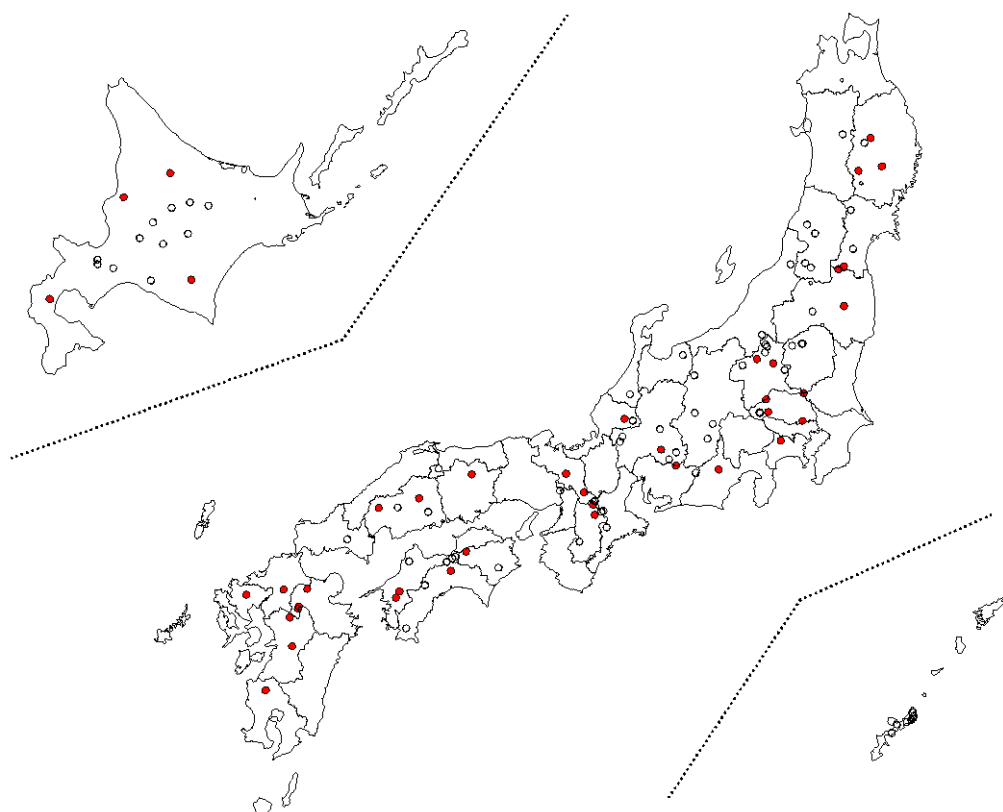


ネズミムギ・ホソムギ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況（1 巡目調査、2 巡目調査）

3 巡目調査 (平成 13～17 年度)

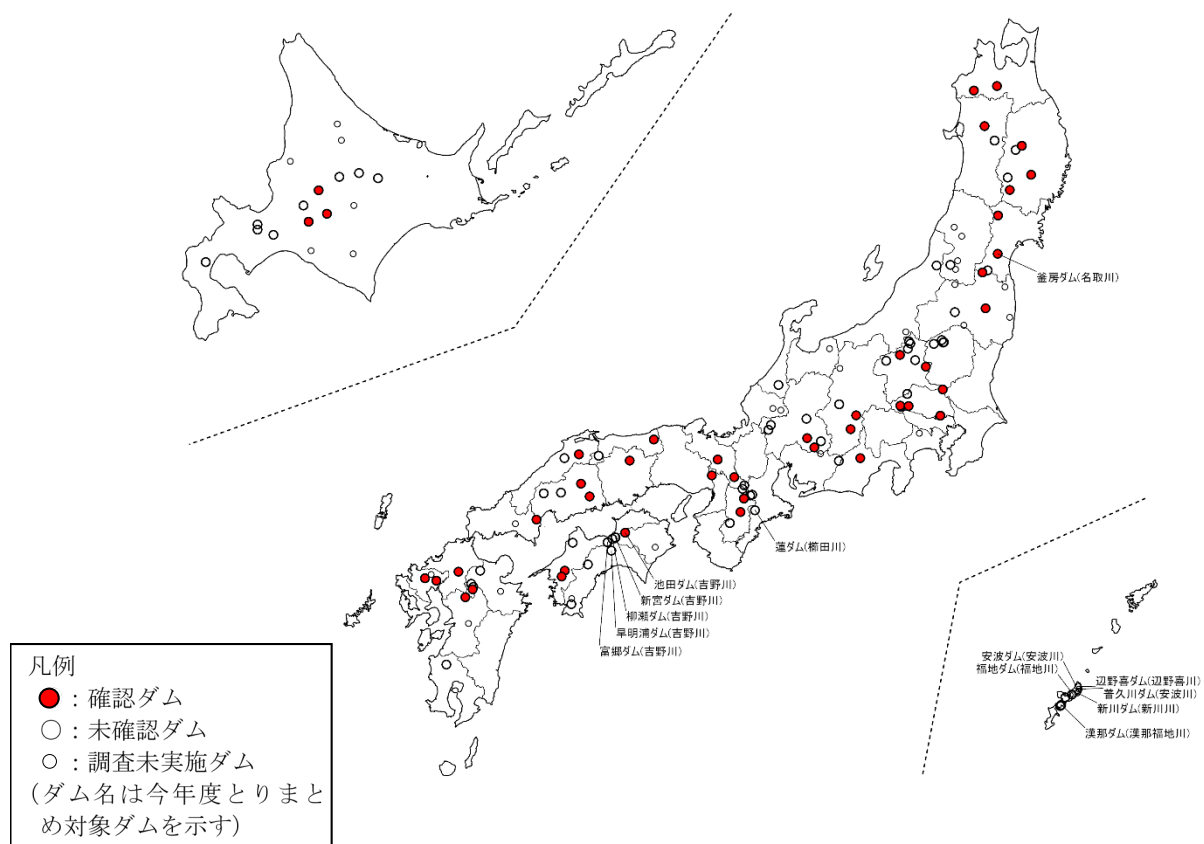


4 巡目調査 (平成 18～27 年度)



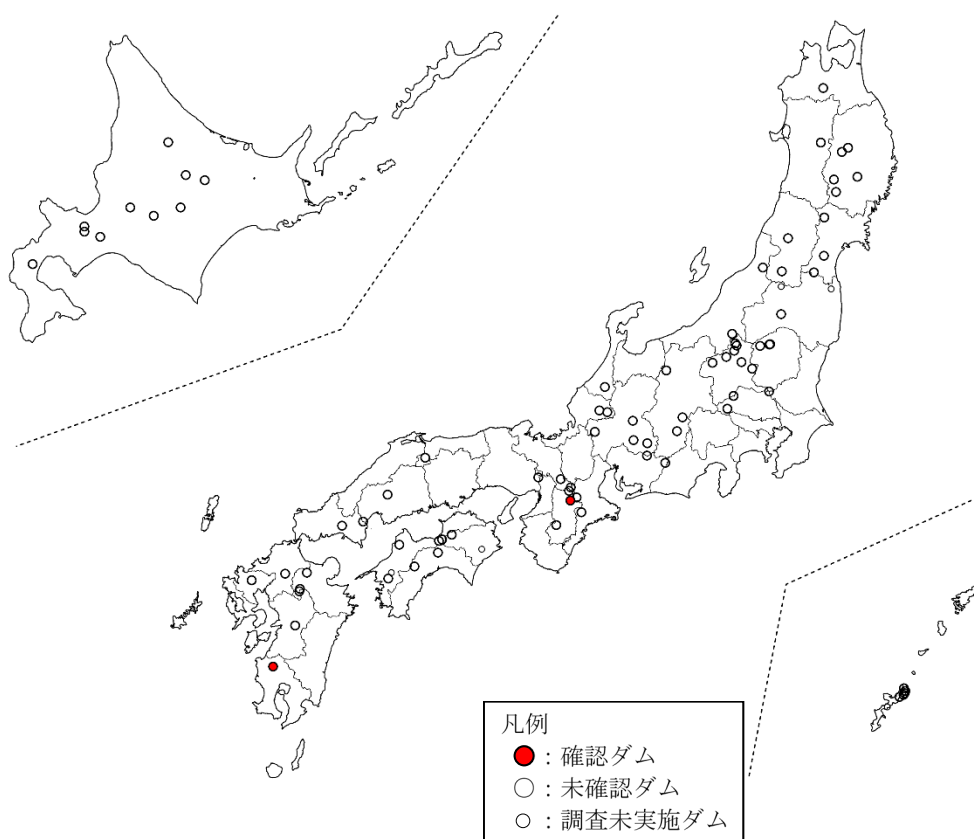
ネズミムギ・ホソムギ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (3 巡目調査、4 巡目調査)

5 巡目調査（平成 28～令和 5 年度）

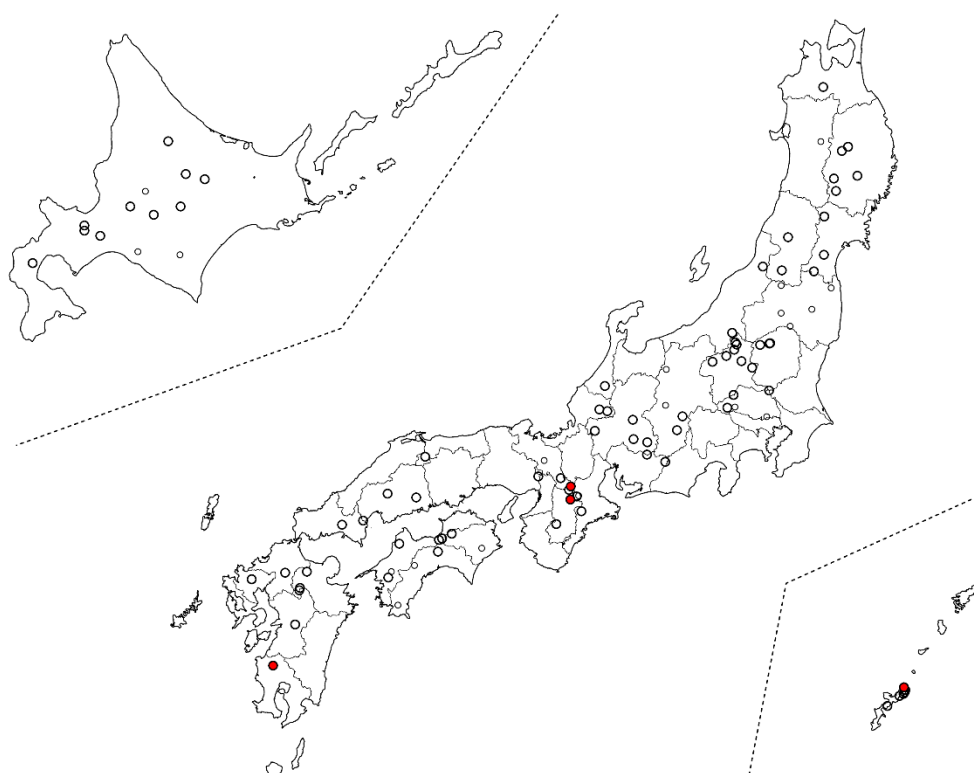


ネズミムギ・ホソムギ(生態系被害防止外来種リスト掲載種)の確認状況 (5 巡目調査)

1 巡目調査（平成 2～7 年度）

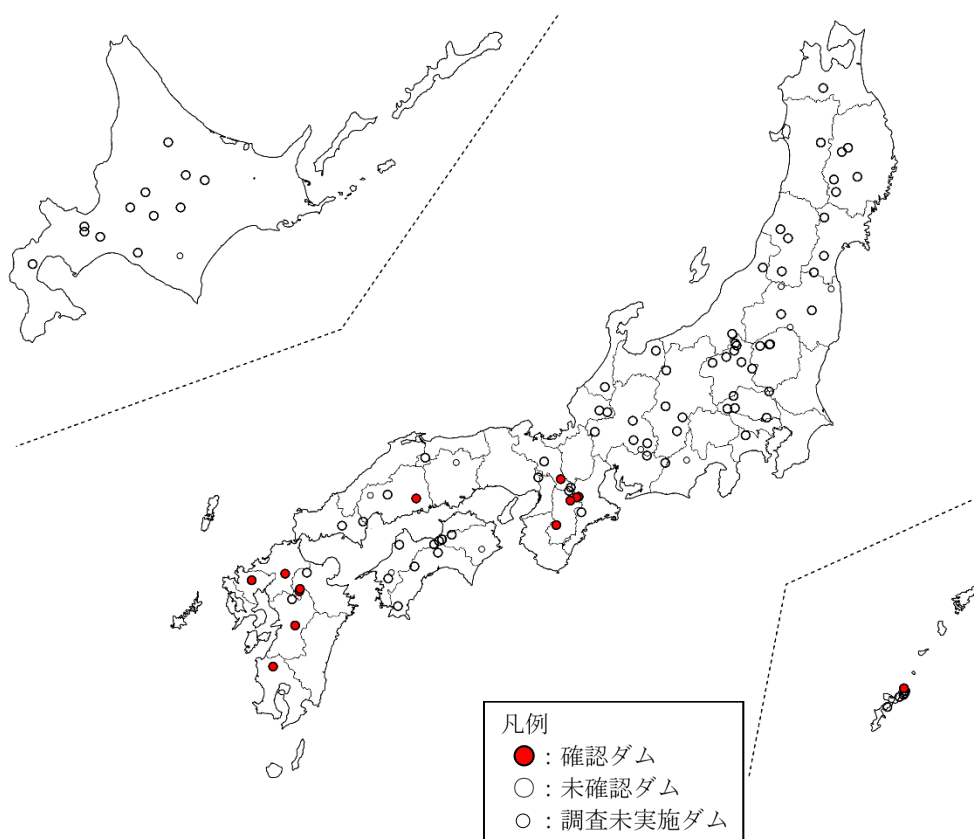


2 巡目調査（平成 8～12 年度）

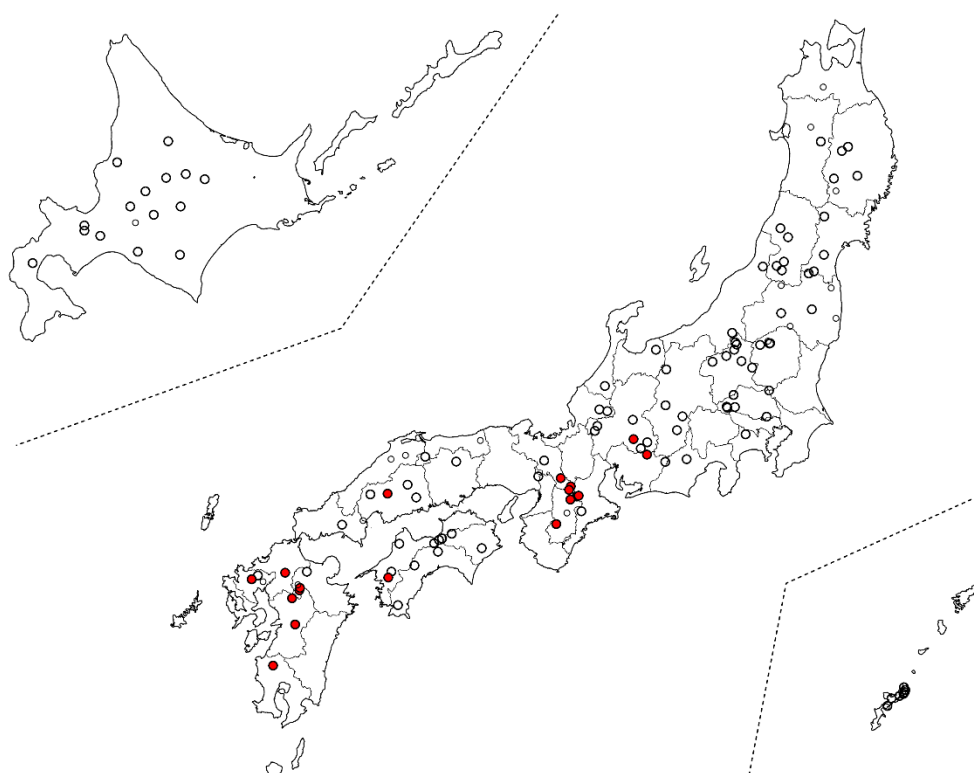


メリケンムグラの確認状況（1 巡目調査、2 巡目調査）

3 巡目調査（平成 13～17 年度）

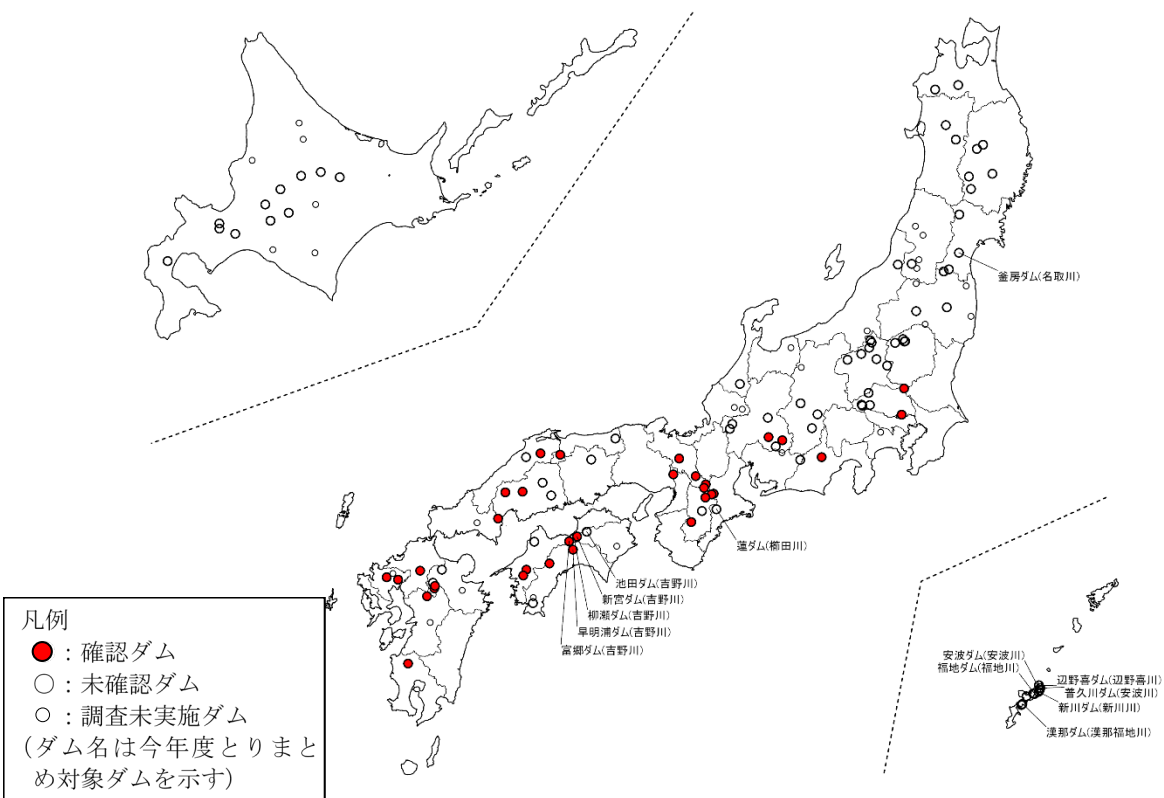


4 巡目調査（平成 18～27 年度）



メリケンムグラの確認状況（3 巡目調査、4 巡目調査）

5 巡目調査（平成 28～令和 5 年度）



メリケンムグラの確認状況（5巡目調査）

4.3 ダム管理との関わり（ダム湖周辺の生物相）

（1）水位変動域の植物相

- ・常時満水位付近に位置する水位変動域の調査地区では他の地区に比べて確認種数が少なく、外来種割合が高いことを確認。

水位変動域で調査を行った4ダムについて、出現種の状況について確認しました。

ダム毎に確認種数を比較すると、水位変動域の調査地区で確認種数が少ない傾向がみられました。

ダム毎に外来種割合を比較すると、全ダムの水位変動域に共通して、外来種割合が高くなる傾向がみられました。

生活型別の在来種および外来種の確認状況をみると、全ダムで多年生草本の割合が高くなりました。生活型別の外来種数についても、全ダム共通して多年生草本ないしは一年生草本が多くみられる傾向にありました。

4ダムで共通してみられた外来種は、一年生草本のアメリカセンダングサ、ヒメジョオンでした。

2ダム以上でみられた外来種は、マグワ、アレチウリ、オオオナモミ、アメリカタカブロウ、セイタカアワダチソウ、タチイヌノフグリ等でした。

特定外来生物は、アレチウリが、釜房ダム、新宮ダムでみられました。

4ダムで共通してみられた在来種は、シダ植物のスギナ、藤本のアケビ、フジ、一年生草本のツユクサ等でした。

2ダム以上でみられた在来種は、木本のマルバヤナギ、藤本のヤマノイモ、多年生草本のススキ、ドクダミ、一年生草本のタネツケバナ等でした。

ダム湖全域および水位変動域の確認種数

	東北 釜房ダム													中部 蓮ダム									
	水位 変動 域1	水位 変動 域2	水位 変動 域3	ダム 湖周 辺	ダム 湖周 辺	ダム 湖周 辺	流入 河川	流入 河川	流入 河川	流入 河川	下流 河川	環境 創出 箇所	全域	水位 変動 域	ダム 湖	ダム 湖	ダム 湖	ダム 湖周 辺	ダム 湖周 辺	流入 河川	下流 河川	下流 河川	全域
				名釜 房14	名釜 房16	名釜 房17	名釜 房28	名釜 房29	名釜 房30	名釜 房31	名釜 房34	名釜 房35		櫛蓮 湖6	櫛蓮 湖3	櫛蓮 湖7	櫛蓮 湖8	櫛蓮 湖1	櫛蓮 湖3	櫛蓮 入1	櫛蓮 入2	櫛蓮 下3	
				林縁 部	コナ ラ群 落	コナ ラ群 落	太郎 川流 入部	北川 流入 部	北川	前川 流入 部	碁石 川	みち のく 公園		水位 変動 域	湖岸 部 (湾 入部)	蓮川 流入 部	青田 川流 入部	湖面 に続 く林 縁部	谷沿 い地 区	流入 河川 (蓮 川)	流入 河川 (青 田 川)	下流 河川 (蓮 川)	
確認種数	249	299	173	415	453	351	251	207	229	273	197	384	898	163	256	340	197	211	169	428	478	419	820
外来種数	47	40	24	58	26	3	29	27	34	42	4	46	114	19	12	14	17	17	3	23	51	89	112
外来種割合	19%	13%	14%	14%	6%	1%	12%	13%	15%	15%	2%	12%	13%	12%	5%	4%	9%	8%	2%	5%	11%	21%	14%
ダム全域に占める確認種数割合	28%	33%	19%	46%	50%	39%	28%	23%	26%	30%	22%	43%	100%	20%	31%	41%	24%	26%	21%	52%	58%	51%	100%

	四国																							
	新宮ダム												富郷ダム											
	水位 変動 域	ダム 湖	ダム 湖	ダム 湖	ダム 湖周 辺	ダム 湖周 辺	ダム 湖周 辺	ダム 湖周 辺	流入 河川	流入 河川	下流 河川	全域	水位 変動 域	ダム 湖	ダム 湖周 辺	ダム 湖周 辺	ダム 湖周 辺	流入 河川 (銅 山 川)	流入 河川 (葛 川)	下流 河川 (銅 山 川)	環境 創出 箇所	全域		
		吉新 湖3	吉新 湖2	吉新 湖4	吉新 湖5	吉新 湖3- 1	吉新 湖4	吉新 湖6	吉新 湖7	吉新 入1	吉新 入2			吉新 下1	吉富 湖3	吉富 湖2	吉富 湖1	吉富 湖2	吉富 湖6	吉富 入1	吉富 入2		吉富 下1	吉富 他1
		湖岸 部	中の 川流 入部	銅山 川流 入部	第2 位群 落 (コナ ラ群 落)	代表 的な 群落 (スギ・ ヒノ キ植 林)	エコー トン	第3 位群 落 (ヌル デ・ア カメ ガシ ワ群 落)	流入 河川 (銅 山 川)	流入 河川 (中 の 川)	下流 河川 (銅 山 川)			湖岸 部	代表 的な 群落 (スギ・ ヒノ キ植 林)	第3 位群 落 (アカ マツ群 落)	エコー トン	流入 河川 (銅 山 川)	流入 河川 (葛 川)	下流 河川 (銅 山 川)	環境 創出 箇所			
確認種数	126	136	249	269	181	316	193	255	315	324	223	683	219	167	321	110	210	334	281	334	165	687		
外来種数	22	25	34	21	2	16	13	10	27	29	35	78	27	22	18	0	22	24	16	25	12	62		
外来種割合	17%	18%	14%	8%	1%	5%	7%	4%	9%	9%	16%	11%	12%	13%	6%	0%	10%	7%	6%	7%	7%	9%		
ダム全域に占める 確認種数割合	18%	20%	36%	39%	27%	46%	28%	37%	46%	47%	33%	100%	32%	24%	47%	16%	31%	49%	41%	49%	24%	100%		

(注) ダム毎にダム全域の外来種割合より水位変動域の外来種割合が高い場合は赤字で示した。

釜房ダム 水位変動域 1 (名釜房 8)

前川流入部下流左岸に位置します。オオオナモミ群落をはじめ、ヤナギ林やヨシ群落、オギ群落など湿性植生が広く分布しています。



4 巡目・名釜房 8
(平成 26 年 4 月)



5 巡目
(令和 5 年 5 月)

水位変動域調査地区の景観

釜房ダム 水位変動域 2 (名釜房 9)

前川流入部下流左岸に位置します。名釜房 8 と同様に、オオオナモミ群落をはじめ、ヤナギ林やヨシ群落、オギ群落など湿性植生が広く分布しています。



4 巡目・名釜房 9
(平成 26 年 4 月)



5 巡目
(令和 5 年 5 月)

水位変動域調査地区の景観

釜房ダム 水位変動域 3 (名釜房 10)

緩傾斜の湖岸部に位置します。オオオナモミ群落が広く分布します。



4 巡目・名釜房 10
(平成 26 年 7 月)



5 巡目
(令和 5 年 6 月)

水位変動域調査地区の景観

蓮ダム 水位変動域(干出部分のみ) (櫛蓮湖 6)

蓮川流入部に生じる水位変動域に位置します。水際の緩傾斜地には、ベニバナボロギク等の草本群落が広がっていますが、スロープの一部はコンクリートによって護岸されており、湖岸道路までの斜面には樹林帯がみられます。



4 巡目・櫛蓮湖 6
(平成 26 年 10 月)



5 巡目
(令和 5 年 10 月)

水位変動域調査地区の景観

新宮ダム 水位変動域（吉新湖 3）

ダム湖の水位変動の影響を受ける地区です。湖岸道路の下部に畑地（桑畑等）があり、畑地より湖岸側は急傾斜（石積の段々畑）となり、緩傾斜の水位変動域には湿生植物がみられます。水位変動域では、外来種のオオオナモミが多く、桑畑周辺には特定外来生物のアレチウリが多く確認されました。



4 巡目・吉新湖 3
(平成 26 年 5 月)



5 巡目
(令和 5 年 5 月)

水位変動域調査地区の景観

富郷ダム 水位変動域（吉富湖 3）

ダム湖の水位変動の影響を受ける地区です。水際から湖岸斜面にかけて植生が異なります。上流部には谷地形があり上部はハチク植林があります。斜面下部はふとん籠で護岸されており、植物は疎らです。



4 巡目・吉富湖 3
(平成 26 年 7 月)

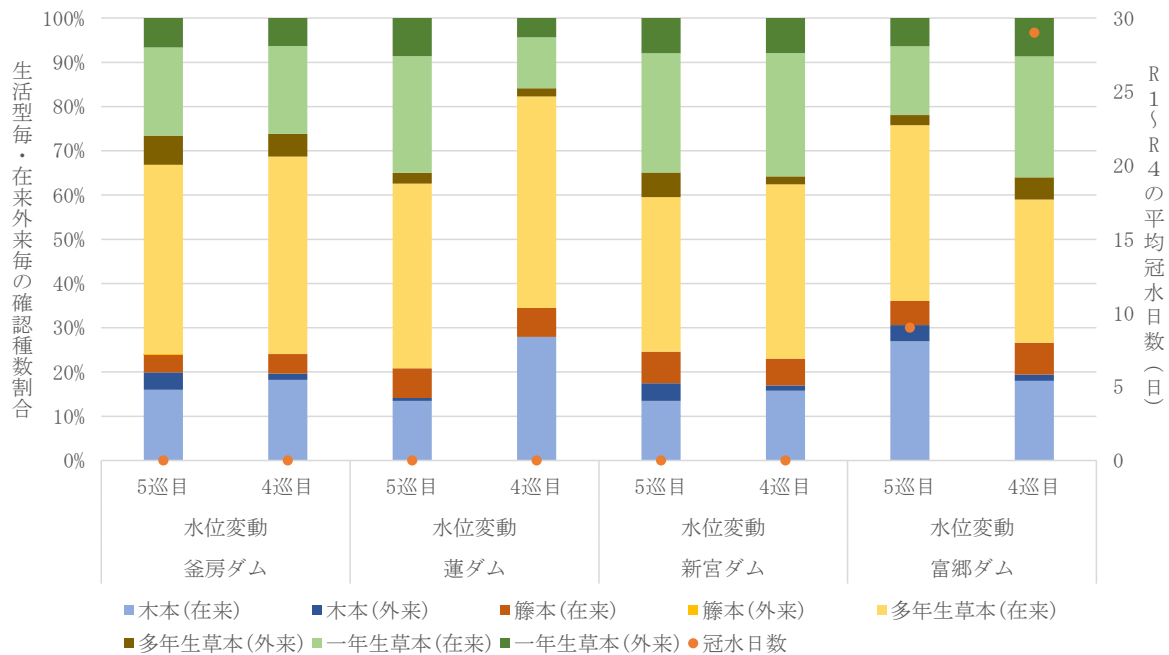


5 巡目
(令和 5 年 5 月)

水位変動域調査地区の景観

水位変動域における生活型別の在来種および外来種の確認状況

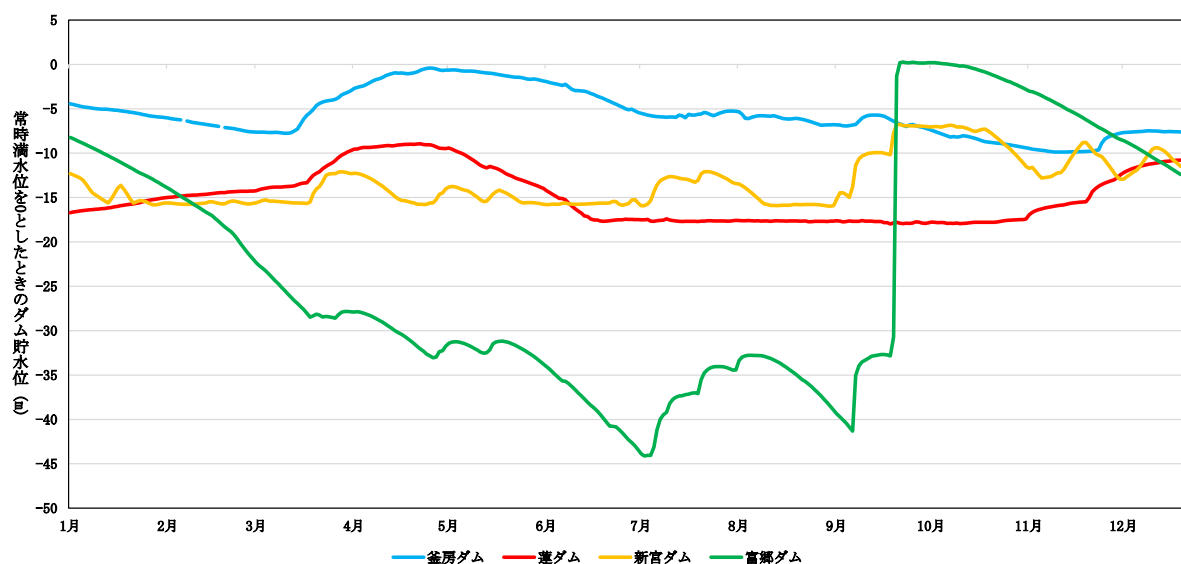
ダム名		東北		中部		四国		四国	
		釜房ダム		蓮ダム		新宮ダム		富郷ダム	
		水位変動		水位変動		水位変動		水位変動	
		5巡目	4巡目	5巡目	4巡目	5巡目	4巡目	5巡目	4巡目
木本	在来種	65種 16%	78種 18%	22種 13%	90種 28%	17種 13%	26種 16%	59種 27%	25種 18%
	(うち自生のヤナギの種数)	8種 2%	5種 1%	1種 1%	1種 0%	1種 1%	1種 1%	0種 0%	0種 0%
	外来種	16種 4%	6種 1%	1種 1%	0種 0%	5種 4%	2種 1%	8種 4%	2種 1%
	計	81種 20%	84種 20%	23種 14%	90種 28%	22種 17%	28種 17%	67種 31%	27種 19%
藤本 (ツル性)	在来種	16種 4%	19種 4%	11種 7%	21種 7%	9種 7%	10種 6%	12種 5%	10種 7%
	外来種	1種 0%	0種 0%	0種 0%	0種 0%	0種 0%	0種 0%	0種 0%	0種 0%
	計	17種 4%	19種 4%	11種 7%	21種 7%	9種 7%	10種 6%	12種 5%	10種 7%
多年生 草本	在来種	174種 43%	191種 45%	68種 42%	154種 48%	44種 35%	65種 39%	87種 40%	45種 32%
	外来種	27種 7%	22種 5%	4種 2%	6種 2%	7種 6%	3種 2%	5種 2%	7種 5%
	計	201種 49%	213種 50%	72種 44%	160種 50%	51種 40%	68種 41%	92種 42%	52種 37%
一年生 草本	在来種	81種 20%	85種 20%	43種 26%	37種 11%	34種 27%	46種 28%	34種 16%	38種 27%
	外来種	27種 7%	27種 6%	14種 9%	14種 4%	10種 8%	13種 8%	14種 6%	12種 9%
	計	108種 27%	112種 26%	57種 35%	51種 16%	44種 35%	59種 36%	48種 22%	50種 36%
全体計		407種 -	428種 -	163種 -	322種 -	126種 -	165種 -	219種 -	139種 -



水位変動域における生活型別の在来種および外来種の確認割合および水位変動域冠水日数

(注) 冠水日数は、「常時満水位よりダム貯水位が高くなる日」から計算しているため、実際の冠水日数より少なく計数されている可能性があります。

項目	東	北	中	部	四	国	四	国
	釜 房 ダ ム		蓮 ダ ム		新 宮 ダ ム		富 郷 ダ ム	
冠水日数 (R1-R4の4年間の平均)	0日		0日		0日		9日	
冠水日数 (R4)	0日		0日		0日		16日	
冠水時期 (R4)							9/21～10/6	



貯水位の変動（常時満水位（平常時最高水位）－ダム貯水位）

水位変動域でも生育できる在来種の本木類として、ヤナギ類があります。ダム湖岸に樹木（木本）が生育することで、景観の保全、根による表土の流出防止効果が期待できるほか、他の生物群の生息場ともなり、生態系の保全にも寄与することが考えられます。

今回、水位変動域で調査を行った4ダムで、水辺に生育する在来種であるヤナギ類が合計8種確認されました。

ヤナギ類と生育環境が競合すると考えられる外来種のアレチウリとイタチハギの出現状況もあわせて整理した結果、両種の生育が確認されたダムは釜房ダムと新宮ダムの2ダムでした。

アレチウリやイタチハギの分布拡大を抑制するため、アレチウリの駆除（浅瀬石川ダム、湯田ダム、大川ダム、美和ダム、小浜ダム、丸山ダム等）、水位変動域外に分布が拡大したイタチハギをヤナギ等の在来植物に転換するための取り組み（月山ダム）、イタチハギの伐採（比奈知ダム等）等の対策が各ダムにおいて行われています。

水位変動域における自生のヤナギ類の確認状況

No.	種和名	分布	東北			中部	四国	
			釜房ダム			蓮ダム	新宮ダム	富郷ダム
			名釜房8	名釜房9	名釜房10	櫛蓮湖6	吉新湖3	櫛蓮湖6
1	バッコヤナギ	南千島、北海道、本州（近畿以東）、四国		●				
2	マルバヤナギ	本州（岩手・山形県以南）、四国、九州	●	●		●	●	
3	シロヤナギ	北海道（中部・南部）、本州（東北地方）、新潟県	●	●	●			
4	ジャヤナギ	本州（東北南部以南）、四国、九州		●				
5	ネコヤナギ	国後島、北海島、本州、四国、九州	●					
6	イヌコリヤナギ	南千島、北海道、本州、四国、九州	●	●	●			
7	タチヤナギ	北海道、本州、四国、九州	●	●	●			
8	オノエヤナギ	北海道、本州、四国		●				
計			5種	7種	3種	1種	1種	0種
参考	アレチウリ		●	●	●		●	
	イタチハギ		●	●	●		●	

※ヤナギ類の種名と生育環境について

・ヤナギ類の種名は、令和5年度河川水辺の国勢調査のための生物リストに基づく種名を用いた。

※各ヤナギ種の分布域外のダムは灰色で示した。

※ヤナギ類と生育環境が競合する外来種のアレチウリ、イタチハギの出現状況もあわせて整理した。

(2) ダム湖周辺の植生

- ・全体的に樹林環境（広葉樹林、植林地）が多くを占めており、また、東北や北陸、中部、中国地域のダムでイタチハギ群落、沖縄地域のダムでギンゴウカン群落、ソウシジュ群落などの外来植物が優占する群落がみられることを確認

令和5年度にダム湖環境基図作成調査（陸域調査含む）を行った21ダムでは、東北の四十四田ダム、御所ダム、湯田ダムを除き樹林環境（特に広葉樹林、植林地）が多くを占めていました。

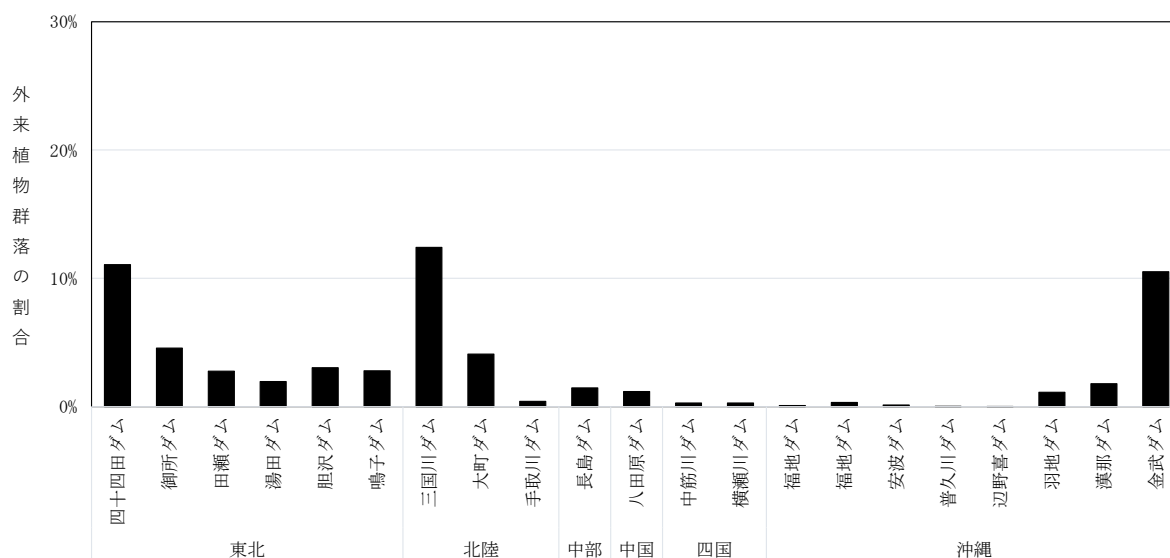
湯田ダムでは、多年生広葉草本群落（在来）、ヤナギ林（高・低木）が多くを占めていました。

四国のダムでは、植林地（スギ・ヒノキ・竹林）の割合が高くなっていました。特に中筋川ダム、横瀬川ダムにおいては、広葉樹林面積よりも植林地の面積の割合が高くなっていました。

外来植物群落の割合は、三国川ダムで12%と最も高く、イタチハギ群落やシンジュ群落がみられました。続いて、四十四田ダムや金武ダムで11%と高くなっていました。これらのダムでは、オオオナモミ群落、オオブタクサ群落、ヒロハホウキギク群落、ナピアグラス群落等がみられました。

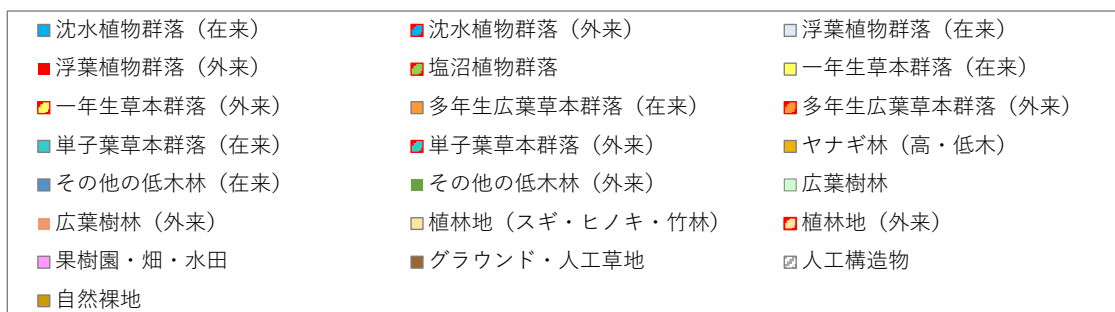
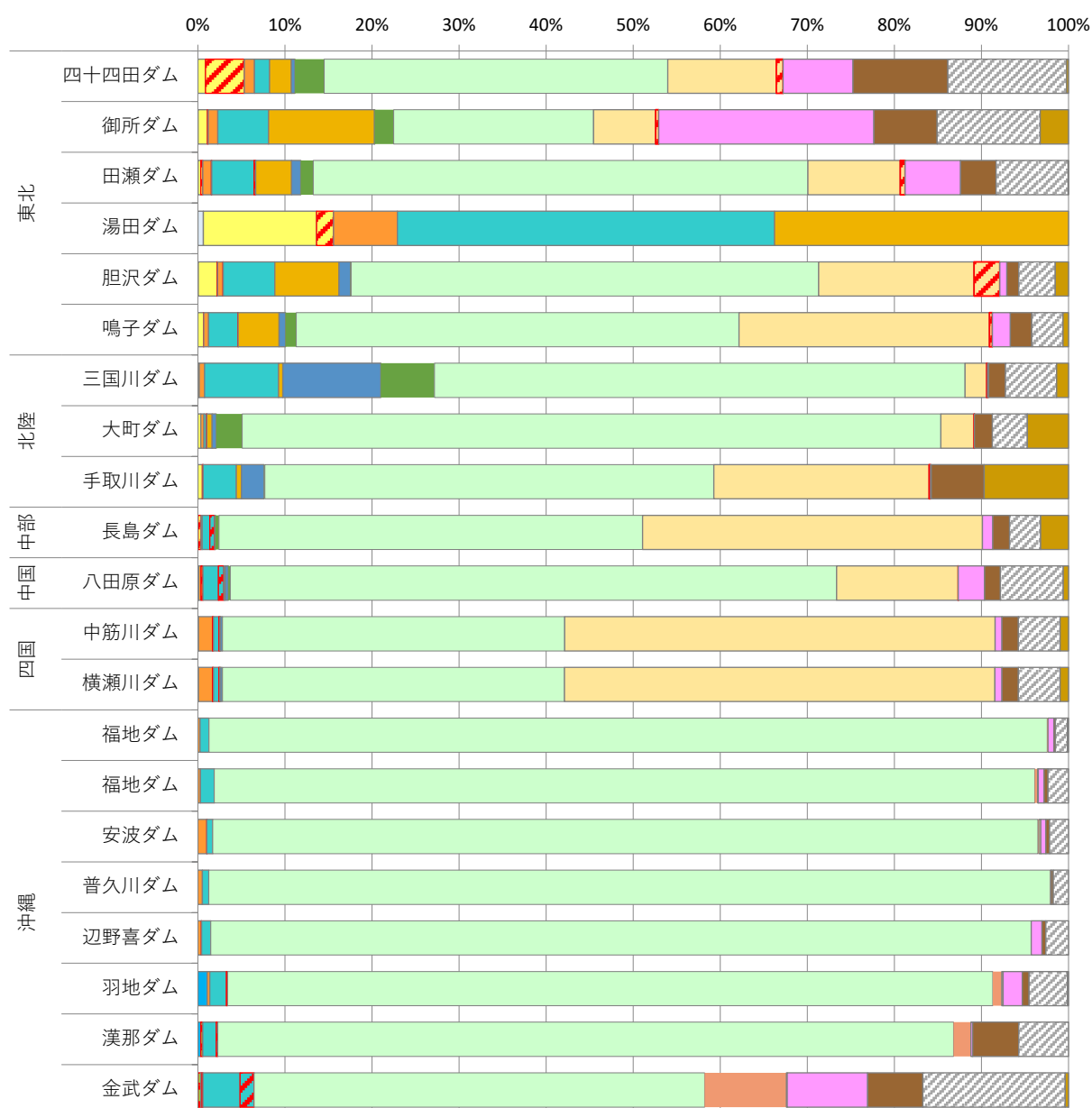
ダム湖の水位変動域で繁茂し課題となることのあるイタチハギ群落（その他の低木林（外来））は、東北の胆沢ダム、鳴子ダム、北陸の三国川ダム、大町ダム、手取川ダム、中部の長島ダム、中国の八田ダム原の計7ダムで確認されました。

沈水植物群落は御所ダムや田瀬ダム、長島ダム、金武ダムなど9ダムにおいて、イヌタヌキモ群落やフサモ群落、クロモ群落などが確認されました。



外来植物群落の割合

(%)



植生面積の割合

東北	
四十四田ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落（在来）	
沈水植物群落（外来）	
浮葉植物群落（在来）	
浮葉植物群落（外来）	
塩沼植物群落（在来）	
一年生草本群落（在来）	オオイヌタデーオオクサキビ群落 メヒシバーエノコログサ群落 カナムグラ群落
一年生草本群落（外来）	オオオナモミ群落 オオブタクサ群落 アレチウリ群落
多年生広葉草本群落（在来）	ヨモギーメドハギ群落 カゼクサーオオバコ群集 ヒメシダ群落 ホタルイーミズオトギリ群落
多年生広葉草本群落（外来）	
単子葉草本群落（在来）	ヨシ群落 ツルヨシ群集 ウキヤガラーマコモ群集 セリークサヨシ群集 ススキ群落
単子葉草本群落（外来）	
ヤナギ林（高・低木）	タチヤナギ群集 タチヤナギ群集（低木林） シロヤナギ群集 オノエヤナギ群落 オノエヤナギ群落（低木林） カワヤナギ群落
その他の低木林（在来）	クズ群落 アズマザサ群落 アズマネザサ群落
その他の低木林（外来）	イタチハギ群落
広葉樹林（在来）	コナラ群落 ハンノキ群落 ヌルデータラノキ群落 ヌルデータラノキ群落（低木林） ヤマグワ群落 ヤマグワ群落（低木林） オニグルミ群落 ケヤマハンノキ群落 ミズキ群落
広葉樹林（外来）	
針葉樹林（在来）	アカマツ群落
植林地（在来）	スギ植林 カラマツ植林 植栽樹林群 ケヤキ植林
植林地（外来）	ハリエンジュ（ニセアカシア）群落
果樹園・畑・水田	果樹園 畑地（畑地雑草群落） 水田
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド 人工裸地 人工草地
人工構造物	構造物 コンクリート構造物 道路
自然裸地	自然裸地
開放水面	開放水面

※各植物基本分類および群落名については、報告書内の記述に準拠した。
※群落名が赤字で表記されているものについては、外来植物群落として扱うこととした。

御所ダムにおいて確認された植物群落

東北	
御所ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落（在来）	イヌタヌキモ群落
沈水植物群落（外来）	
浮葉植物群落（在来）	
浮葉植物群落（外来）	
塩沼植物群落（在来）	
一年生草本群落（在来）	シロガヤツリ群落 オオイヌタデーオオクサキビ群落 アゼトウガラシ群集
一年生草本群落（外来）	オオオナモミ群落
多年生広葉草本群落（在来）	オオヨモギーオオイタドリ群落 カワラヨモギーカワラハハコ群落 ヨモギーメドハギ群落 カゼクサーオオバコ群集
多年生広葉草本群落（外来）	
単子葉草本群落（在来）	ヨシ群落 ツルヨシ群集 オギ群落 ウキヤガラーマコモ群集 サンカクイーコガマ群集 カンガレイ群落 フトイ群落 セリークサヨシ群集 カサスゲ群落 シバ群落 ススキ群落 チガヤ群落 エゾノサヤヌカグサ群落 アブラガヤ群落 サンカクイーエゾミソハギ群落 ショウブ群落
単子葉草本群落（外来）	
ヤナギ林（高・低木）	ネコヤナギ群集 タチヤナギ群集 タチヤナギ群集（低木林） シロヤナギ群集 シロヤナギ群集（低木林） オノエヤナギ群落 オノエヤナギ群落（低木林） カワヤナギ群落
その他の低木林（在来）	クズ群落 アズマザサ群落
その他の低木林（外来）	イタチハギ群落
広葉樹林（在来）	コナラ群落 ハンノキ群落 ヌルデータラノキ群落 ヌルデータラノキ群落（低木林） オニグルミ群落 ケヤマハンノキ群落 ミズキ群落
広葉樹林（外来）	
針葉樹林（在来）	アカマツ群落
植林地（在来）	スギ植林 カラマツ植林 植栽樹林群
植林地（外来）	ハリエンジュ（ニセアカシア）群落
果樹園・畑・水田	果樹園 畑地（畑地雑草群落） 水田
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド 人工裸地 人工草地
人工構造物	構造物 コンクリート構造物 道路
自然裸地	自然裸地
開放水面	開放水面

※各植物基本分類および群落名については、報告書内の記述に準拠した。
※群落名が赤字で表記されているものについては、外来植物群落として扱うこととした。

田瀬ダムにおいて確認された植物群落

東北	
田瀬ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落（在来）	フサモ群落
沈水植物群落（外来）	
浮葉植物群落（在来）	ヒシ群落 ヒルムシロ群落
浮葉植物群落（外来）	
塩沼植物群落（在来）	
一年生草本群落（在来）	メヒシバーエノコログサ群落 カナムグラ群落 オオヨモギーオオイタドリ群落
一年生草本群落（外来）	オオオナモミ群落 オオブタクサ群落
多年生広葉草本群落（在来）	ヨモギーメドハギ群落 イタドリ群落 カゼクサーオオバコ群集 ワラビ群落 ヒメシダ群落
多年生広葉草本群落（外来）	セイタカアワダチソウ群落
単子葉草本群落（在来）	ヨシ群落 ツルヨシ群集 オギ群落 ウキヤガラーマコモ群集 サンカクイーコガマ群集 ヒメガマ群落 ガマ群落 セリークサヨシ群集 カサスゲ群落 シバ群落 ススキ群落 チガヤ群落 トダシバ群落
単子葉草本群落（外来）	オニウシノケグサ群落
ヤナギ林（高・低木）	イヌコリヤナギ群集 ネコヤナギ群集 タチヤナギ群集（低木林） シロヤナギ群集 オノエヤナギ群落 オノエヤナギ群落（低木林） ヤマナラシ群落 クズ群落 アズマザサ群落 アズマネザサ群落
その他の低木林（在来）	
その他の低木林（外来）	イタチハギ群落 キダチコマツナギ群落
広葉樹林（在来）	ケヤキ群落 コナラ群落 コナラ群落（低木林） ハンノキ群落 ハンノキ群落（低木林） ヌルデータラノキ群落（低木林） ヤマグワ群落 オニグルミ群落 オニグルミ群落（低木林） ケヤマハンノキ群落 カラコギカエデ群落 サイカチ群落 エゴノキ群落
広葉樹林（外来）	
針葉樹林（在来）	アカマツ群落
植林地（在来）	マダケ植林 ヤダケ植林 スギ植林 カラマツ植林 植栽樹林群
植林地（外来）	ハリエンジュ（ニセアカシア）群落
果樹園・畑・水田	クワ畑 果樹園 畑地（畑地雑草群落） 水田
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド 人工裸地 人工草地
人工構造物	構造物 コンクリート構造物 道路
自然裸地	自然裸地
開放水面	開放水面

※各植物基本分類および群落名については、報告書内の記述に準拠した。
※群落名が赤字で表記されているものについては、外来植物群落として扱うこととした。

湯田ダムにおいて確認された植物群落	
東北	
湯田ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落（在来）	
沈水植物群落（外来）	
浮葉植物群落（在来）	ヒシ群落 スイレン群落
浮葉植物群落（外来）	
塩沼植物群落（在来）	
一年生草本群落（在来）	ミゾソバ群落 オオイヌタデーオオクサキビ群落 メヒシバーエノコログサ群落 アゼトウガラシ群集
一年生草本群落（外来）	オオオナモミ群落 オオブタクサ群落 アレチウリ群落
多年生広葉草本群落（在来）	オオヨモギーオオイタドリ群落 ヨモギーメドハギ群落 クサソテツ群落 カゼクサーオオバコ群集 ヒメシダ群落
多年生広葉草本群落（外来）	
単子葉草本群落（在来）	ヨシ群落 ツルヨシ群集 オギ群落 ウキヤガラーマコモ群集 サンカクイーコガマ群集 カンガレイ群落 ススキ群落 タヌキラン群落 ヌマガヤ群落
単子葉草本群落（外来）	
ヤナギ林（高・低木）	イヌコリヤナギ群集 ネコヤナギ群集 オオバヤナギードロノキ群集 タチヤナギ群集（低木林） シロヤナギ群集 シロヤナギ群集（低木林） オノエヤナギ群落(低木林) オオバヤナギードロノキ群集
その他の低木林（在来）	
その他の低木林（外来）	
広葉樹林（在来）	
広葉樹林（外来）	
針葉樹林（在来）	
植林地（在来）	
植林地（外来）	
果樹園・畑・水田	
グラウンド・人工草地	
人工構造物	
自然裸地	
開放水面	

※各植物基本分類および群落名については、報告書内の記述に準拠した。

※群落名が赤字で表記されているものについては、外来植物群落として扱うこととした。

胆沢ダムにおいて確認された植物群落

東北	
胆沢ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落（在来）	イトモ群落 タチモ群落
沈水植物群落（外来）	
浮葉植物群落（在来）	オヒルムシロ群落
浮葉植物群落（外来）	
塩沼植物群落（在来）	
一年生草本群落（在来）	ミゾソバ群落 オオイヌタデーオオクサキビ群落 メヒシバーエノコログサ群落 オヒシバーアキメヒシバ群集 カナムグラ群落
一年生草本群落（外来）	ヒメムカシヨモギーオオアレチノギク群落 オオオナモミ群落 オオブタクサ群落 アレチウリ群落
多年生広葉草本群落（在来）	オオヨモギーオオイタドリ群落 カワラヨモギーカワラハハコ群落 ヨモギーメドハギ群落 カラムシ群落 カゼクサーオオバコ群集
多年生広葉草本群落（外来）	セイタカアワダチソウ群落
単子葉草本群落（在来）	ヨシ群落 ツルヨシ群集 オギ群落 カンガレイ群落 ヒメガマ群落 ミクリ群落 チゴザサーアゼスゲ群集 カモガヤーオオアワガエリ群落 オニウシノケグサ群落 ススキ群落 チガヤ群落 ヤマイ群落 アブラガヤ群落
単子葉草本群落（外来）	
ヤナギ林（高・低木）	ネコヤナギ群集 オオバヤナギードロノキ群集 オオバヤナギードロノキ群落（低木林） タチヤナギ群落（低木林） シロヤナギ群集 シロヤナギ群落（低木林） オノエヤナギ群落 オノエヤナギ群落（低木林）
その他の低木林（在来）	アズマザサ群落 アズマネザサ群落 チマキザサ群落 ヒメヤシャブシ群落 クズ群落
その他の低木林（外来）	イタチハギ群落
広葉樹林（在来）	ヤチダモーハルニレ群集 サワグルミ群落 ケヤキ群落 ミズナラ群落 コナラ群落 ヌルデータラノキ群落（低木林） オニグルミ群落 オニグルミ群落（低木林） ケヤマハンノキ群落 ケヤマハンノキ群落（低木林） ブナーミズナラ群落
広葉樹林（外来）	
針葉樹林（在来）	アカマツ群落 アカマツ群落（低木林） キタゴヨウ群落
植林地（在来）	スギ植林 カラマツ植林 植栽樹林群
植林地（外来）	シンジュ群落 ハリエンジュ（ニセアカシア）群落
果樹園・畑・水田	果樹園 畑地（畑地雑草群落） 水田
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド 人工裸地 人工草地
人工構造物	構造物 コンクリート構造物 道路
自然裸地	自然裸地
開放水面	開放水面

※各植物基本分類および群落名については、報告書内の記述に準拠した。
※群落名が赤字で表記されているものについては、外来植物群落として扱うこととした。

鳴子ダムにおいて確認された植物群落

東北	
鳴子ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落（在来）	
沈水植物群落（外来）	
浮葉植物群落（外来）	
塩沼植物群落（在来）	
一年生草本群落（在来）	ミゾソバ群落 オオイヌタデーオオクサキビ群落 メヒシバーエノコログサ群落 カナムグラ群落
一年生草本群落（外来）	ヒメムカシヨモギーオオアレチノギク群落 オオブタクサ群落
多年生広葉草本群落（在来）	オオヨモギーオオイタドリ群落 ヨモギーメドハギ群落
多年生広葉草本群落（外来）	
単子葉草本群落（在来）	ヨシ群落 ツルヨシ群集 オギ群落 ガマ群落 セリークサヨシ群集 カサスゲ群落 シバ群落 ススキ群落 チガヤ群落
単子葉草本群落（外来）	カモガヤーオオアワガエリ群落
ヤナギ林（高・低木）	ネコヤナギ群集 オオバヤナギードロノキ群集 タチヤナギ群集（低木林） シロヤナギ群集 シロヤナギ群集（低木林） オノエヤナギ群落 オノエヤナギ群落（低木林）
その他の低木林（在来）	アズマザサ群落 アズマネザサ群落 チマキザサ群落 クリオザサ群落 ヒメヤシャブシ群落 クズ群落 ヤマハギ群落
その他の低木林（外来）	イタチハギ群落
広葉樹林（在来）	サワグルミ群落 ケヤキ群落 コナラ群落 ハンノキ群落 ヌルデーアカメガシワ群落 ヤマグワ群落 ヤマグワ群落（低木林） オニグルミ群落 ケヤマハンノキ群落 ブナーミズナラ群落 アカシデ群落
広葉樹林（外来）	
針葉樹林（在来）	アカマツ群落 クロベークタゴヨウ群落
植林地（在来）	モウソウチク植林 マダケ植林 スギ・ヒノキ植林 カラマツ植林 アカマツ植林 植栽樹林群
植林地（外来）	ハリエンジュ（ニセアカシア）群落
果樹園・畑・水田	果樹園 畑地（畑地雑草群落） 水田
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド 人工裸地 人工草地
人工構造物	構造物 コンクリート構造物 道路
自然裸地	自然裸地
開放水面	開放水面

※各植物基本分類および群落名については、報告書内の記述に準拠した。
※群落名が赤字で表記されているものについては、外来植物群落として扱うこととした。

三国川ダムにおいて確認された植物群落

北陸	
三国川ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落（在来）	
沈水植物群落（外来）	
浮葉植物群落（在来）	フトヒルムシロ群落
浮葉植物群落（外来）	
塩沼植物群落（在来）	
一年生草本群落（在来）	オオイヌタデーオオクサキビ群落 メヒシバーエノコログサ群落
一年生草本群落（外来）	
多年生広葉草本群落（在来）	オオヨモギーオオイタドリ群落 カワラヨモギーカワラハハコ群落 ヨモギーメドハギ群落
多年生広葉草本群落（外来）	
単子葉草本群落（在来）	ヨシ群落 ツルヨシ群集 ススキ群落 タヌキラン群落 ヌマガヤ群落
単子葉草本群落（外来）	
ヤナギ林（高・低木）	ネコヤナギ群集 オオバヤナギードロノキ群集 シロヤナギ群集 シロヤナギ群集（低木林） オノエヤナギ群落 オノエヤナギ群落（低木林）
その他の低木林（在来）	クズ群落 ミヤマカワラハンノキ群落 ヒメヤシャブシ群落 ミヤマナラ群落 コメツツジーツガザクラ群集
その他の低木林（外来）	イタチハギ群落
広葉樹林（在来）	サワグルミ群落 ヌルデーアカメガシワ群落（低木林） オニグルミ群落 オニグルミ群落（低木林） ブナーミズナラ群落
広葉樹林（外来）	
針葉樹林（在来）	キタゴヨウ群落 スギ・ヒノキ植林 植栽樹林群
植林地（在来）	
植林地（外来）	シンジュ群落 ハリエンジュ（ニセアカシア）群落
果樹園・畑・水田	畑地（畑地雑草群落）
	水田
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド
	人工裸地
人工構造物	構造物
	コンクリート構造物
	道路
自然裸地	自然裸地
開放水面	開放水面

※各植物基本分類および群落名については、報告書内の記述に準拠した。
※群落名が赤字で表記されているものについては、外来植物群落として扱うこととした。

北陸	
大町ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落（在来）	
沈水植物群落（外来）	
浮葉植物群落（外来）	
塩沼植物群落（在来）	
一年生草本群落（在来）	コケオトギリ－ヒメヒラテンツキ群落 オオイヌタデーオオクサキビ群落 メヒシバーエノコログサ群落 ヒメジソ群落
一年生草本群落（外来）	
多年生広葉草本群落（在来）	オオヨモギ－オオイタドリ群落 イタドリ群落 ヒメシダ群落 エゾシロネ－ヨモギ群落
多年生広葉草本群落（外来）	
単子葉草本群落（在来）	ツルヨシ群集 カンガレイ群落 シバ群落 ススキ群落 アブラガヤ群落
単子葉草本群落（外来）	シナダレスズメガヤ群落
ヤナギ林（高・低木）	オオバヤナギ－ドロノキ群集 コゴメヤナギ群集 オノエヤナギ群落
その他の低木林（在来）	タラノキ－クマイチゴ群集
その他の低木林（外来）	イタチハギ群落
広葉樹林（在来）	サワグルミ群落 ミズナラ群落 コナラ群落 コナラ群落（低木林） ヌルデーアカメガシワ群落（低木林） フサザクラ群落 ケヤマハンノキ群落 ケヤマハンノキ群落（低木林） クマシデーミズキ群落 ブナ群落 クロウメモドキ－シラカンバ群落 レンゲツツジ－シラカンバ群落 アサノハカエデーウダイカンバ群落
広葉樹林（外来）	
針葉樹林（在来）	アカマツ群落 ツガ群落 ヒノキ群落
植林地（在来）	スギ・ヒノキ植林 カラマツ植林 植栽樹林群
植林地（外来）	シンジュ群落
果樹園・畑・水田	
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド 人工裸地 人工草地
人工構造物	構造物 コンクリート構造物 道路
自然裸地	自然裸地
開放水面	開放水面

※各植物基本分類および群落名については、報告書内の記述に準拠した。
※群落名が赤字で表記されているものについては、外来植物群落として扱うこととした。

北陸	
手取川ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落（在来）	エビモ群落
沈水植物群落（外来）	
浮葉植物群落（在来）	
浮葉植物群落（外来）	
塩沼植物群落（在来）	
一年生草本群落（在来）	オオイヌタデーオオクサキビ群落 メヒシバーエノコログサ群落
一年生草本群落（外来）	オオオナモミ群落
多年生広葉草本群落（在来）	クモノスシダ群落
多年生広葉草本群落（外来）	
単子葉草本群落（在来）	ツルヨシ群集 ススキ群落
単子葉草本群落（外来）	
ヤナギ林（高・低木）	ネコヤナギ群集 タチヤナギ群集 タチヤナギ群集（低木林） コゴメヤナギ群集 オノエヤナギ群落
その他の低木林（在来）	クズ群落 ミヤマカワラハンノキ群落 タニウツギ群落 ヒメウツギ群落 クマイチゴ群落
その他の低木林（外来）	イタチハギ群落
広葉樹林（在来）	サワグルミ群落 ケヤキ群落 オニグルミ群落 フサザクラ群落 ブナ群落 トチノキ群落 カツラ群落 ヤマハンノキ群落 コナラーミズナラ群落 アカイタヤ群落
針葉樹林（在来）	キタゴヨウ群落
植林地（在来）	スギ・ヒノキ植林 植栽樹林群
植林地（外来）	ハリエンジュ群落
果樹園・畑・水田	畑地（畑地雑草群落） 水田
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド 人工裸地 人工草地
人工構造物	構造物
自然裸地	自然裸地
開放水面	開放水面

※各植物基本分類および群落名については、報告書内の記述に準拠した。
※群落名が赤字で表記されているものについては、外来植物群落として扱うこととした。

中部	
長島ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落（在来）	イトモ群落
沈水植物群落（外来）	
浮葉植物群落（在来）	
浮葉植物群落（外来）	
塩沼植物群落（在来）	
一年生草本群落（在来）	オオイヌタデーオオクサキビ群落 メヒシバーエノコログサ群落
一年生草本群落（外来）	シオザキソウ群落 コセンダングサ群落 メリケンムグラ群落
多年生広葉草本群落（在来）	イワヒバ群落 ワラビ群落
多年生広葉草本群落（外来）	
単子葉草本群落（在来）	ヨシ群落 ススキ群落
単子葉草本群落（外来）	メリケンカルカヤ群落
ヤナギ林（高・低木）	
その他の低木林（在来）	サツキ群落 フジ群落
その他の低木林（外来）	イタチハギ群落 キダチコマツナギ群落
広葉樹林（在来）	ケヤキ群落 コナラ群落 ヌルデーアカメガシワ群落 ヌルデーアカメガシワ群落（低木林） オニグルミ群落 フサザクラ群落 ケヤマハンノキ群落 ウラジロガシ群落
針葉樹林（在来）	アカマツ群落 ツガ群落
植林地（在来）	マダケ植林 スギ・ヒノキ植林 カラマツ植林 植栽樹林群
植林地（外来）	
果樹園・畑・水田	果樹園 茶畑 畑地（畑地雑草群落）
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド 人工裸地
人工構造物	構造物 コンクリート構造物 道路
自然裸地	自然裸地
開放水面	開放水面

※各植物基本分類および群落名については、報告書内の記述に準拠した。
※群落名が赤字で表記されているものについては、外来植物群落として扱うこととした。

八田原ダムにおいて確認された植物群落

中国	
八田原ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落（在来）	
沈水植物群落（外来）	オオカナダモ群落
浮葉植物群落（在来）	ヒシ群落 フトヒルムシロ群落
浮葉植物群落（外来）	
塩沼植物群落（在来）	
一年生草本群落（在来）	ヤナギタデ群落 オオイヌタデ - オオクサキビ群落 メヒシバ - エノコログサ群落 アゼトウガラシ群集
一年生草本群落（外来）	
多年生広葉草本群落（在来）	ヨモギ - メドハギ群落 カゼクサ - オオバコ群集
多年生広葉草本群落（外来）	セイタカアワダチソウ群落
単子葉草本群落（在来）	セイタカヨシ群落 ツルヨシ群集 オギ群落 ススキ群落 エゾノサヤヌカグサ群落
単子葉草本群落（外来）	メリケンカルカヤ群落 シナダレスズメガヤ群落
ヤナギ林（高・低木）	ネコヤナギ群集 ジャヤナギ - アカメヤナギ群集 オオタチヤナギ群落（低木林）
その他の低木林（在来）	ネザサ群落
その他の低木林（外来）	イタチハギ群落
広葉樹林（在来）	ケヤキ群落 コナラ群落 ヌルデ - アカメガシワ群落 アラカシ群落 ツブラジイ群落
針葉樹林（在来）	アカマツ群落 モミ群落
植林地（在来）	モウソウチク植林 マダケ植林 ヤダケ植林 スギ・ヒノキ植林 アカマツ植林 植栽樹林群
植林地（外来）	トウコマツナギ群落
果樹園・畑・水田	果樹園 畑地（畑地雑草群落） 水田
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド ゴルフ場 人工裸地
人工構造物	構造物 コンクリート構造物 道路
自然裸地	自然裸地
開放水面	開放水面

※各植物基本分類および群落名については、報告書内の記述に準拠した。
※群落名が赤字で表記されているものについては、外来植物群落として扱うこととした。

四国	
中筋川ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落（在来）	
沈水植物群落（外来）	
浮葉植物群落（在来）	
浮葉植物群落（外来）	
塩沼植物群落（在来）	
一年生草本群落（在来）	ヤナギタデ群落 オオイヌタデーオオクサキビ群落 カナムグラ群落
一年生草本群落（外来）	
多年生広葉草本群落（在来）	ウラジローコシダ群落
多年生広葉草本群落（外来）	セイタカアワダチソウ群落
単子葉草本群落（在来）	ツルヨシ群集 アキカサスゲ群落 ススキ群落
単子葉草本群落（外来）	メリケンカルカヤ群落
ヤナギ林（高・低木）	ネコヤナギ群集
その他の低木林（在来）	メダケ群集 クズ群落 ウツギ群落 キシツツジ群落
その他の低木林（外来）	キダチコマツナギ群落
広葉樹林（在来）	コナラ群落 カワラハンノキ群落（低木林） ヌルデーアカメガシワ群落 ヌルデーアカメガシワ群落（低木林） 伐採跡地群落 アラカシ群落 ツブラジイ群落
針葉樹林（在来）	アカマツ群落
植林地（在来）	モウソウチク植林 ハチク植林 スギ・ヒノキ植林 植栽樹林群
植林地（外来）	
果樹園・畑・水田	果樹園 茶畑 畑地（畑地雑草群落） 水田
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド ゴルフ場 人工裸地
人工構造物	構造物 コンクリート構造物 道路
自然裸地	自然裸地
開放水面	開放水面

※各植物基本分類および群落名については、報告書内の記述に準拠した。
※群落名が赤字で表記されているものについては、外来植物群落として扱うこととした。

四国	
横瀬川ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落（在来）	
沈水植物群落（外来）	
浮葉植物群落（在来）	
浮葉植物群落（外来）	
塩沼植物群落（在来）	
一年生草本群落（在来）	ヤナギタデ群落 オオイヌタデーオオクサキビ群落 カナムグラ群落
一年生草本群落（外来）	
多年生広葉草本群落（在来）	ウラジローコシダ群落
多年生広葉草本群落（外来）	セイタカアワダチソウ群落
単子葉草本群落（在来）	ツルヨシ群集 アキカサスゲ群落 ススキ群落
単子葉草本群落（外来）	メリケンカルカヤ群落
ヤナギ林（高・低木）	ネコヤナギ群集
その他の低木林（在来）	メダケ群集 クズ群落 ウツギ群落 キシツツジ群落
その他の低木林（外来）	キダチコマツナギ群落
広葉樹林（在来）	コナラ群落 カワラハンノキ群落（低木林） ヌルデーアカメガシワ群落 ヌルデーアカメガシワ群落（低木林） 伐採跡地群落 アラカシ群落 ツブラジイ群落
広葉樹林（外来）	
針葉樹林（在来）	アカマツ群落
植林地（在来）	モウソウチク植林 ハチク植林 スギ・ヒノキ植林 植栽樹林群
果樹園・畑・水田	果樹園 茶畑 畑地（畑地雑草群落） 水田
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド ゴルフ場 人工裸地
人工構造物	構造物 コンクリート構造物 道路
自然裸地	自然裸地
開放水面	開放水面

※各植物基本分類および群落名については、報告書内の記述に準拠した。
※群落名が赤字で表記されているものについては、外来植物群落として扱うこととした。

福地ダムにおいて確認された植物群落

沖縄	
福地ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落（在来）	
沈水植物群落（外来）	
浮葉植物群落（在来）	
浮葉植物群落（外来）	
塩沼植物群落（在来）	
一年生草本群落（在来）	
一年生草本群落（外来）	
多年生広葉草本群落（在来）	コシダ群落
多年生広葉草本群落（外来）	
単子葉草本群落（在来）	ススキ群落 チガヤ群落 ハイキビ群落 チゴザサ群落 モンツキガヤ群落 リュウキュウチク群落
単子葉草本群落（外来）	
ヤナギ林（高・低木）	
その他の低木林（在来）	
その他の低木林（外来）	
広葉樹林（在来）	ハンノキ群落 スダジイ群落 スダジイ群落（低木林） イジュ群落 ウジルカンダ群落 オキナワウラジロガシ群落 オキナワシャリンバイ群落 ハドノキ-ウラジロエノキ群団
広葉樹林（外来）	ギンゴウカン群落 ソウシジュ群落
針葉樹林（在来）	リュウキュウマツ群落
植林地（在来）	
果樹園・畑・水田	樹園地 畑地（畑地雑草群落）
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド 人工裸地
人工構造物	コンクリート構造物 道路
自然裸地	自然裸地
開放水面	開放水面

※各植物基本分類および群落名については、報告書内の記述に準拠した。
※群落名が赤字で表記されているものについては、外来植物群落として扱うこととした。

沖縄	
新川ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落（在来）	
沈水植物群落（外来）	
浮葉植物群落（在来）	
浮葉植物群落（外来）	
塩沼植物群落（在来）	
一年生草本群落（在来）	
一年生草本群落（外来）	
多年生広葉草本群落（在来）	コシダ群落
多年生広葉草本群落（外来）	
単子葉草本群落（在来）	ススキ群落 チガヤ群落 ハイキビ群落 ヒトモトススキ群落 ムラサキタカオススキ群落 ヒメアブラススキ群落
単子葉草本群落（外来）	
ヤナギ林（高・低木）	
その他の低木林（在来）	
その他の低木林（外来）	
広葉樹林（在来）	スダジイ群落 ホルトノキ群落 イジュ群落 オキナワウラジロガシ群落 ケカンコノキ群落
広葉樹林（外来）	ギンゴウカン群落
針葉樹林（在来）	リュウキュウマツ群落
植林地（在来）	ナンキンハゼ群落 ケラマツツジ群落
果樹園・畑・水田	畑地（畑地雑草群落）
グラウンド・人工草地	人工草地 人工裸地
人工構造物	コンクリート構造物 道路
自然裸地	
開放水面	開放水面

※各植物基本分類および群落名については、報告書内の記述に準拠した。

※群落名が赤字で表記されているものについては、外来植物群落として扱うこととした。

沖縄	
安波ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落（在来）	
沈水植物群落（外来）	
浮葉植物群落（在来）	
浮葉植物群落（外来）	
塩沼植物群落（在来）	
一年生草本群落（在来）	
一年生草本群落（外来）	
多年生広葉草本群落（在来）	コシダ群落 ヘラシダ群落 クニガミサンショウヅル群落
多年生広葉草本群落（外来）	アメリカハマグルマ群落
単子葉草本群落（在来）	ススキ群落 アキカサスゲ群落
単子葉草本群落（外来）	
ヤナギ林（高・低木）	
その他の低木林（在来）	
その他の低木林（外来）	
広葉樹林（在来）	ヤマグワ群落 スダジイ群落 ホルトノキ群落 モリヘゴ群落
広葉樹林（外来）	ギンゴウカン群落
針葉樹林（在来）	リュウキュウマツ群落
植林地（在来）	スギ・ヒノキ植林
果樹園・畑・水田	樹園地 畑地(畑地雑草群落)
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド
人工構造物	コンクリート構造物 道路
自然裸地	
開放水面	開放水面

※各植物基本分類および群落名については、報告書内の記述に準拠した。
※群落名が赤字で表記されているものについては、外来植物群落として扱うこととした。

沖縄	
普久川ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落（在来）	
沈水植物群落（外来）	
浮葉植物群落（在来）	
浮葉植物群落（外来）	
塩沼植物群落（在来）	
一年生草本群落（在来）	
一年生草本群落（外来）	
多年生広葉草本群落（在来）	コシダ群落 テツホシダ群落 ヘラシダ群落
多年生広葉草本群落（外来）	
単子葉草本群落（在来）	ススキ群落 ハイキビ群落 リュウキュウチク群落
単子葉草本群落（外来）	
ヤナギ林（高・低木）	
その他の低木林（在来）	
その他の低木林（外来）	
広葉樹林（在来）	ハゼノキ群落 スダジイ群落
広葉樹林（外来）	ギンゴウカン群落
針葉樹林（在来）	リュウキュウマツ群落
植林地（在来）	
果樹園・畑・水田	樹園地
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド 人工裸地
人工構造物	コンクリート構造物 道路
自然裸地	
開放水面	開放水面

※各植物基本分類および群落名については、報告書内の記述に準拠した。
※群落名が赤字で表記されているものについては、外来植物群落として扱うこととした。

沖縄	
辺野喜ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落（在来）	
沈水植物群落（外来）	
浮葉植物群落（在来）	
浮葉植物群落（外来）	
塩沼植物群落（在来）	
一年生草本群落（在来）	
一年生草本群落（外来）	
多年生広葉草本群落（在来）	コシダ群落 ヘラシダ群落
多年生広葉草本群落（外来）	アメリカハマグルマ群落
単子葉草本群落（在来）	ススキ群落 リュウキュウチク群落
単子葉草本群落（外来）	
ヤナギ林（高・低木）	
その他の低木林（在来）	
その他の低木林（外来）	
広葉樹林（在来）	ハンノキ群落 エゴノキ群落 スダジイ群落 イジュ群落 ハドノキーウラジロエノキ群団
広葉樹林（外来）	ギンゴウカン群落
針葉樹林（在来）	リュウキュウマツ群落
植林地（在来）	
果樹園・畑・水田	樹園地 果樹園
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド
人工構造物	コンクリート構造物 道路
自然裸地	
開放水面	開放水面

※各植物基本分類および群落名については、報告書内の記述に準拠した。
※群落名が赤字で表記されているものについては、外来植物群落として扱うこととした。

羽地ダムにおいて確認された植物群落	
沖縄	
羽地ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落（在来）	クロモ群落
沈水植物群落（外来）	
浮葉植物群落（在来）	
浮葉植物群落（外来）	
塩沼植物群落（在来）	
一年生草本群落（在来）	
一年生草本群落（外来）	
多年生広葉草本群落（在来）	ヤリノホクリハラン群落
多年生広葉草本群落（外来）	
単子葉草本群落（在来）	セイタカヨシ群落 ススキ群落 チガヤ群落 ハイキビ群落 イヌシバ群落 ムラサキタカオススキ群落
単子葉草本群落（外来）	アメリカスズメノヒエ群落 シュロガヤツリ群落 パラグラス群落
ヤナギ林（高・低木）	
その他の低木林（在来）	
その他の低木林（外来）	
広葉樹林（在来）	ハンノキ群落 アカメガシワ・オオバギ群落 シマタゴ群落 ハゼノキ群落 スダジイ群落 アカギ群落 イジュ群落 ウジルカンダ群落 ウラジロエノキ群落 サキシマフヨウ群落 トベラ群落 ホルトノキ群落 モクマオウ類群落 モリヘゴ群落
広葉樹林（外来）	ギンゴウカン群落 ソウシジュ群落
針葉樹林（在来）	リュウキュウマツ群落
植林地（在来）	アマミアラカシ群落
果樹園・畑・水田	樹園地 茶畑 畑地（畑地雑草群落）
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド 人工裸地
人工構造物	コンクリート構造物 道路
自然裸地	自然裸地
開放水面	開放水面

※各植物基本分類および群落名については、報告書内の記述に準拠した。

※群落名が赤字で表記されているものについては、外来植物群落として扱うこととした。

沖縄	
漢那ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落（在来）	クロモ群落
沈水植物群落（外来）	
浮葉植物群落（在来）	
浮葉植物群落（外来）	
塩沼植物群落（在来）	オヒルギ群落
一年生草本群落（在来）	
一年生草本群落（外来）	
多年生広葉草本群落（外来）	
単子葉草本群落（在来）	チゴザサ群落 ハイキビ-テツホシダ群落 イヌクログワイ群落 ヒメガマ群落 ススキ群落
単子葉草本群落（外来）	ナピアグラス群落
ヤナギ林（高・低木）	
その他の低木林（在来）	
その他の低木林（外来）	
広葉樹林（在来）	スダジイ群落 イジュ群落 オキナワウラジロガシ群落 カキバカンコノキ群落 アカギ群落 オオバギ-シماغワ群落
広葉樹林（外来）	ギンゴウカン群落 ソウシジュ群落 モクマオウ群落
針葉樹林（在来）	リュウキュウマツ群落
植林地（在来）	
果樹園・畑・水田	畑地（畑地雑草群落）
グラウンド・人工草地	公園・グラウンド 人工裸地
人工構造物	コンクリート構造物 道路
自然裸地	
開放水面	開放水面

※各植物基本分類および群落名については、報告書内の記述に準拠した。
※群落名が赤字で表記されているものについては、外来植物群落として扱うこととした。

金武ダムにおいて確認された植物群落	
沖縄	
金武ダム	
植物基本分類	群落名
沈水植物群落（在来）	ミズオオバコ群落
沈水植物群落（外来）	
浮葉植物群落（在来）	
浮葉植物群落（外来）	
塩沼植物群落（在来）	メヒルギ群落 オヒルギ群落 イボタクサギ群落 ヒトモトススキ群落
一年生草本群落（在来）	シマツユクサ群落
一年生草本群落（外来）	
多年生広葉草本群落（在来）	コシダ群落 タカワラビ群落
多年生広葉草本群落（外来）	ヒロハホウキギク群落 アメリカハマグルマ群落 ハイアワユキセンダングサ群落
単子葉草本群落（在来）	セイタカヨシ群落 ヒメガマ群落 ススキ群落 チガヤ群落 ハイキビ群落 リュウキュウチク群落 オオアブラガヤ群落 モンツキガヤ群落 オオマツバシバ群落 チゴザサ群落
単子葉草本群落（外来）	ナピアグラス群落 パラグラス群落
ヤナギ林（高・低木）	
その他の低木林（在来）	
その他の低木林（外来）	
広葉樹林（在来）	スダジイ群落 イジュ群落 アカギ群落 オオバギ群落 シバニッケイ群落 ホルトノキ群落 ヤブニッケイ群落 オオハマボウ群落 ガジュマル-ハマイヌビワ群落
広葉樹林（外来）	ギンゴウカン群落 ソウシジュ群落 モクマオウ群落
針葉樹林（在来）	リュウキュウマツ群落
植林地（在来）	植栽樹林群 サキシマフヨウ群落 ヤマモモ群落
果樹園・畑・水田	樹園地 畑地（畑地雑草群落） ハウス
グラウンド・人工草地	人工裸地 人工草地
人工構造物	コンクリート構造物 道路
自然裸地	自然裸地
開放水面	開放水面

※各植物基本分類および群落名については、報告書内の記述に準拠した。
※群落名が赤字で表記されているものについては、外来植物群落として扱うこととした。

(3) 新しい環境の植物相

ダムでは建設に伴い、地形の改変が行われます。また、ダム堤体や周辺道路等によって改変・消失した環境の代償として、生物の生息・生育環境の創出等も行っています。4 巡目の調査からはダムによって作られた新しい環境である地形改変箇所（ダム建設に伴う一般的な地形改変箇所としては、貯水池、ダム堤体のほか、原石採取跡地、建設発生土受入地、大規模な掘削法面等があります）や環境創出箇所（生物の生息・生育環境を創出する目的で整備されたビオトープ等）に調査地区を設定し、環境への影響、または効果を検証するため、生物の生育・生息状況を確認することとしています。ここでは、その調査結果を整理しました。なお、4 巡目調査が行われていない箇所については、5 巡目調査の結果のみを整理しました。

1) 改変箇所における確認状況

・改変箇所は 5 巡目調査時の結果のみ整理

令和 5 年度において、改変箇所の調査が行われたのは福地ダム、新川ダム、安波ダム、普久川ダム、辺野喜ダム、漠那ダムの 6 ダムでした。H24 年度調査時には、これらのダムにおいて改変箇所の調査が行われていないため、5 巡目調査の結果のみを整理しました。

5 巡目調査においては、福地ダムのその他・改変箇所において 80 科 200 種、外来種 45 種（外来種/合計種数 23%）、新川ダムのその他・改変箇所において 83 科 208 種、外来種 35 種（外来種/合計種数 17%）、安波ダムの管理支所周辺において 77 科 173 種、外来種 29 種（外来種/合計種数 17%）、同ダムの牧草地において 51 科 115 種、外来種 32 種（外来種/合計種数 28%）、普久川ダムのその他・改変箇所において 75 科 177 種、外来種 25 種（外来種/合計種数 14%）、辺野喜ダムのその他・改変箇所において 98 科 266 種、外来種 45 種（外来種/合計種数 17%）、漠那ダムの地形改変箇所において 72 科 197 種、外来種 50 種（外来種/合計種数 25%）が確認されました。

① 福地ダム（福福他 1 その他・改変箇所）〔ダム完成度：昭和 49 年度〕

庁舎周辺及び展望広場の改変区域を通るルートです。貯水池と隣接する部分は常緑広葉樹二次林が成立し、管理用道路、遊歩道周辺には路傍雑草群落が成立します。



5 巡目
(令和 5 年 5 月)

調査内容	ダム名	地区名	巡目	シダ植物	種子植物				合計	外来種	
					裸子植物	被子植物				種数	外来種/ 合計種数 (%)
						基部 被子植物	単子葉植物	真正双子葉 植物			
地形改変	福地ダム	福福他1 その他・改変箇所	5巡目 (R5,2023)	11科15種	1科1種	2科6種	12科50種	54科128種	80科200種	45	23

② 新川ダム（新新他 1 その他・改変箇所）〔ダム完成度：昭和 52 年度〕

庁舎及びキャンプ場周辺から下流河川へ降りる道路沿いのルートです。人為的な影響のある芝地と道路沿いの斜面に広がる二次林及び自然林が同程度に生育します。



5 巡目
(令和 5 年 10 月)

調査内容	ダム名	地区名	巡目	シダ植物	種子植物				合計	外来種	
					裸子植物	被子植物				種数	外来種/ 合計種数 (%)
						基部 被子植物	単子葉植物	真正双子葉 植物			
地形改変	新川ダム	新新他1 その他・改変箇所	5巡目 (R5, 2022)	19科21種	2科2種	3科5種	8科48種	51科132種	83科208種	35	17%

③ 安波ダム（安安他 1 管理支所周辺（安波 No. 2））〔ダム完成度：昭和 57 年度〕

管理庁舎周辺に位置します。道路及びその法面、ダム堤体の草地、常緑広葉樹二次林が存在します。



5 巡目
(令和 5 年 6 月)

調査内容	ダム名	地区名	巡目	シダ植物	種子植物				合計	外来種	
					裸子植物	被子植物				種数	外来種/ 合計種数 (%)
						基部 被子植物	単子葉植物	真正双子葉 植物			
地形改変	安波ダム	安安他1 管理支所周辺（安波No. 2）	5巡目 (R5, 2023)	13科17種	2科2種	3科4種	9科36種	50科114種	77科173種	29	17%

④ 安波ダム（安安他 2 牧草地（安波 No. 5））〔ダム完成度：昭和 57 年度〕

土捨場跡地の牧草地に位置します。施設の草地、常緑広葉樹の二次林（低木）が存在します。



5 巡目
(令和 5 年 6 月)

調査内容	ダム名	地区名	巡目	シダ植物	種子植物				合計	外来種	
					裸子植物	被子植物				種数	外来種/ 合計種数 (%)
						基部 被子植物	単子葉植物	真正双子葉 植物			
地形改変	安波ダム	安安他2 牧草地（安波No.5）	5巡目 (R5, 2023)	6科6種	1科1種	1科1種	6科39種	37科68種	51科115種	32	28%

⑤ 普久川ダム（安普他1 No.6 その他・改変箇所）〔ダム完成度：昭和57年度〕

普久川ダム南側に位置します。堤体付近や駐車場等の人工構造物がみられます。



5 巡目
(令和4年10月)

調査内容	ダム名	地区名	巡目	シダ植物	種子植物				合計	外来種	
					裸子植物	被子植物				種数	外来種/ 合計種数 (%)
						基部 被子植物	単子葉植物	真正双子葉 植物			
地形改変	普久川ダム	安普他1 No. 6その他・改変箇所	5巡目 (R5 2023)	13科17種	2科2種	2科7種	7科22種	51科129種	75科177種	25	14%

⑥ 辺野喜ダム（辺辺他2 No.2 その他・改変箇所）〔ダム完成度：昭和61年度〕

辺野喜ダム西側に位置します。堤体付近や駐車場等の人工構造物がみられます。



5 巡目
(令和5年6月)

調査内容	ダム名	地区名	巡目	シダ植物	種子植物				合計	外来種	
					裸子植物	被子植物				種数	外来種/ 合計種数 (%)
						基部 被子植物	単子葉植物	真正双子葉 植物			
地形改変	辺野喜ダム	辺辺他2 No. 2その他・改変箇所	5巡目 (R5, 2023)	19科28種	1科1種	4科8種	11科50種	63科179種	98科266種	45	17%

⑦ 漢那ダム（福漢他 1 地形改変箇所）〔ダム完成度：平成 4 年度〕

湖畔公園から堤体近傍の改変地に位置します。庁舎周辺、湖畔公園の整備済みの緑地等がみられます。



5 巡目
(令和 5 年 5 月)

調査内容	ダム名	地区名	巡目	シダ植物	種子植物				合計	外来種	
					裸子植物	被子植物				種数	外来種/ 合計種数 (%)
						基部 被子植物	単子葉植物	真正双子葉 植物			
地形改変	漢那ダム	福漢他1 地形改変箇所	5巡目 (R5.2023)	10科13種	1科1種	1科2種	9科44種	51科137種	72科197種	50	25

2) 環境創出箇所における確認状況

・年数の経過とともに環境が変化している状況を確認

ダム建設に伴い整備された、環境創出箇所における植物の確認状況を整理しました。環境創出箇所の調査が行われたのは3ダムの3地区でした。

釜房ダムのみちのく公園では確認種数の増加がみられましたが、新規で多くの木本植物が確認されており、植生遷移による周辺環境の樹林化が進行している可能性が考えられました。富郷ダムの環境創出箇所は良好な湿地環境が維持されているものの、確認種数の減少が見られました。なお、同地点ではシカの食害も多く確認されているため、そうしたシカの採餌行動による植生攪乱の影響を受けている可能性も考えられました。

漠那ダムの環境創出箇所(貯水池)においては、開放水面が広がり、沈水植物などの湿地性植物が繁茂していることが確認されました。

①釜房ダム（名釜房 35 みちのく公園）[ダム完成度：昭和 45 年度]

みちのく公園北地区のみちのく自然共生園として整備されており、継続性を考慮して人為的な管理を行っています。4巡目調査では88科321種、外来種34種が、5巡目調査では88科384種、外来種46種が確認され、種数、外来種ともに増加しました。5巡目調査では新規でクロマツやケヤキ、アカシデ、アサダ、ツノハシバミなどの木本植物が多く確認されたことから、植生遷移によって周辺環境の樹林化が進行している可能性が考えられました。5巡目調査ではサクラソウ、クリンソウ、バイカモ、ノダイオウ等の重要種やヌマトラノオやサンカクイといった水生・湿生植物が多く確認される一方で、特定外来生物のアレチウリが確認されました。



4 巡目
(平成 26 年 5 月)

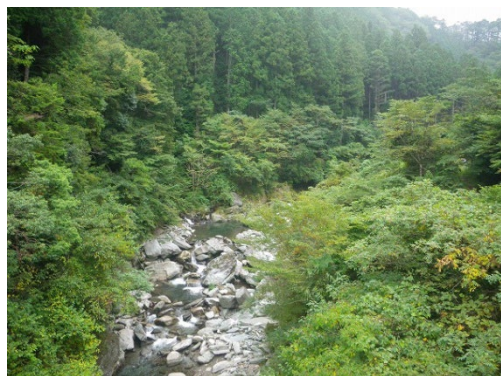


5 巡目
(令和 5 年 5 月)

調査内容	ダム名	地区名	巡目	シダ植物	種子植物				合計	外来種	
					裸子植物	被子植物				種数	外来種/ 合計種数 (%)
						基部 被子植物	単子葉植物	真正双子葉 植物			
環境創出	釜房ダム	名釜房35 みちのく公園	4巡目 (H25. 2013)	7科14種	1科1種	1科1種	16科75種	63科230種	88科321種	34	11
		名釜房35 みちのく公園	5巡目 (R5. 2023)	8科24種	1科2種	2科2種	15科91種	62科265種	88科384種	46	12

②富郷ダム（吉富他1 環境創出箇所）〔ダム完成度：平成12年度〕

まつの自然広場内に位置するビオトープです。平成13年に創出されました。ビオトープは堤体から約1.5km上流に位置し、3つのため池状の水域とその水域をつなぐ水路があり、谷と沢とがつながって水が循環しています。また、上流側の堰堤で水がせき止められ全体的に地下水位が高いためか、降雨が少なくても溜池が完全に枯れることはありません。池周辺にはコナラ、クヌギ等が植栽され、ため池にはサンカクイ等の抽水植物がみられます。4巡目調査では70科201種、外来種20種が、5巡目調査では70科165種、外来種12種が確認され、種数、外来種ともに減少しました。同調査区では湿地環境は維持されているものの、周辺ではシカの被害も多いことが報告されています。実際に4巡目調査において確認されていたノハナショウブは5巡目調査において確認されませんでした。5巡目調査では重要種としてアゼガヤ、コヒロハハナヤスリが確認されました。同調査区ではカワラスガナやサンカクイ、ミゾカクシ、ヤナギモといった水生・湿生植物が多く確認される一方で、セイタカアワダチソウ、ヒメムカシヨモギなどの外来生物が確認されました。



4巡目
(平成26年7月)



5巡目
(令和5年10月)

調査内容	ダム名	地区名	巡目	シダ植物	種子植物				合計	外来種	
					裸子植物	被子植物				種数	外来種/ 合計種数 (%)
						基部 被子植物	単子葉植物	真正双子葉 植物			
環境創出	富郷ダム	吉富他1 環境創出箇所	4巡目 (H25.2013)	4科5種	2科4種	0科0種	9科46種	55科146種	70科201種	20	10%
		吉富他1 環境創出箇所	5巡目 (R5.2023)	7科12種	2科3種	1科1種	8科36種	52科113種	70科165種	12	7%

③漢那ダム（福漢他2 環境創出箇所(貯水池)）[ダム完成度：平成4 年度]

湿地環境を創出した第2貯水池に位置します。第2貯水池には、開放水面が広がり、沈水植物などの湿地性植物が繁茂し、カキバカンコノキやテツホシダ、ヒメガマ、クロモ、カンガレイなどの種が多く確認されました。5巡目調査では61科147種、外来種33種が確認されました。5巡目調査では重要種としてナツノウナギツカミ、ミカワタヌキモ等が確認されました。同調査区ではアゼガヤツリやイヌタヌキモ、ヒルムシロといった水生・湿生植物が多く確認される一方で、トクサバモクマオウ、ナンキンハゼ、アレチハナガサなどの外来生物が確認されました。



5 巡目
(令和5年6月)

調査内容	ダム名	地区名	巡目	シダ植物	種子植物				合計	外来種	
					裸子植物	被子植物				種数	外来種/ 合計種数 (%)
						基部 被子植物	単子葉植物	真正双子葉 植物			
環境創出	漢那ダム	福漢他2 環境創出箇所(貯水池)	5巡目 (R5, 2023)	8科11種	1科1種	2科3種	11科43種	39科89種	61科147種	33	22%

(4) シカの食害状況

- ・重要種の食害や、シカの定着が確認されている調査区においては不嗜好性植物が優占することを確認。

近年全国的に生息域が拡大、被害が増加しているシカの食害について各ダムの被害状況を整理しました。

蓮ダムや富郷ダムにおいては、ニホンジカの採食により重要種の消失が確認されました。

四国地域に属する池田ダム、富郷ダム、柳瀬ダム、新宮ダムにおいては各調査地区においてシカの食害や糞が確認され、シカの定着が考えられました。シカの定着が予想される調査区では、ヒノキの樹皮剥ぎやリョウブ、イヌツゲ、ウツギなどの食害、不嗜好性植物の優占が確認されました。

ダム名	シカによる影響の概要
蓮ダム	ニホンジカの採食植物に該当するものは90種が今年度の調査時に確認されなかった。その中にはアサダ、ギンバイソウ、クワガタソウ、ソバナ、テバコモミジガサといった重要種5種が含まれていた。オオヤマサギソウとムヨウラン属については、ニホンジカによるものと推測される食害を受けていたことが確認された。
早明浦ダム	吉早周3(ツブラジイ群落)でシカの食害及び溜め糞を確認した。その他の調査地区では確認されなかったことから、早明浦ダムにおけるシカの定着密度は低いものと考えられる。
池田ダム	食害はあるものの獣道沿いに限られており、森林植生に対して大きな影響はみられなかったが、シカの糞もあり、定着していると考えられた。秋季調査時においては、リョウブ、イヌツゲ等に食痕を確認し、シカの不嗜好性植物(マツカゼソウ、イワヒメワラビ)の繁茂が確認された。
富郷ダム	各調査地区においてシカの食害状況や糞を確認され、シカの定着が考えられた。初夏調査時においては、吉富湖2、吉富他1、吉富周2、吉富周6、吉富湖3、吉富入1でシカの食痕や糞を確認した。吉富湖2、吉富他1地区では、サンカクイ等の草本やウツギ等の低木への食害を確認し、吉富周2、吉富入1地区等ではシカの糞を確認した。富郷ダムでは多数の地区で食害が確認され、シカの定着が考えられた。秋季調査時においても同様に、シカの食痕を確認した。ウツギ等の低木が高さ1m程度まで食害を受けていた。4巡目調査において確認された重要種のノハナショウブが消失した。周辺環境にはシカの食痕が多く確認された。
柳瀬ダム	多数の地区でシカの食痕や糞を確認した。吉柳周6では、調査区域全域で、遊歩道沿いの低木や草本がシカの食害を受けている状況を確認した。吉柳周7の湿地では食害を受けたと思われるヨシと足跡が線状に続いている状況を確認した。吉柳周9では、コナラ群落に隣接する尾根筋のスギ・ヒノキ植林で、シカの食害と思われるヒノキの樹皮剥ぎを多数確認した。
新宮ダム	各調査地区においてシカの食害状況や糞の有無を確認した。初夏調査時においては、吉新周4、吉新周7でシカの糞を確認した他、吉新周7地区では、マツカゼソウ、イワヒメワラビ等の不嗜好性植物が多く確認された。秋季調査時においても、吉新周4、吉新周7で少量のシカの糞を確認した他、シカの不嗜好性植物の優占が引き続き確認された。また、ソゴヤツガの樹皮剥ぎも確認された。

地形改変箇所・環境創出箇所・水位変動域における確認種数一覧

調査内容	ダム名	地区名	巡目	シダ植物	種子植物				合計	外来種	
					裸子植物	被子植物				種数	外来種/ 合計種数 (%)
						基部 被子植物	単子葉植物	真正双子葉 植物			
地形改変	福地ダム	福福他1 その他・改変箇所	5巡目 (R5, 2023)	11科15種	1科1種	2科6種	12科50種	54科128種	80科200種	45	23%
	新川ダム	新新他1 その他・改変箇所	5巡目 (R5, 2023)	19科21種	2科2種	3科5種	8科48種	51科132種	83科208種	35	17%
	安波ダム	安安他1 管理支所周辺 (安波No. 2)	5巡目 (R5, 2023)	13科17種	2科2種	3科4種	9科36種	50科114種	77科173種	29	17%
	安波ダム	安安他2 牧草地 (安波No. 5)	5巡目 (R5, 2023)	6科6種	1科1種	1科1種	6科39種	37科68種	51科115種	32	28%
	普久川ダム	安普他1 No. 6その他・改変箇所	5巡目 (R5, 2023)	13科17種	2科2種	2科7種	7科22種	51科129種	75科177種	25	14%
	辺野喜ダム	辺辺他2 No. 2その他・改変箇所	5巡目 (R5, 2023)	19科28種	1科1種	4科8種	11科50種	63科179種	98科266種	45	17%
	漢那ダム	福漢他1 地形改変箇所	5巡目 (R5, 2023)	10科13種	1科1種	1科2種	9科44種	51科137種	72科197種	50	25%
環境創出	釜房ダム	名釜房35 みちのく公園	4巡目 (H25, 2013)	7科14種	1科1種	1科1種	16科75種	63科230種	88科321種	34	11%
		名釜房35 みちのく公園	5巡目 (R5, 2023)	8科24種	1科2種	2科2種	15科91種	62科265種	88科384種	46	12%
	富郷ダム	吉富他1 環境創出箇所	4巡目 (H25, 2013)	4科5種	2科4種	0科0種	9科46種	55科146種	70科201種	20	10%
		吉富他1 環境創出箇所	5巡目 (R5, 2023)	7科12種	2科3種	1科1種	8科36種	52科113種	70科165種	12	7%
	漢那ダム	福漢他2 環境創出箇所(貯水池)	5巡目 (R5, 2023)	8科11種	1科1種	2科3種	11科43種	39科89種	61科147種	33	22%
水位 変動域	釜房ダム	名釜房8 水位変動域1	4巡目 (H25, 2013)	6科9種	1科2種	3科3種	11科67種	57科185種	78科266種	45	17%
		名釜房8 水位変動域1	5巡目 (R5, 2023)	6科9種	1科1種	2科2種	11科66種	53科171種	73科249種	47	19%
		名釜房9 水位変動域2	4巡目 (H25, 2013)	7科9種	0科0種	2科2種	12科67種	46科157種	67科235種	25	11%
		名釜房9 水位変動域2	5巡目 (R5, 2023)	7科11種	2科2種	2科2種	10科81種	60科203種	81科299種	40	13%
		名釜房10 水位変動域3	4巡目 (H25, 2013)	8科21種	2科2種	3科4種	13科67種	62科194種	88科288種	35	12%
		名釜房10 水位変動域3	5巡目 (R5, 2023)	4科5種	0科0種	0科0種	11科51種	47科117種	62科173種	24	14%
	蓮ダム	櫛蓮湖6 水位変動域(干出部分のみ)	4巡目 (H25, 2013)	16科56種	3科6種	3科6種	11科38種	66科213種	99科319種	20	6%
		櫛蓮湖6 水位変動域(干出部分のみ)	5巡目 (R5, 2023)	11科20種	1科1種	3科3種	10科39種	44科100種	69科163種	19	12%
	新宮ダム	吉新湖3 水位変動域	4巡目 (H25, 2013)	9科17種	0科0種	3科4種	11科31種	43科112種	66科164種	18	11%
		吉新湖3 水位変動域	5巡目 (R5, 2023)	4科7種	1科1種	2科2種	8科27種	36科89種	51科126種	22	17%
	富郷ダム	吉富湖3 水位変動域	4巡目 (H25, 2013)	4科7種	0科0種	1科2種	5科19種	44科111種	54科139種	21	15%
		吉富湖3 水位変動域	5巡目 (R5, 2023)	9科22種	3科4種	3科7種	10科37種	56科149種	81科219種	27	12%

4 巡目調査が行われていないためダムは5 巡目調査の結果のみを整理した。

林縁部における確認種数一覧

調査内容	ダム名	地区名	巡目	シダ植物	種子植物				合計	外来種	
					裸子植物	被子植物				種数	外来種/ 合計種数 (%)
						基部 被子植物	単子葉植物	真正双子葉 植物			
林縁部	釜房ダム	名釜房14 林縁部	4巡目 (H25. 2013)	9科23種	3科5種	5科5種	13科83種	74科295種	104科411種	44	11%
		名釜房14 林縁部	5巡目 (R5. 2023)	9科27種	3科5種	4科5種	14科82種	69科296種	99科415種	58	14%
林縁部	福地ダム	福福岡2 湖岸道路・林縁部	5巡目 (R5. 2029)	14科24種	3科3種	2科6種	12科72種	74科208種	105科313種	69	22%
林縁部	新川ダム	新新周1 林縁部	5巡目 (R5. 2031)	17科24種	3科3種	2科8種	13科58種	64科174種	99科267種	52	19%
林縁部	普久川ダム	安普周2 No. 4林縁部	5巡目 (R5. 2033)	12科14種	3科3種	2科6種	7科30種	49科108種	73科161種	20	12%
林縁部	辺野喜ダム	辺辺周1 No. 3林縁部	5巡目 (R5. 2034)	12科21種	3科3種	5科9種	7科30種	51科117種	78科180種	13	7%

4 巡目調査が行われていないためダムは 5 巡目調査の結果のみを整理した。

第一群落における確認種数一覧

調査内容	ダム名	地区名	巡目	シダ植物	種子植物				合計	外来種	
					裸子植物	被子植物		真正双子葉植物		種数	外来種/ 合計種数 (%)
						基部 被子植物	単子葉植物				
第一群落	釜房ダム	名釜房16 コナラ群落	4巡目 (H25. 2013)	12科32種	3科7種	6科9種	13科74種	72科305種	106科427種	37	9%
		名釜房16 コナラ群落	5巡目 (R5. 2024)	13科40種	3科5種	6科8種	14科87種	67科313種	103科453種	26	6%
		名釜房17 コナラ群落	4巡目 (H25. 2013)	13科30種	3科3種	5科7種	12科53種	63科246種	96科339種	12	4%
		名釜房17 コナラ群落	5巡目 (R5. 2023)	9科32種	3科4種	5科7種	11科59種	64科249種	92科351種	3	1%
第一群落	早明浦ダム	吉早周3 代表的な群落（ツブラジイ群落）	4巡目 (H25. 2013)	16科49種	3科6種	3科10種	13科44種	68科222種	103科331種	12	4%
		吉早周3 代表的な群落（ツブラジイ群落）	5巡目 (R5. 2023)	18科78種	3科5種	3科11種	13科44種	65科228種	102科366種	17	5%
第一群落	柳瀬ダム	吉柳周2 第1位群落（スギ・ヒノキ植林）	4巡目 (H25. 2013)	14科36種	2科3種	6科12種	9科14種	44科96種	75科161種	1	1%
		吉柳周2 第1位群落（スギ・ヒノキ植林）	5巡目 (R5. 2023)	13科29種	1科2種	6科11種	9科13種	35科71種	64科126種	2	2%
第一群落	富郷ダム	吉富周1 代表的な群落(スギ・ヒノキ植林)	4巡目 (H25. 2013)	15科51種	4科6種	6科17種	13科42種	70科244種	108科360種	13	4%
		吉富周1 代表的な群落(スギ・ヒノキ植林)	5巡目 (R5. 2023)	17科52種	3科5種	6科15種	14科42種	64科207種	104科321種	18	6%
第一群落	福地ダム	福福岡3 第1位群落	5巡目 (R5. 2023)	7科10種	2科2種	3科6種	6科20種	35科70種	53科108種	3	3%
第一群落	安波ダム	安安周1 旧道沿い（安波No. 3）	5巡目 (R5. 2023)	11科13種	3科3種	2科6種	6科32種	40科86種	62科140種	10	7%

4 巡目調査が行われていないためダムは 5 巡目調査の結果のみを整理した。

分析対象種の確認ダムの経年比較【植物】 (1)

[illegible]

凡例)●:確認 ×:未確認 一:未調査

※「巡目」は1:平成2～7年度、2:平成8～12年度、3:平成13～17年度、4:平成18～27年度、5:平成28年度～令和5年度を指す。

分析対象種の確認ダムの経年比較【植物】 (2)

[illegible]

凡例) ●:確認 ×:未確認 —:未調査

※「巡目」は1:平成2～7年度、2:平成8～12年度、3:平成13～17年度、4:平成18～27年度、5:平成28年度～令和5年度を指す。

分析対象種の確認ダムの経年比較【植物】 (3)

[illegible]

凡例)●:確認 ×:未確認 一:未調査

※「巡目」は1:平成2～7年度、2:平成8～12年度、3:平成13～17年度、4:平成18～27年度、5:平成28年度～令和5年度を指す。